

ル事業ニ屬シ其效用極メテ顯著ナリトス

其六 出品代理人及看守人

出品人ハ出品ノ搬入陳列其他出品ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ代理人ヲ設クルモノアリト雖モ殊更ニ外國ヨリ特派セラレタルモノナク率ネ内地ニ於ケル代理店又ハ内地ノ會社若シクハ個人ヘ委託セリ

出品看守人ハ各出品主ノ自辨ニカ、ルモノタルヲ以テ其出品陳列面積ノ廣狹ニ因リ獨立若シクハ共同シテ之レヲ雇用セリ其人員合計百九十二人ニシテ内男百六十二人女三十人ナリトス

其七 賣約

外國製品館及之レニ屬スル別館出品ノ賣約ハ各出品人直接之レヲ處理シタリ其數量代價及產地ノ國別ヲ掲クレハ左ノ如シ

國名	點數	價格
英國	五四	七、九五六五三〇
佛國	四九	五四一〇五〇
米國	四七	四七、四六八五五〇
獨逸	二三	三、六一一七八〇
西國	一一	六、四五三〇〇〇
計	一八三	一三〇、〇三〇九一〇

更ニ之レヲ細別シテ品名ヲ左ニ列記ス此品名ヲ見レハ外品ヲ需用スル種類ノ趨向ハ好事的ニ非スシテ多クハ實用的ノ機械類ニ屬シ且機械中ノ多數ハ原動機及工作機械ニシテ是等未ダ輸入ノ壓迫ヲ免ル、ニ至ラサルモノアリ内地ノ當業製作者宜シク猛省セサルヘカラス

英國	品名	點數	價格
樂器	樂器	一	一、三二〇〇
金庫	金庫	一	一、五〇〇〇
汽機	汽機直結	一	二、〇三五〇
瓦機	瓦機	七	一、九三八〇
瓦機	瓦機	二	二、九〇〇〇
ワ機	ワ機	一	七、五九〇〇
電機	電機	四	五、三二二三〇
電機	電機	一	四、二一〇〇
揚風機	揚風機	一	一、七三五〇
給水機	給水機	一	六〇〇〇
織機	織機	一	五、三〇〇〇
織機	織機	二	三、三〇〇〇
曹達機	曹達機	一	一、四〇〇〇
口製機	口製機	一	一、八〇〇〇
油機	油機	一	五、五〇〇〇
施孔機	施孔機	三	一、五、一二七〇〇
鑽孔機	鑽孔機	五	九、三一五〇〇

佛計	米計	國類	品名	點數	價格
平削機	平削機	一	平削機	一	二、三〇〇〇
施精削機	施精削機	一	施精削機	一	五、三七三〇〇
直立切削盤	直立切削盤	一	直立切削盤	一	一、四〇〇〇
螺子切盤	螺子切盤	一	螺子切盤	一	二、六八五〇〇
ボナチング、エンド、シヤリング、マシーン	ボナチング、エンド、シヤリング、マシーン	一	ボナチング、エンド、シヤリング、マシーン	一	四、二一五〇〇
帶鋸機	帶鋸機	一	帶鋸機	一	一、八二九〇〇
砥石機	砥石機	三	砥石機	三	二、八七〇〇〇
丸鋸目立機	丸鋸目立機	一	丸鋸目立機	一	二、六〇〇〇
特許動力發條鏈機	特許動力發條鏈機	一	特許動力發條鏈機	一	五、八〇〇〇
ハツ、ハツ、ソ	ハツ、ハツ、ソ	一	ハツ、ハツ、ソ	一	九八〇〇
模細工臺	模細工臺	一	模細工臺	一	二、一〇〇〇
スクールイング、アッパラタス	スクールイング、アッパラタス	二	スクールイング、アッパラタス	二	二、九一〇〇
香水瓶類	香水瓶類	五	香水瓶類	五	七、九五六五三〇
懷中時計	懷中時計	四	懷中時計	四	四、九一〇五〇
汽機	汽機	四	汽機	四	五、四一〇五〇
瓦機	瓦機	一	瓦機	一	一、七五〇〇
電氣扇機	電氣扇機	一	電氣扇機	一	五〇〇〇
電氣機	電氣機	三	電氣機	三	一、六四〇〇
電氣機	電氣機	二	電氣機	二	二、五六七八〇〇
電氣機	電氣機	二	電氣機	二	五、二七〇〇
電氣機	電氣機	七	電氣機	七	一〇、七一八〇〇

獨 計		國																			
成	鑽	裁	唧	珐	織	空	標	車	捻	冷	ボ	齒	砥	成	旋	平	鑽	唧			
形	孔	縫	機	引	洗	面	尺	線	子	錐	丸	切	石	形	精	削	孔	筒			
機	機	機	筒	器	物	器	度	器	型	！	械	！	機	械	機	機	機	筒			
一	二	一	五	八	三	一	四	七	一	一	一	一	一	一	四	六	一	一	五	四	
九六五	四九六	四八〇	六六三	四八〇	六六三	四八〇	四五〇	四五〇	四七、四六八	四五〇	四五〇	七五〇	七五〇	七〇〇	三、〇〇〇	二、六三四	五、七八〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	一、三六五	八〇二
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

二百四十二

總	瑞 計		計
	西	懷	
		ボ ー ル ト、 カ ッ タ	一 一 一
		中 時	二 二 二
		計	一 八 二
			一 三 〇、〇 三 〇八 一〇

第十一節 原動力 其一 設備

機械館及外國製品館ニ出陳セラルヘキ諸機械ニシテ運轉スヘキモノニ對スル原動力ハ事務所ヨリ供給スルコトトセリ原動力ノ馬力ハ第五回内國勸業博覽會ノ經驗ト機械運轉ニ關スル經費ノ豫算額トヲ參考トシ總計百五十馬力トナシ其内五十馬力ヲ機械館ニ百馬力ヲ外國製品館ニ充テ此豫定ヲ以テ諸種ノ事務ヲ進捗セシムルコト、シ四十年一月告示第十四號ヲ以テ出品陳列館ニ於テ電力使用ノ件ヲ左ノ如ク告示セリ

- 第一條 東京勸業博覽會出品陳列館ニ於テ電力ヲ使用セント欲スル者ハ豫メ本會事務所ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二條 電力使用ノ許可ヲ得タル者ハ遲滞ナク其ノ管理人ノ氏名ヲ本會事務所ニ届出ツヘシ
- 本會事務所ハ不適當ト認ムルトキハ前項管理人ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ
- 第三條 電力使用ニ要スル費用ハ使用人ノ負擔トス

(イ) 原動力ノ選定

原動機ハ最モ經費少ナクシテ且最モ便宜ナルモノヲ採用セントシ種々考究ノ結果電氣力ニ依ルコト、シ瓦斯機關ヨリ之ヲ取ルコト、セリ蓋石油機械及蒸汽機關蒸汽タービン等ハ原動機ニ適セサルニ非リシモ之レヲ購買且据付ルニハ多大ノ時日ト少カラサル經費トヲ要シ殊ニ第二會場ノ地ハ軟弱ニシテ池沼ニ異ラス從テ基礎工事ニ要スル經費ノミニテモ莫大ニシテ加之其初メ機械館建坪二百坪ノ如キ小規模ナリシモ出品人多數ナルヲ見込ミ五百坪ト變更シ動力室ヲ分立セシメタルニ係ハラス經費豫算額ノ増加之レニ伴ハス已ムヲ得ス原動機出品人ト協議ノ未終ニ東京瓦斯會社ハ其出品ニカ、ル三十馬力ノ瓦斯機關五臺ヲ動力用トシテ無償ニテ使用スルモ差支ナク且基礎工事費埋管費ノ半額ヲ本會ヨリ仕拂フニ於テハ其工事ノ全部ヲ擔當スヘントノ厚意ヲ申出テタルニヨリ直ニ之レヲ採用シ即瓦斯機關ニテ發電機ヲ回轉シ依テ生セル電動力ヲ以テ各館諸機械ヲ運轉セシハ動力供給上最上ノ設備ナリキ而シテ此方法ハ固ヨリ原則トシテ有效ナルモ特ニ本會ノ設備ニ依リ瓦斯ヲ以テ電氣ヲ作り之レヲ動力トナスノ方法アルコトヲ普ク諸人ニ知ラシメ瓦斯使用上大ニ發展ノ端緒ヲ與ヘタリト云フヘシ

又發電機及電動機ハ高田商會カ其出品ヲ無償ニテ使用スルコトヲ承諾シ且内外線聯絡材料及工費ノ損料ヲ本會ヨリ支拂フニ於テハ其工事ノ全部ヲ擔當スヘント申出テタルニヨリ之亦直ニ採用スルコトトセリ

以上ノ如ク瓦斯會社及高田商會ト交渉ノ結果ニ依リ本會ハ左ノ如キ動力ヲ供給スルコトヲ

得タリ尤動力ノ施設ニ就テハ其筋ノ認可ヲ經タルコト勿論ナリトス

機械ノ名稱	形	式	箇數	製造所	出品者
三十馬力瓦斯機關	ナシヨナル	水平式	五	英國ナシヨナル會社	東京瓦斯會社
二十キロワット發動機	直流底壓式		五	英國ウエスチングハウス電氣製造會社	高田商會
十七馬力電動機	同		五	同	同
十一馬力電動機	同		五	同	同
六馬力電動機	同		三	同	同

(ロ) 動力ノ分配

然ルニ機械館ニ於ケル出品人ニ對スル動力ハ出陳面積ニ付テ負擔セシメサリシヲ以テ或種ノ出品人ハ同一ノ機械ヲ數箇出陳シ又ハ同一形式ナル大小各種ノ機械ヲ出陳シ其運轉ヲ請求セリ然レトモ斯ノ如キハ當ニ本會ノ趣旨ニ反スルノミナラス小量ノ動力ニテハ到底供給シ能ハサルヲ以テ之ヲ謝絶セリ又原動機ノ出品及ヒ之ヲ以テ自己ノ出品機械ヲ運轉スルモノニ對シテハ其設計ニ於テ不都合ナキヤ否ヲ取調ノ上認可スルコト、セリ而シテ機械館内運轉機械動力總額ハ五〇〇馬力ニシテ其配當豫定表ハ左ノ如シ

出品人	機械名稱	配當馬力
築地活版所	活字鑄造機	二、〇馬力
御法川直三郎	製絲機	二、〇馬力
中原作太郎	繭乾機	一、〇馬力
福島由太郎	切機	二、五馬力

出 品 人	機 械 ノ 名 稱	配 當 馬 力
刺賀商會	印刷機	五、〇馬力
メソデルソン會社	飲料條槌機	七、〇馬力
礫々商會	製造用機	七、〇馬力
高田商會	紡績機	二〇、〇馬力
アンモニヤ壓搾機製造用諸機械	各種機械	二〇、〇馬力

二百四十七

又外國製品館ハ其右側ニ本府出品人ノ諸機械ヲ其左側ニ横濱市出品人ノ諸機械ヲ配置スル
 コトニ定メタルヲ以テ兩側ニ各五十馬力宛ヲ分配スルモノトシ本府出品人ニ對シ所要ノ馬
 力數ヲ申出サシメ之レニ依テ總額五〇、〇馬力ヲ供給スルコト、シ其配當豫定表ハ左ノ如
 シ

田中源太	製麵機	〇、五馬力
久保島	製麵機	二、〇馬力
伴野貞次	製麵機	一、〇馬力
眞崎照太郎	製麵機	一、五馬力
耕山愛太	製麵機	一、〇馬力
松田清	製麵機	二、〇馬力
堀江資會	製麵機	〇、五馬力
寛社彦郎	製麵機	一、〇馬力

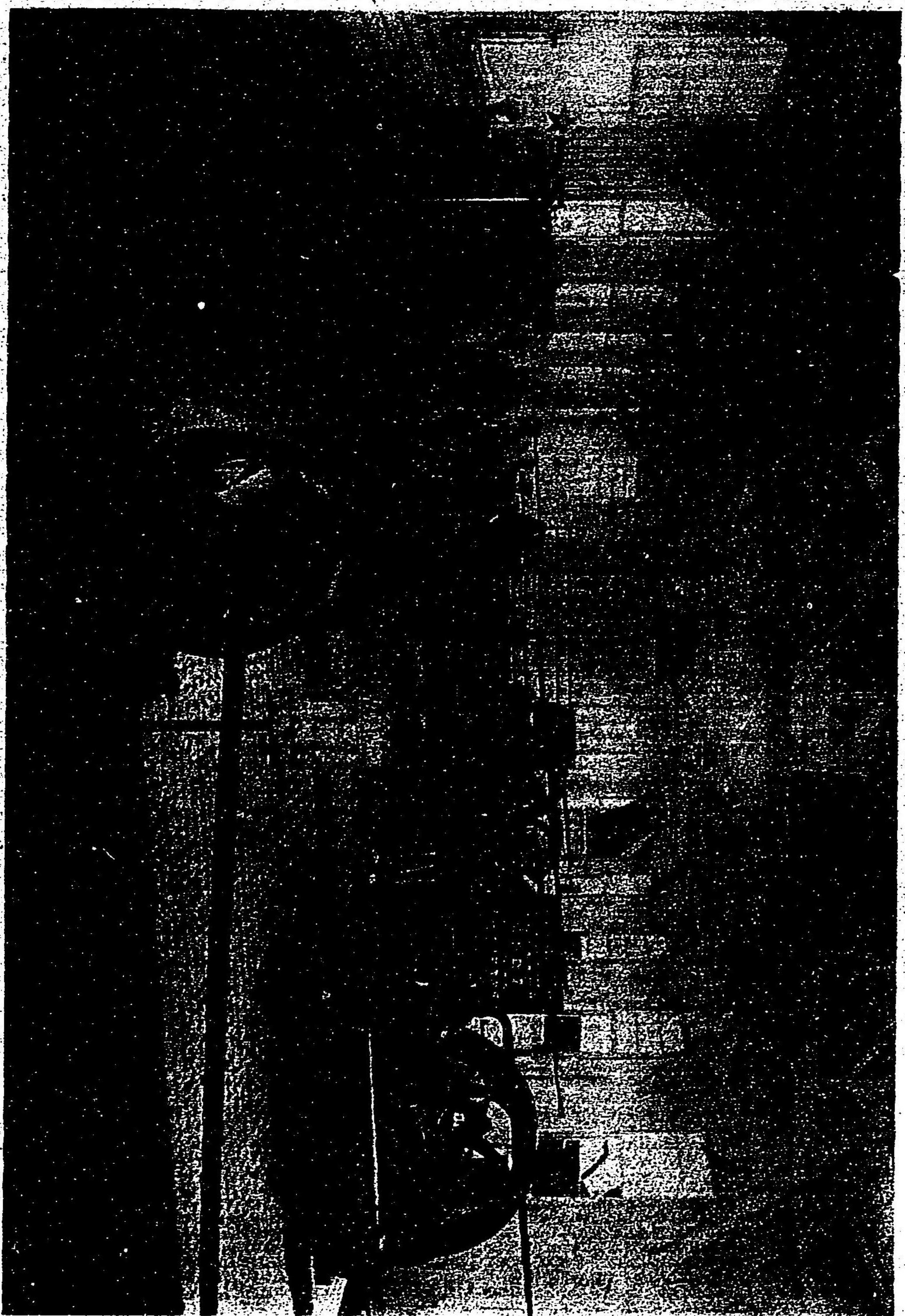
材民光太	鑄目切機	二、五馬力
大橋京次	印刷機	二、五馬力
中西三郎	印刷機	二、五馬力
太田巳三郎	印刷機	二、五馬力
江川次郎	印刷機	三、〇馬力
秋月德太郎	印刷機	二、五馬力
高口常次	印刷機	一、〇馬力
井原和次	印刷機	三、〇馬力
栗原廣和	印刷機	二、五馬力
松尾直三	印刷機	〇、五馬力
御川直三	印刷機	二、馬馬力
豐田耕一	印刷機	〇、五馬力
小藤文一	印刷機	〇、五馬力
齋藤文一	印刷機	〇、五馬力
戒能文一	印刷機	〇、五馬力
辻能文一	印刷機	二、〇馬力
高田能文一	印刷機	一、〇馬力
神保兼右衛門	印刷機	一、五馬力
達保兼右衛門	印刷機	一、〇馬力
千澤平三	印刷機	一、〇馬力
大澤平三	印刷機	〇、五馬力
永瀬千榮	印刷機	一、〇馬力

二百四十六

又横濱市出品人ハ本會ノ供給スル電力ニテハ到底不足ナルヲ以テ少クトモ百馬力ヲ供給セラレタシトノ請求ナリシモ素ヨリ不可能ノ事ナルヲ以テ不足ノ動力ハ各自ニ原動機ヲ据付クルコト、シ本會ヨリハエフ、ダブリユ、ホーン商會、ジャードンマテソン商會、アルフレッド、ハーパート商會、コーンス商會、フーパーボヒト商會、アメリカントレーチング商會ニ對シ總計五十馬力ヲ供給スルコト、セリ

(ハ) 動力室ノ建設

東京瓦斯會社及高田商會ノ供給ニ依リ諸原動機械ヨリ發生シ得ヘキ原動力ハ瓦斯機關百五十馬力發電機百三十三馬力ニシテ各館所要ノ馬力ヲ供給スル爲メ据付ケタル電動機ノ全馬力ハ百五十八ナリトス而シテ動力供給ノ設備ヲナスニ當テ大容量ノ原動機一臺ヲ使用スルト小容量ノモノ數臺ヲ使用スルトハ經濟上大ニ思慮ヲ要スヘキ所ナリト雖モ動力供給ノ情況モ又大ニ顧ミサルヘカラス今回特ニ本會ニ於テ小容量ノ原動機五個ヲ使用セシ所以ノモノハ一ハ出品者ノ希望ニ依リ一ハ其運轉スヘキ出品機械ニ甚シキ負荷ノ減少シタル場合ニ大原動機ヲ運轉スルハ經濟上甚シキ不利益ナレハナリ果セル哉其負荷豫定容量ノ半數ニ達セサルコト十數日ニ亘リシカスカル情況ノ下ニ大原動機一臺ヲ以テ動力ヲ供給センカ其原動機タル瓦斯機關ノ燃料比較的多量ヲ要シ且事故アルトキ之レニ代ユルノ豫備品ナキヲ以



景光ノ置裝機電發內室力動

テ館内ノ運轉ヲ全部中止セサルヘカラサルノ失態ニ陥ルコトナシトセス然ルニ本會ハ數臺ノ原動機ヲ使用シタルニ依テ是等ノ憂ナキヲ得タルノミナラス五臺ノ發電機ハ配電盤ノ特別裝置ニ依リ特ニ並列運轉法ヲ使用シ依テ以テ負荷ノ増減ハ各發電機ニ於テ平等ニ分擔セシメ全負荷ノ場合ニ於テハ恰モ一臺ノ大原動機ヲ使用シタルト同一ノ作用ヲナシ使用容量ノ著シク減少シタル場合ニ於テハ其所要ノ電力ヲ得ルニ足ルヘキ發電機ノミヲ運轉シ其他ハ運轉ヲ中止シ以テ大ニ其原動機ノ燃料ヲ節約スルコトヲ得タリ

是ニ於テ瓦斯機關發電機ノ大サ、瓦斯機關ヨリ發電機ニ掛ケラルヘキ調革カ滑ルコトナキ爲メ充分ナル距離、配電盤ノ位置等ヲ攷究シ更ニ建設地ノ地勢ヲ考察シ南北十五間東西五間半ノ木造室ヲ建設シ之ヲ動力室ト名ツケタリ

動力室ハ建坪八拾貳坪五合梁間五間半、桁行拾五間軒高地盤ヨリ桁峙迄拾五尺柱堀建根入六尺二重屋根瓦棒造リ、ブリキ板葺軒廻リ三方、バラベツト高三尺外部三方西洋下見、ペンキ塗背面彫ヲ子下見生澁塗内部杉四分板豎羽目六尺通リサイト塗其上部胡粉塗仕上ケトナセリ而シテ正面貳ヶ所ノ出入口ハ四枚開キ唐戸高拾壹尺八寸横八尺五寸トシ側面ニヶ所ノ出入口ハ四枚開唐戸高拾壹尺八寸横拾壹尺五寸トシ背面貳ヶ所ノ非常口ハ引板戸高七尺横五尺トシ採光ノ爲メ側明リ取リ上下硝子窓高七尺横四尺貳拾ヶ所軒下明リ取窓硝子障子貳尺五寸方八拾枚ヲ設備セリ

動力室ニ於ケル敷瓦ハ岡山縣備前陶器會社ノ出品ニ係リ會期中無償使用ノ便ヲ得タリ而シ

テ此敷瓦ハ大ニ體裁良好ナルヲ以テ從前ノ博覽會ニ設備セル動力室ニ比シ一段ノ光彩ヲ放
チタルモノト謂フヘシ其形狀色彩坪數左ノ如シ

坪數	色彩	形狀	第壹號	第貳號	第參號	第四號	第五號
九坪八勺	淡赤色						
九坪八勺	乙甲 墨白色						
九坪八勺	水藍色						
九坪八勺	乙甲 墨赤色						
九坪八勺	赤色						

瓦斯機關發電機及各館内電動機副軸主軸ニ使用セル機械油及バルブ油ハ米國スタンダード
石油會社ノ寄附品ヲ使用シタルヲ以テ經濟上機械費ヲ大ニ減シタルノ効アラシメタリ而シ
テ使用油ハ該會社カ特別ノ好意ヲ以テ本會ノ注文ニ應シタレハ極メテ好都合ナリシ會期中
使用セル油ノ名稱石數並ニ代價左ノ如シ

符號	油名	石數	價格
	淡赤色	〇、九八六	二二、六八〇
	乙甲 墨白色	〇、九三八	二五、五六〇
	水藍色	三、八六〇	一六四、五六〇
	乙甲 墨赤色	一〇、〇〇〇	一一五、〇〇〇
	赤色	〇、六〇〇	七、三五〇
	合計	一六、八三四	三三五、一五〇

合 O.R.E.M.E.M.S.P.M

ペールマシンナリ
マンチエスター、スピンドル
マンハッタンエンジン
オリエンタルレッドエンジン
機械洗滌用ニユートラルオイル

〇、九八六
〇、九三八
三、八六〇
一〇、〇〇〇
〇、六〇〇
一六、八三四

二二、六八〇
二五、五六〇
一六四、五六〇
一一五、〇〇〇
七、三五〇
三三五、一五〇

動力室内ニ於テ瓦斯機關ヨリ發生セル動力ヲ發電機ニ電達スヘキ調革及機械館内ニ据付ケ
タル電動機ヨリ主軸ヲ回轉スル爲メニ使用シタル調革ハ東京市日本橋區通り一丁目十四番
地小泉久七ノ出品ニ係リ出品人ノ好意ヲ以テ會期中無償ニテ使用スルコト、セリ其寸法、數
量代價左ノ如シ

種目	寸法	數量	量	價格
貳重調革	幅八吋長四〇呎	二	本	二〇七、〇〇
同	幅七呎長四〇呎	三	本	二六三、〇〇
同	幅六吋二分ノ一長二四呎	三	本	一四六、〇〇
同	幅六吋二分ノ一長三六呎	一	本	四七、〇〇
單調革	幅五吋二分ノ一長三九呎	二	本	八二、〇〇
同	幅四吋二分ノ一長三九呎	一	本	三三、〇〇
同	幅四吋二分ノ一長三九呎	一	本	二二、〇〇
同	幅三吋二分ノ一長三九呎	一	本	八〇、〇〇
合計		三	本	三三五、一五〇

又外國製品館内ニ据付ケタル電動機ヨリ主軸ヲ回轉スル爲メニ使用セル調革ハ東京市京橋區加賀町八番地大阪新田帶革製造所出張店ノ出品ニ係リ出品人ノ好意ヲ以テ會期中無償ニテ使用スルコトトヒリ其寸法數量代價左ノ如シ

種	目	寸	法	數	量	價	格
二枚合帶	革	幅六吋長四三呎一〇吋	本	五	本	三三二、五〇	
同	上	同上長五一呎七吋	本	一	本	一〇八、三一	
同	上	幅五吋長三一呎六吋	本	二	本	九四、三七	
同	上	同上長二七呎八吋	本	一	本	四七、八六	
同	上	同上長四呎六吋	本	一	本	五二、六五	
同	上	幅四吋長四三呎一〇吋	本	二	本	一〇〇、九〇	
同	上	幅六吋長二七呎九吋	本	一	本	三六、六三	
同	上	幅五吋半長二七呎八吋	本	一	本	三二、六四	
同	上	幅四吋長三三呎七吋	本	四	本	一〇四、六五	
合計				八	本	九〇〇、五一	

(二) 瓦斯機關基礎工事

動力ノ大サ並ニ動力室ノ位置定マリ更ニ地取リヲ終了スルヤ建設ニ先チ瓦斯機關ノ基礎工事ニ著手セリ元來第二會場ノ地タル地盤極メテ軟弱ニシテ到底姑息ノ基礎工事ヲナスノ危険ナルヲ以テ動力室ノ内瓦斯機關及發電機ヲ据付クヘキ東西四間二尺南北八間三尺ノ面積ニ對シ永久の工事ニ等シキ設備ヲナシタリ即チ杭ハ未口六寸長十五尺ノ松丸太ノ末ヲ尖ラ

シ方形一尺五寸ノ間隔ノ割合ニテ地面下五尺ニ打込ミ杭ノ間ニ割栗ヲ敷キ瓦斯機關ノ下ニアリテハ杭面上二尺ノ厚サニコンクリートヲ敷キ其上面迄煉瓦ヲ以テ高三尺ニ積ミ上ケ其上ニ花崗石ヲ載セ之レニ瓦斯機關ヲ置ケリ又別ニ瓦斯機關ノ側ニ於テハ杭面上五尺即チ地面迄前記ノコンクリートヲ以テ敷キ堅メタリ此ノ如クナシタルヲ以テ動力室ニ於ケル瓦斯機關五臺ハ恰モ一個ノ大巖石ノ上ニ於テ運轉セル如クナラシメタリ之レカ爲メニ要セシ材料ノ數量及經費等左ノ如シ

種	目	數	單	價	小	計
砂	利	五	坪	一三、五〇		七四二、五〇
砂	十	十	坪	六、〇〇		二二八、〇〇
割栗	一	八	坪	二〇、〇〇		二二〇、〇〇
上	二	七	組	四、〇〇		一〇八〇、〇〇
地	五	十	本	四八、〇〇		二四〇、〇〇
煉	八	百	本	二、〇〇		一六〇〇、〇〇
職	五	千	本	一三、〇〇		六五、〇〇
手	百	十	人	八、〇〇		八八、〇〇
大	百	十	人	四、五〇		四九、五〇
堀	十	七	人	一六、二〇		一六、二〇
石	五	十	人	五、〇〇		三七五、〇〇
瓦斯機關基礎工事費	四	十	人	一、一〇		四八、四〇
合計						四六五二、六〇

(ホ) 瓦斯機關据附工事

基礎工事已ニ終ルヤ直ニ動力室ノ建設ニ著手シ其將ニ竣工セントスルニ際シ瓦斯機關ノ据付ケニ取リ掛リタリ

動力室ニ据付クヘキ五個ノ瓦斯機關ハ之ヲ竝列セシメ相互中心ノ距離ヲ十三尺トナシ作業ニ便ナラシメタリ各機關ノ陳列容積ハ幅六呎九吋八分ノ七長九呎六吋高五呎十一吋ニシテ五臺共同形式SE形ニシテシリンドアノ直徑十吋衝程十八吋ニシテ飛輪ノ直徑六呎六吋幅十吋ノモノ一個ヲ有シ一分間ノ回轉數ハ二百五十ニシテ會期中ノ實驗ニ依レハ一馬力一時間ニ十七立方呎ノ瓦斯ヲ要セリ而シテ瓦斯ノ供給ハ鑄鐵内徑六吋管ヲ動力室ノ左右ヨリ引キ込ミ三百燈計量器二個ヲ付ケ其間ヲ六吋管ニテ連絡ス此管ヨリ瓦斯袋ニ至ル間ハ二吋ノ鍊鐵管ヲ以テシ瓦斯袋ヨリ機關ニ至ル間ハ一吋四分鍊鐵管ヲ使用セリ又箸火裝置ニ供給スル瓦斯ハ瓦斯袋ノ前ヨリ二分ノ一吋管ヲ以テ連絡ス排氣管ハ鍊鐵製三吋管ヲ用ヒ排氣ハ排氣管ヨリ高一呎二吋直徑一呎六吋ノ鑄鐵製エキゾーストボックス三個ヲ通過セシメ地上二十呎ノ所ニテ排氣セシム而シテ機關ヨリ排氣口ニ至ル長サハ平均約六十呎トス各機關ノシリンドアヲ冷却セシムル水ハ直徑二呎十吋高六呎ノ鍊鐵製水槽三個ヨリ鍊鐵製二吋管ヲ以テ送り循環セシム水槽三個ノ内端ノ一個ハ水道栓ニ連結セシメタリ而シテ是等ノ設備ト機關据付ケノ爲メ要セル材料ノ數量及經費左ノ如シ

種	目	數	量	單	價	小	計
---	---	---	---	---	---	---	---

鑄鐵	六吋管	九尺	モ	ノ	二	一、五〇	三三二、〇〇
鑄鐵	鐵	管	繼	手	四	四、二〇	一六八、〇〇
同	鑄鐵	三吋管	九尺	モ	拾	二〇、〇〇	八〇、〇〇
鍊鐵	鐵	三吋管	半	管	五	五、四〇	五四、〇〇
同	同	二吋管	半	管	三	六、〇〇	三〇〇、〇〇
同	同	二吋管	半	管	三	四、四〇	一六五、〇〇
同	同	二吋管	半	管	二	二、九〇	五九、四五
鍊鐵	鐵	管	繼	手	一	〇、六〇	六、三〇
鍊鐵	製	二吋管	半	管	四	九、八〇	四六八、四四
同	同	半吋	管	管	五	六、七〇	三三、五〇
同	同	半吋	管	管	五	二、六五	一三、二五
同	同	一分四厘	管	管	五	一、五六	七、八五
眞鍮	半吋	一口	口	口	五	三、六〇	一、八〇
生	鉛	拾	貫	個	五	六、〇〇	三〇、〇〇
コ	鉛	拾	貫	個	五	六、〇〇	三〇、〇〇
鑄鐵	製	三吋	管	管	五	一〇、〇〇	五〇、〇〇
水槽	徑	二尺	八寸	高	拾	三三、六〇	五〇四、〇〇
三吋	エキゾースト	ボックス	三個	個	拾	一一、六〇	一八九、〇〇
職	工	傳	工	人	百	八〇	一〇四、〇〇
手	方	傳	工	人	百	四〇	五八、五〇
堀	方	傳	工	人	七	五〇	三七、五〇
石	方	傳	工	人	十	一〇	一八、七〇

瓦斯機關取付費合計	力	工	工		
	二	三	一		
	十			人	人
					七六
					一〇〇〇
					一〇〇〇
					二六九八〇〇

二百五十六

(ハ) 發電機基礎工事

瓦斯機關据付ケノ工事半ハニ當リテ發電機ノ基礎工事ニ著手セリ之レヨリ先キ高田商會ノ出品ニシテ動力室ニ据付ケヘキ貳拾キロワット五臺ノ發電機ハ電動機ト共ニ會期迄ニ据付ケヘキ契約ナリシニ係ハラス海外ヨリ到着セサル爲メ其運ヒニ至ラサリシ故止ムヲ得ス同商會ヨリ二十四馬力發電機二臺ヲ代品トシテ提供シタレハ之レヲ前記契約ノ發電機到着迄使スルコト、セリ之レカ爲メ開會後四十六日間各館ニ充分ノ動力ヲ供給スルコト能ハサルニ至リシハ誠ニ遺憾ナリシト云フヘシ發電機ノ基礎工事ハ前記瓦斯機關基礎工事ノ項ニ述ヘタル地形ノ上ニ煉瓦六段積ナル截頭長方錐形ニ積ミ其上ニ發電機ノ載ルヘキ木製板ヲ置キタリ而シテ各發電機基礎相互ノ中間ハ砂利ヲ入レ搗キ堅メタリ

發電機ハ自働注油装置ヲ有スル軸受二個ト軌條一對並調車等之レニ必要ナル附屬品一式ヲ完備シタルモノニシテドラム型ノ發電子ヲ用ヒ其「コーア」ハ之レニ適合セル善良ナル五十ミルノ厚サヲ有セル軟鐵板ヲ各自ニ「コーア」パン「バウンド」ヲ塗抹シ各板ヲシテ全ク絶縁セシメ兩端ハ四分ノ一時ノ厚サヲ有スル軟鐵製ノ「エンドプレート」トヲ置キ充分壓搾ノ後チ組合セタ

ルモノナリ又發電子用導線ハ「スロット」中ニ雲母紙ヲ置キ其中ニ導線ヲ入レ水防トモ油防トモナルヘキ「アーマチエ」コン「バウンド」ヲ以テ塗抹シタルモノナルヲ以テ絶縁力極メテ大ナリ即「コイル」ト「コイル」ノ間或ハ「コイル」ト「シャフト」間ハ一分間千五百「ボルト」ノ電壓ヲ以テノ試験ニ合格セルモノナリ

「ファイールド」ハ復捲式ニシテ一分間千百ノ回轉ヲナシ無荷重ノ時百十八「ボルト」全荷重ノ時百二十五「ボルト」ヲ發生セシメ得ルモノナリ

「ファイールド」コイルニ於ケル「シリース」コイルト「シャント」コイルハ各自ニ絶縁ヲナシ濕氣ヲ防クニ「コンバウンド」ヲ以テ之レヲ塗抹セリ「コイル」間並ニ「コイル」フレーム間ノ絶縁力ハ一分間千五百「ボルト」ノ試験ニ合格セルモノナリ

整電子ハ「堅引」ノ銅ニテ製シ各「バー」間ノ絶縁物タル雲母紙ハ良好ナルモノヲ使用シタルヲ以テ各「バー」間ノ絶縁力ハ六、七「ボルト」ノ試験ニ適合セリ整電子ノ徑十吋四分ノ一長六吋二分ノ一深十六分ノ十一吋ノ大サヲ有ス

「刷子」用「カーボン」ハ每平方吋ニ付三十二「アンペア」ノ割合ヲ以テ製セリ從テ「刷子」ハ二分ノ一ノ過荷重ニテ六時間連續使用ヲナスモ有害ナル熱作用ヲ起スコトナカリキ

效率ハ半荷重ニテ八六「パーセント」四分ノ三荷重ニテ八八「パーセント」全荷重ニテ八九「パーセント」又四分ノ一ノ過荷重ニテ八九「パーセント」以上ナリ而シテ效率ヲ少カラシメタル損失ノ内ニハ發電子ノ導線ヨリ生スル損失、磁極縮線ノ導線ヨリ生スル損失、「コーンロー」ロス、軸

受並刷子ノ磨擦ヨリ生スル損失ノ全部ヲ含有ス
 發電機ハ全部併列運轉ヲナサシメ之レヲ集メテ更ニ各饋電線ニ分岐セルコト配電盤接続ノ
 圖ニ示スカ如シ而シテ此併列運轉ヲナサシムルニ要スルイクオライヂンガススイッチハ三極
 メーンスイッチノ中部ノモノヲ以テセリ電動機ハ其形式全ク同一ニシテ馬力數ノ少キモノ
 ヲ使用シタルニ過キサレハ其構造等發電機ニ準セリ
 外線ハ總テ架空式ニシテ二度打東京線ニシテ○番線若クハ一番線ヲ使用シ碍子ハ日本製ニ
 重碍子ヲ以テ保持セシメタリ屋内引込線並一番線ニ相當セルストランド線ヲ使用シ碍管内
 ヲ通シ屋内ニ引込マシメタリ使用ノゴム被覆銅線ハ二十四時間海中ニ投シ三百ボルトノ
 電壓ヲ以テ測定シ攝氏二十度ノ時千メートルニ付三百メグラーム絶緣力ヲ有スルモノナリ
 而シテカットアウト、アスレター等ハ電氣事業取締規則ニ準シ工事ヲ執行セリ而シテ發電機、電
 動機配電盤据付ニ要セル經費左ノ如シ

種	目	數	量	單	價	小	計
基礎	根切石	八	十	坪	一、〇〇〇		八、〇〇〇
杭	松末口五寸	三	百六十	坪	七、〇〇〇		二、一〇〇、〇〇〇
割	栗石	九	二	坪	二〇、〇〇〇		一、八〇、〇〇〇
コンクリート	砂六、川砂	十	二	坪	四〇、〇〇〇		四、八〇、〇〇〇
煉瓦	積手間共	二	萬二千七百	本	二一、〇〇〇		四、七六、〇〇〇
大工		二	十	人	九〇		一、八〇、〇〇〇
合計					五〇		一〇三、〇〇〇
合計							一五八八、〇〇〇

又内外線工事架設費ハ左ノ如シ

種	目	數	量	單	價	小	計
東京線	一度打	二	千四百	尺	一一		二、六四、〇〇〇
同	被覆銅線	三	千五百	尺	一一		二、〇〇、〇〇〇
同	柱	六	千二百	尺	四二		一、三三、〇〇〇
同	腕	十	一	本	五、二〇〇		五〇四、〇〇〇
同	腕	二	十一	本	七、〇〇〇		一、三、二〇〇
同	腕	三	十二	本	六、〇〇〇		一、五、〇〇〇
同	腕	二	五	本	四八		一、五、三六〇
同	腕	三	十	本	四八		一一、六〇〇
同	腕	二	十	本	三六		一一、三七二
大形	重碍子	二	十	個	四九		五〇、二〇〇
シ	ヤック	七	十	個	六五		四五、〇〇〇
S	形	三	百	個	二五		七五、〇〇〇
腕	木用	六	十	個	一二		七、二〇〇
電	柱用	三	十	個	二〇		三六、〇〇〇
碍	管	三	百	個	三四		一、三二、〇〇〇
雜	費	八	百	個	〇六		四八、〇〇〇
合計							三、五〇、〇〇〇

職	工	費	百	二十	人	九〇	一〇八、〇〇	一三六、八八
合	計							

二百六十

(ト) 電動機ノ配置

機械館内ニ出陳スヘキ運轉諸機械ハ豫カシメ其配置圖ヲ定メ之レニ依リテ各電動機ノ位置ヲ適宜ノ場所ニ選定シタリ
又外國製品館内ニ出陳スヘキ運轉諸機械ハ其大半ハ未タ本邦ニ到着セサルカ爲メニ機械ノ種類並ニ員數サヘ不明ナルヲ以テ前以テ配置圖ヲ作成スル能ハズ不得已各出品人ノ要求セル動力ノ大サニ相當セル電動機ヲ本會ニ於テ施設シタル「シヤフチング」ノ都合上便宜多キ場所ニ決定セリ

(チ) 主軸副軸及調車

機械館及外國製品館内ノ機械ヲ運轉スル爲メ据付ケシ各電動機ヨリ發生スル動力ハ調車ヲ以テ主軸ヲ回轉スルコト、セリ然レトモ電動機ノ回轉頗ル迅速ナルヲ以テ中間ニ副軸ヲ設ケ電動機ノ調車ヲ以テ副軸ヲ回轉シ副軸ノ調車ヲ以テ主軸ヲ回轉スルコト、セリ而シテ電動機ヲ以テ主軸ヲ回轉スル迄ノ設備ハ本會ニ於テ設計ヲナシ且ツ其經費ヲモ負擔セリA. B. 圖然レトモ主軸ヨリ動力ヲ出陳機械ニ取り運轉セシムルノ装置及出陳機械基礎工事並据付工事ハ出品人ニ於テナサシムルコト、セリ出陳機械ノ基礎工事及据付工事ノ全部ヲ出品人ニ一任セルハ過去ノ内國博覽會ニ於テ嘗テ見サルノ新例ニ屬シ機械館經營費ニ大減額ヲ來

サシメタルト共ニ此種ノ工事ハ苦情生シ易ク機械館經營上困難トスルモノナルヲ一轉シテ出品人ノ希望ニ任セ兼テ其煩累ヲ避ケタルハ誠ニ當ヲ得タルモノニシテ巧妙ノ所置ナリシト云フヘシ然リ而シテ主軸ノ取付位置ハ館ノ中央南北ノ方向ニ配列セラレタル支柱ニ據ラシメタル柱ニ取り付クルコト、セリ之レ主軸取付用支柱ヲ獨立ニ建設シテ充分鞏固タラシムルニハ複雑ナル装置ト多額ノ經費ヲ要スルヲ以テ斯ノ如クナシタルト一ツハ運轉諸機械ハ可成中央大通路ニ面セシムル時ハ危険少キト觀覽人ノ見ルニ便利多カルヘキヲ以テナリ是ニ於テ支柱ハ別圖ノ如キ位置ニ建ツルコト、シ主軸ノ長サハ運轉機械ヲ前記支柱ニ近キ所ニ置クヘキ計書ノ下ニ豫定セラレタル出品陳列區域圖ニ依リテ其長サ及軸承數接手數ヲ取調ヘタリ主軸ノ回轉數ハ機械館ニアリテハ一分間百回轉外國製品館ニアリテハ同百二十回トナシ機械館ノ出品人ニハ本會ニ於テ左ノ如ク定メタル大サニ從ヒ必要ノ個數ヲ申出サシメ外國製品館ノ出品人ニハ各自任意ノ設計ヲナサシムルコト、セリ

第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
一	二	三	四	五	六	七	八	八	八
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
直	徑	三	十	十	十	十	十	六	八
		寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸
		幅	六	六	六	六	六	六	六
		寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸

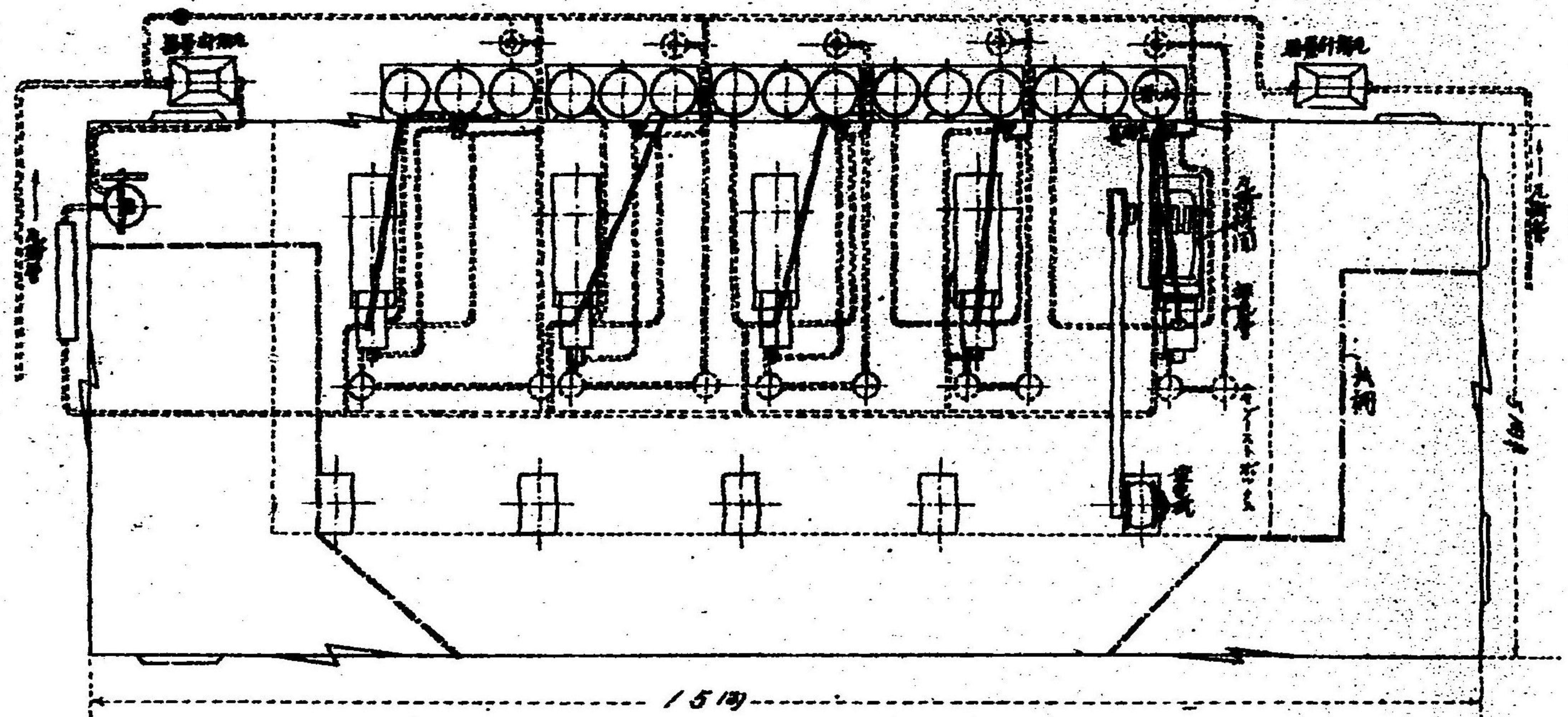
二百六十一

之レニ依リテ機械館及外國製品館内ニ於ケル回轉諸機械ヲ運轉スル爲メノ裝置全部ヲ別圖ノ如ク設計シ其内支柱橫架等木工ニ關スル部分ハ建築請負人木口熊吉ヲシテ擔任セシメタリ之レニ要セル材料經費等左ノ如シ

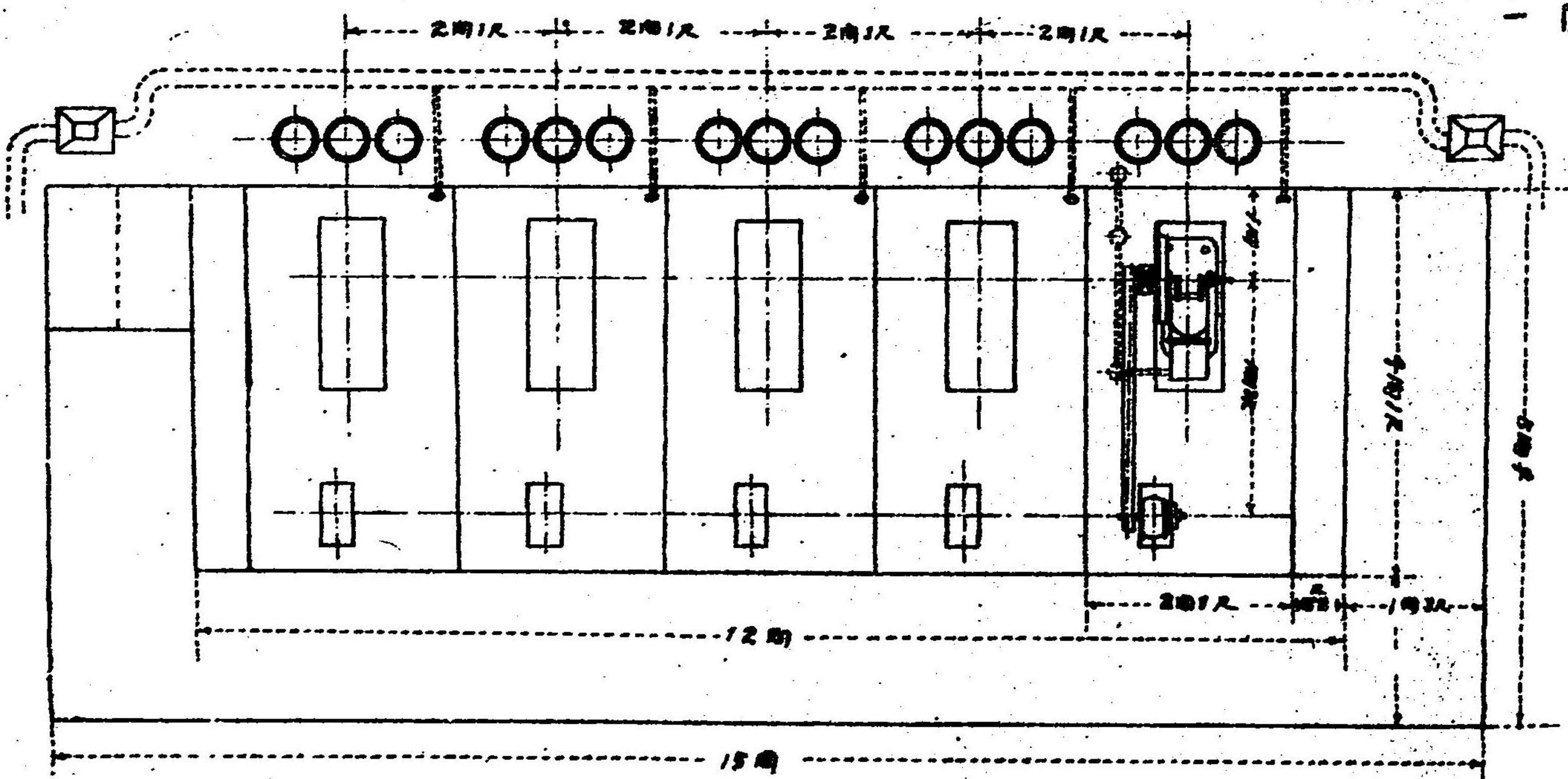
名稱	品 種 寸 法	員 數	單 價	小 計
杭 木	松丸太長二間末口五寸	百七十五本	一、二〇〇	二一〇、〇〇〇
捨 土	松長二間二七寸割角	七十本	一、〇〇〇	七〇、〇〇〇
方 杖	松長二間五寸角	七十本	一、二〇〇	八四、〇〇〇
柱 杖	松長三間八寸角	三十五本	一三、〇〇〇	四五五、〇〇〇
棒 頭	長一尺七寸徑六分	七十本	二、八〇〇	一九、六〇〇
同 頭	長一尺徑六分	四十本	一、六〇〇	二二、四〇〇
鋸 釘	千二百三十五貫	四百二十本	三、一〇〇	五、四六〇
大 小	五百十二坪	五百十二坪	八、〇〇〇	六一、七五〇
大 工	二百二十四人	二百二十四人	八、〇〇〇	四一、二〇〇
大 職	二百八十三人	二百八十三人	六、〇〇〇	九九、二〇〇
運 搬				一六九、八〇〇
合 計				一一三三、九三五

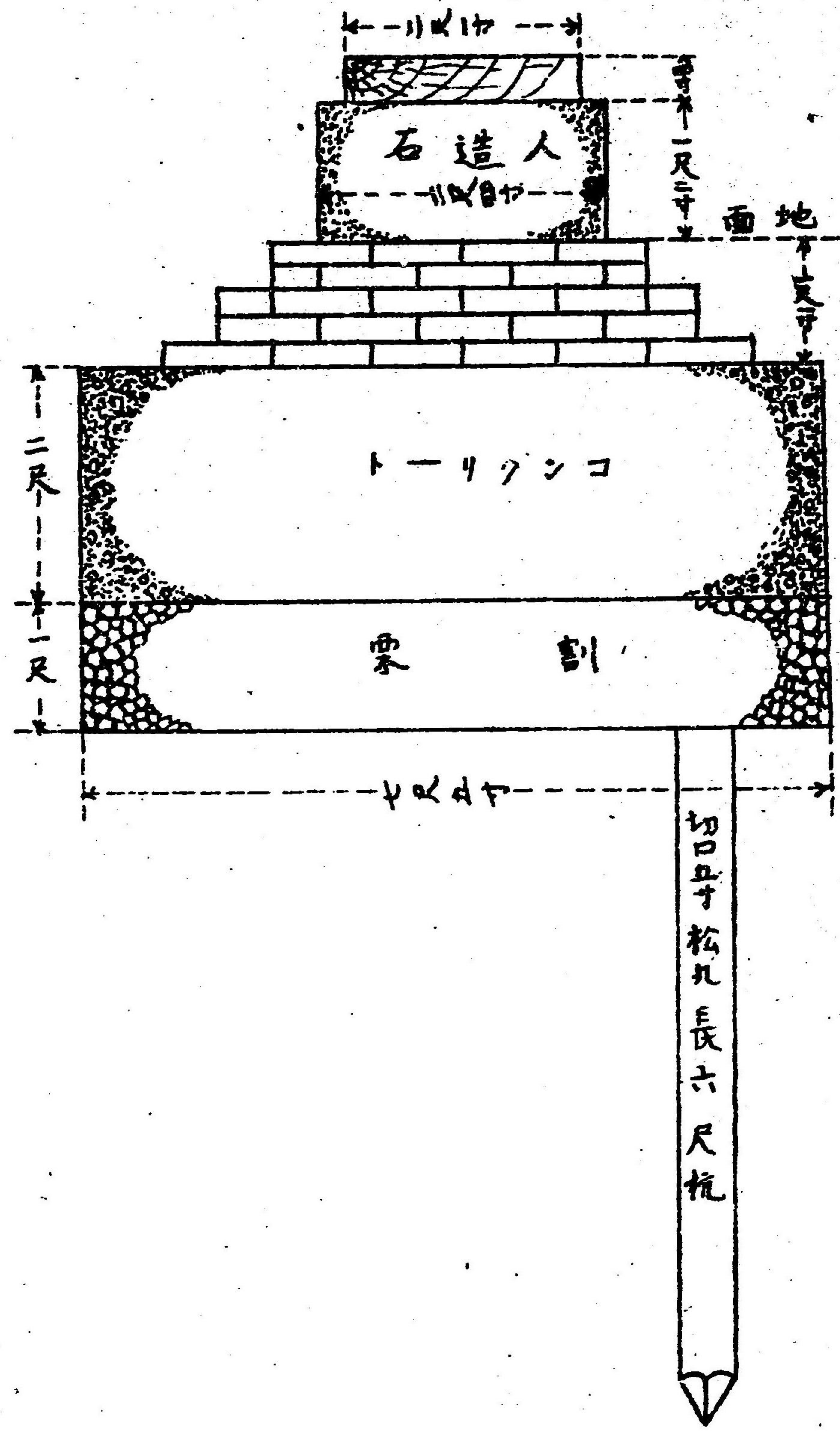
其鐵工ニ關スル部分ハ合資會社越中島鐵工所ニ擔任セシメタリ而シテ此鐵工ノ價格左ノ如シ

動力室内瓦斯機圖
附屬品据附手面圖



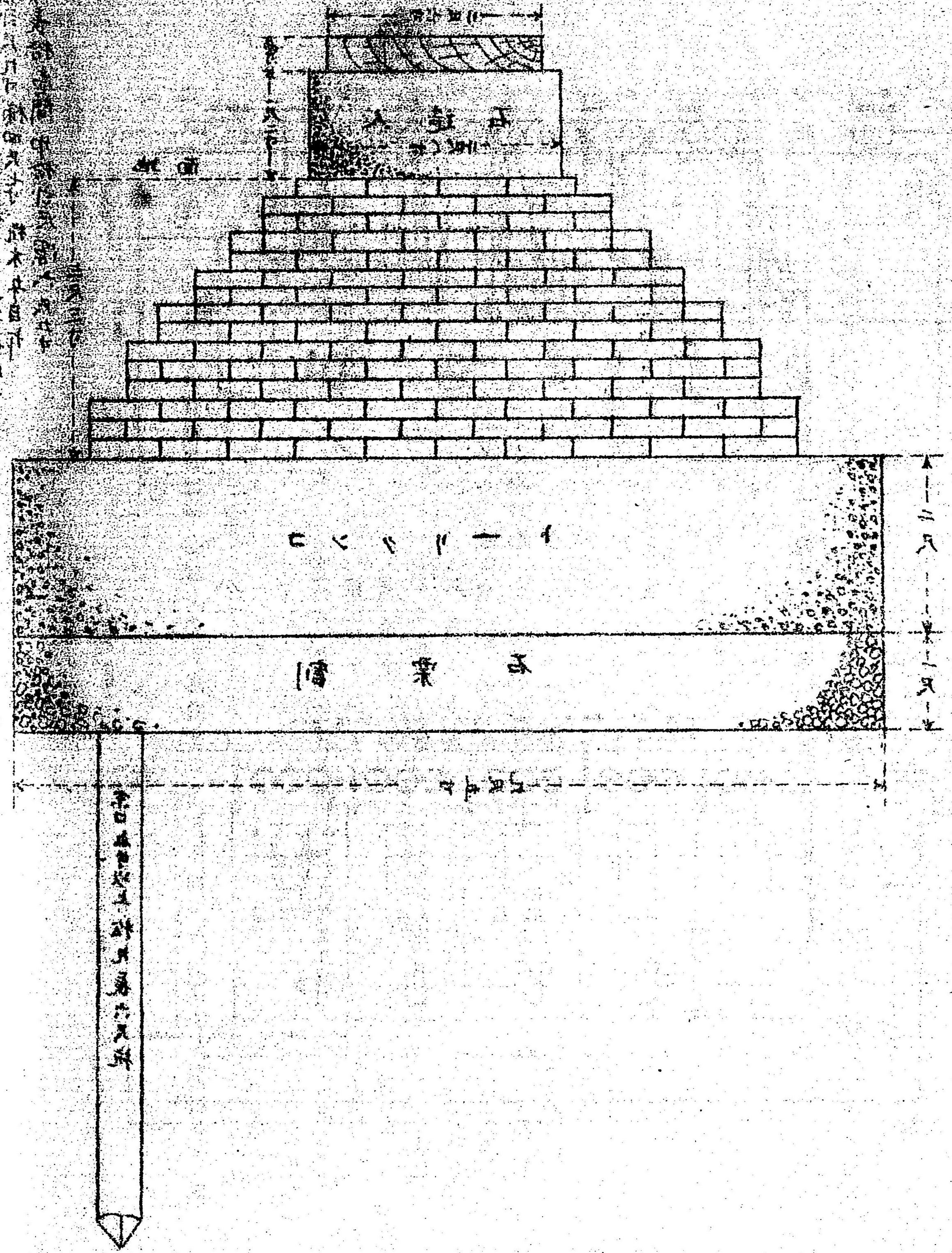
動力室手面圖
縮尺丁字一

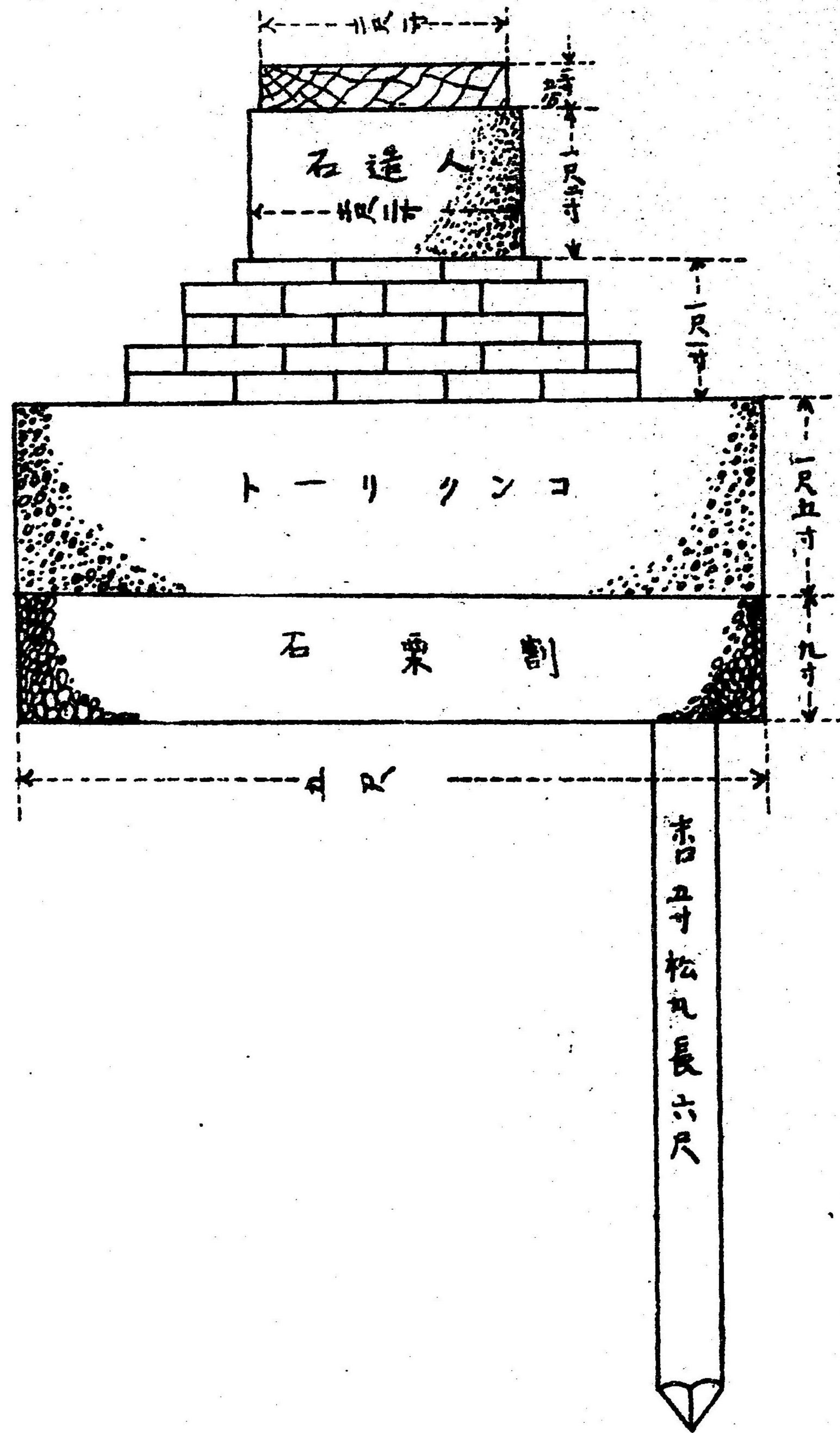




拾七馬力モーター基礎三十五(様式)の台外圍型を設計
 正面が四角形、高さ九尺、根切が七尺五寸、長さ九尺、深四尺

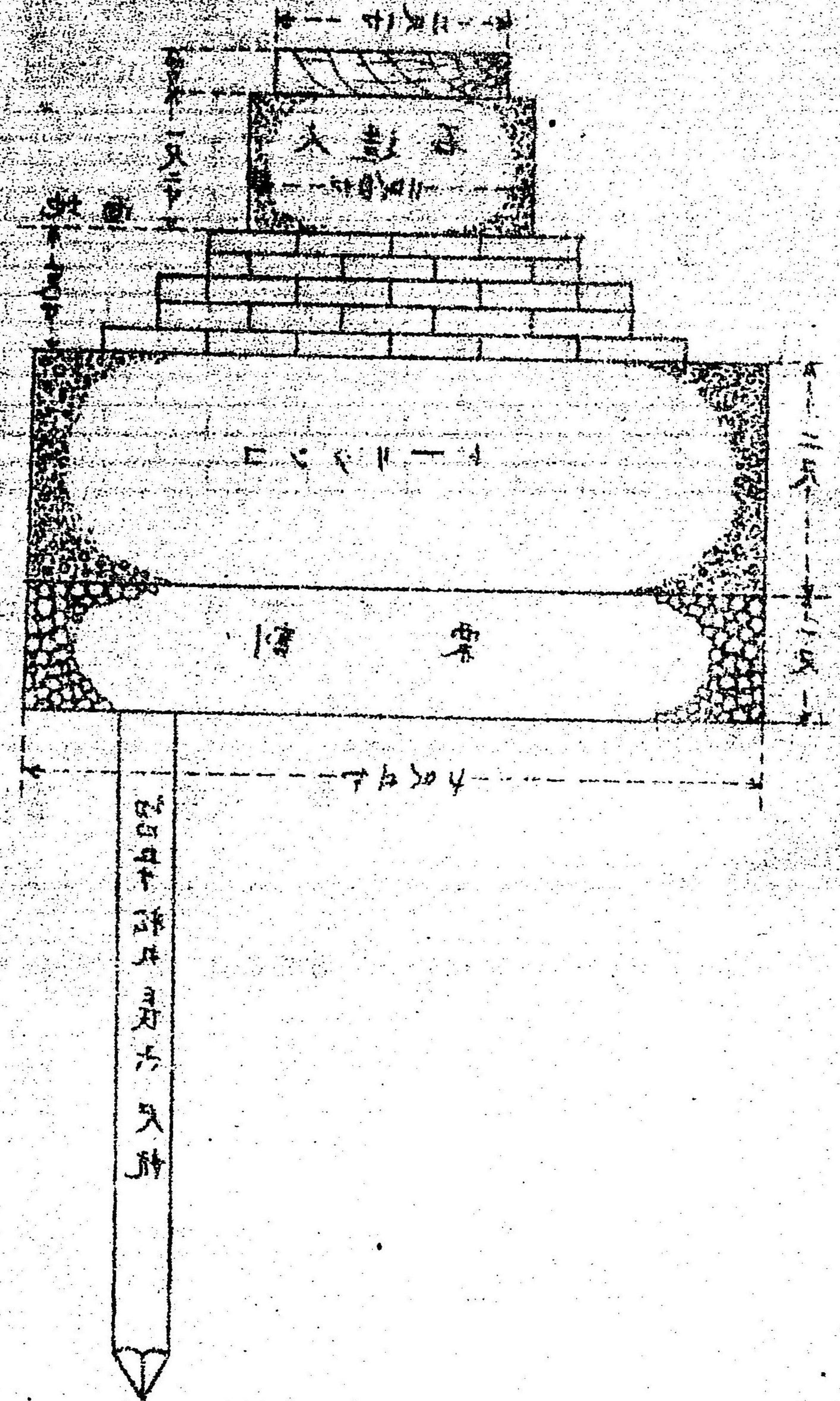
見方
 正面
 左側
 右側
 背面

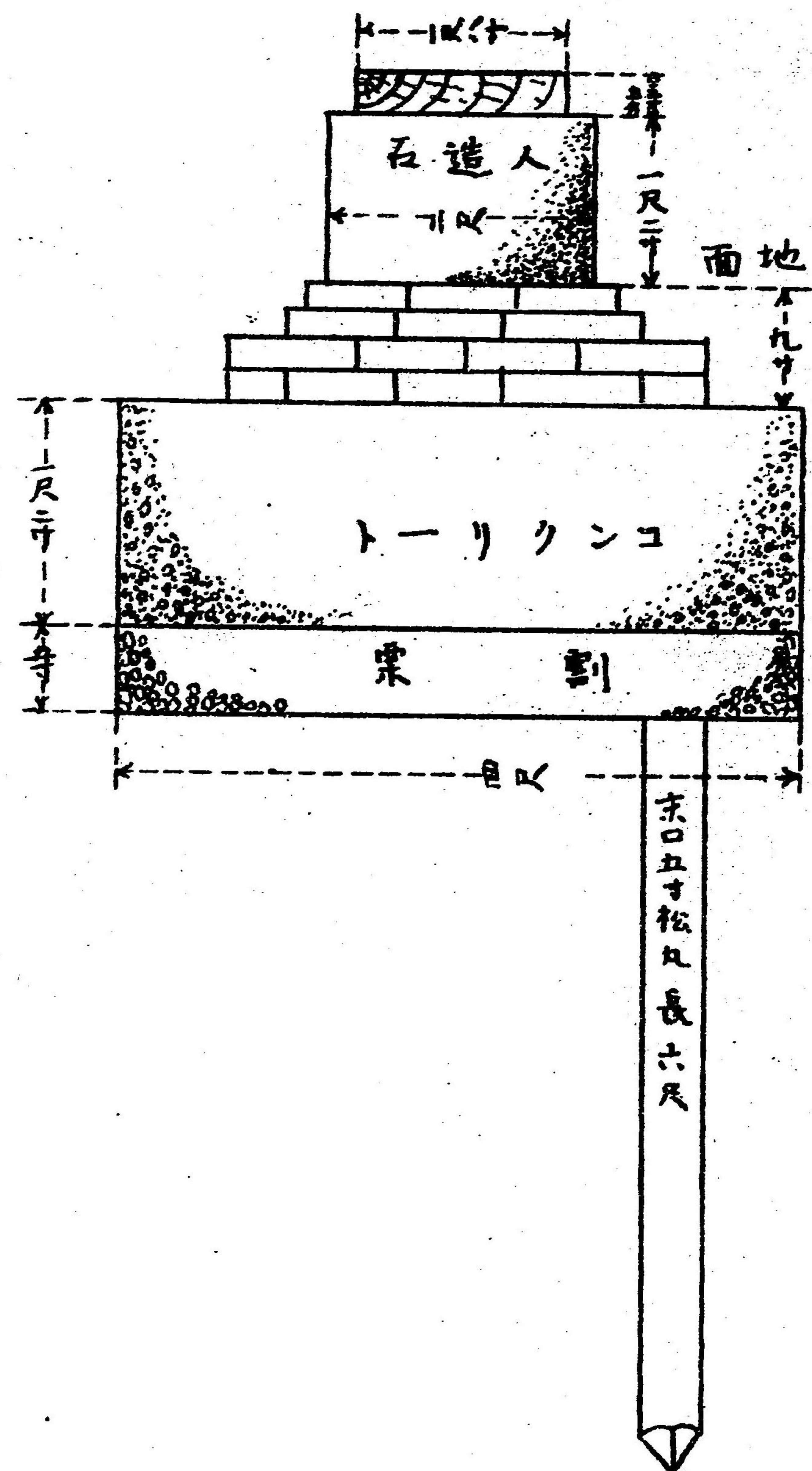




拾遺馬力モートル基礎(三十三)横林館を
 外國製馬力館東京部を台同館噴瀆部を
 正面六尺寸欄面六尺寸
 根切長七尺五寸中六尺深三尺六寸

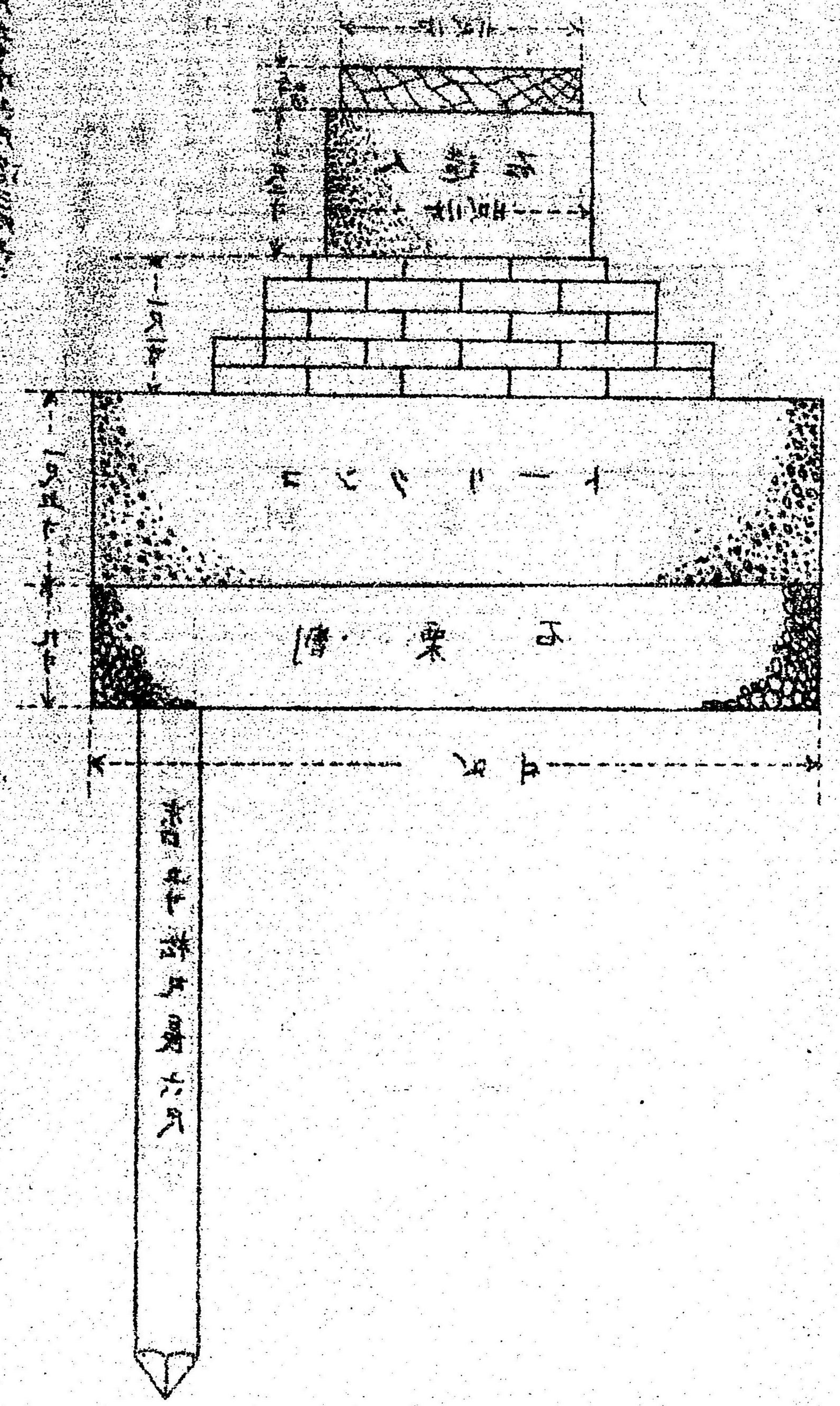
此の図は、馬力モートルの基礎を示す。基礎の構造は、上層に石造り、中間にレンガ造り、下層に土間を設ける。基礎の幅は4尺、高さは1尺5寸である。また、基礎の周囲には、赤白五寸の松丸を敷き、その長さは6尺である。

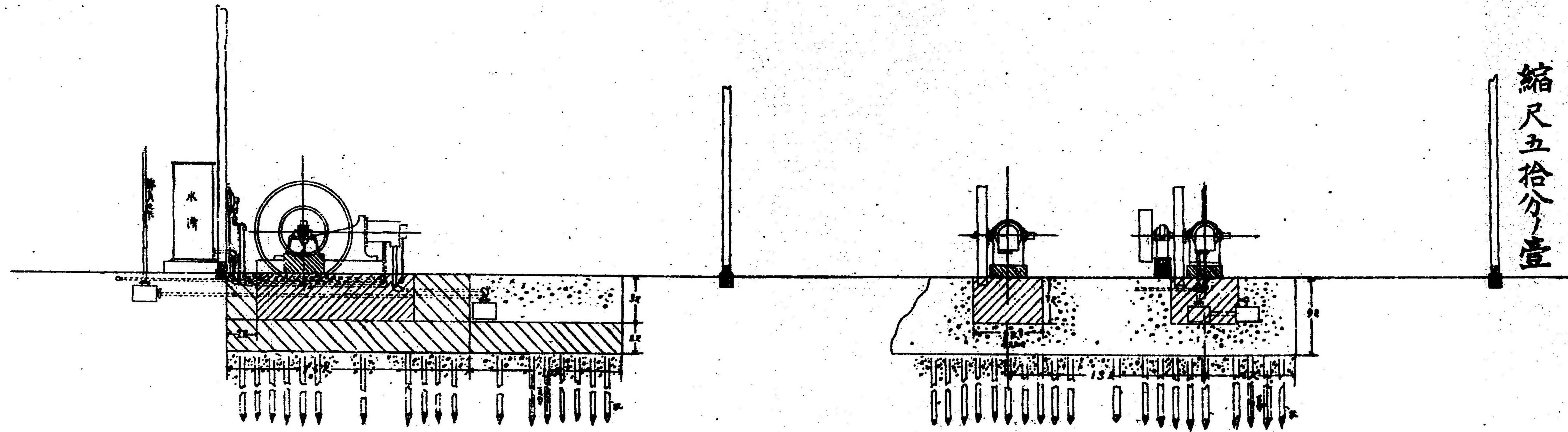




六馬力モーター基礎(三十センチ)横板を
 外面に設置し、東京新築台同機液部を
 正面から横面から
 根切の五尺長六尺七寸深三尺

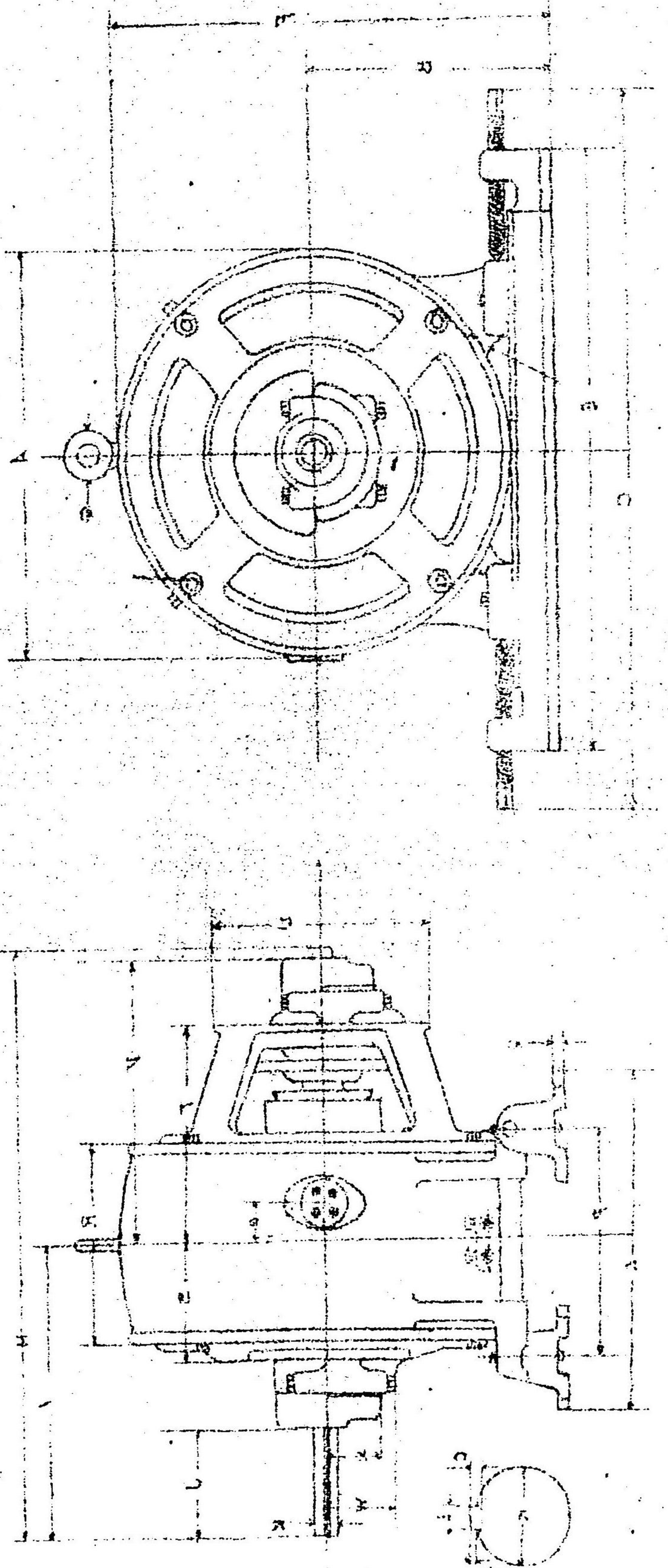
此石造りの基礎は、
 基礎の
 基礎の
 基礎の
 基礎の
 基礎の
 基礎の





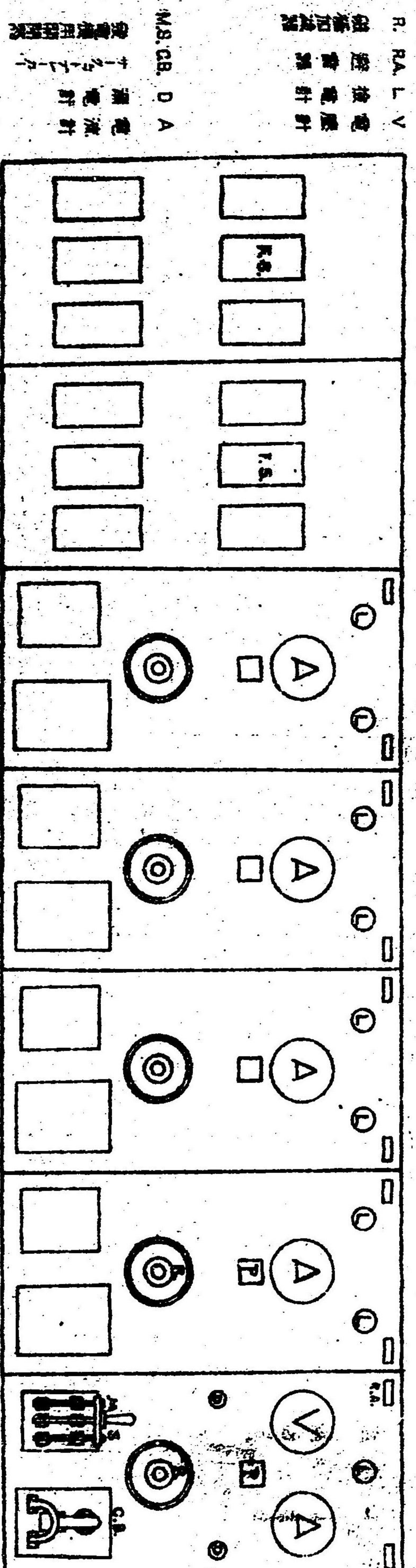
縮尺五拾分壹

機	號	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15									
		電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流	電	壓	電	流						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

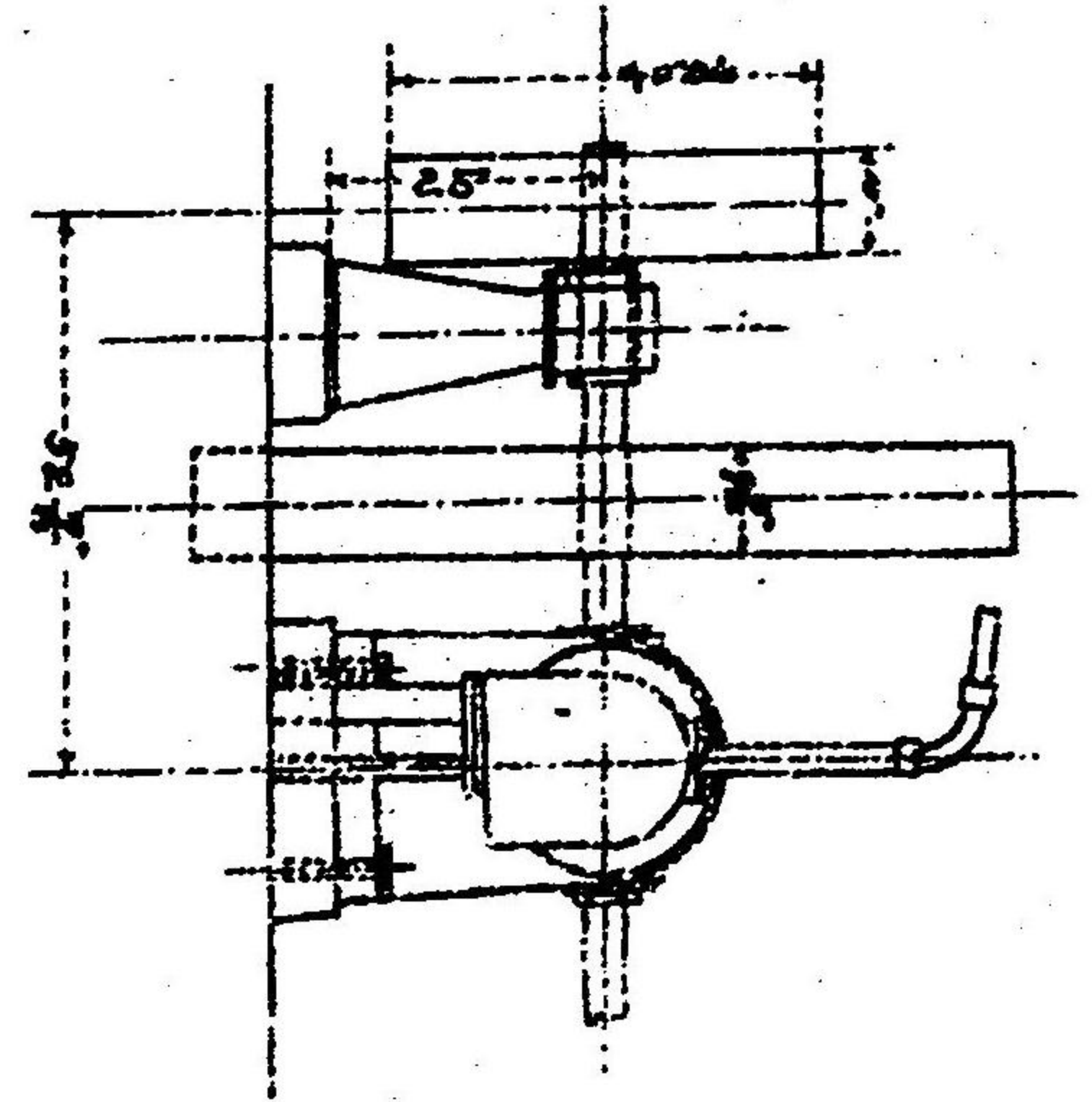
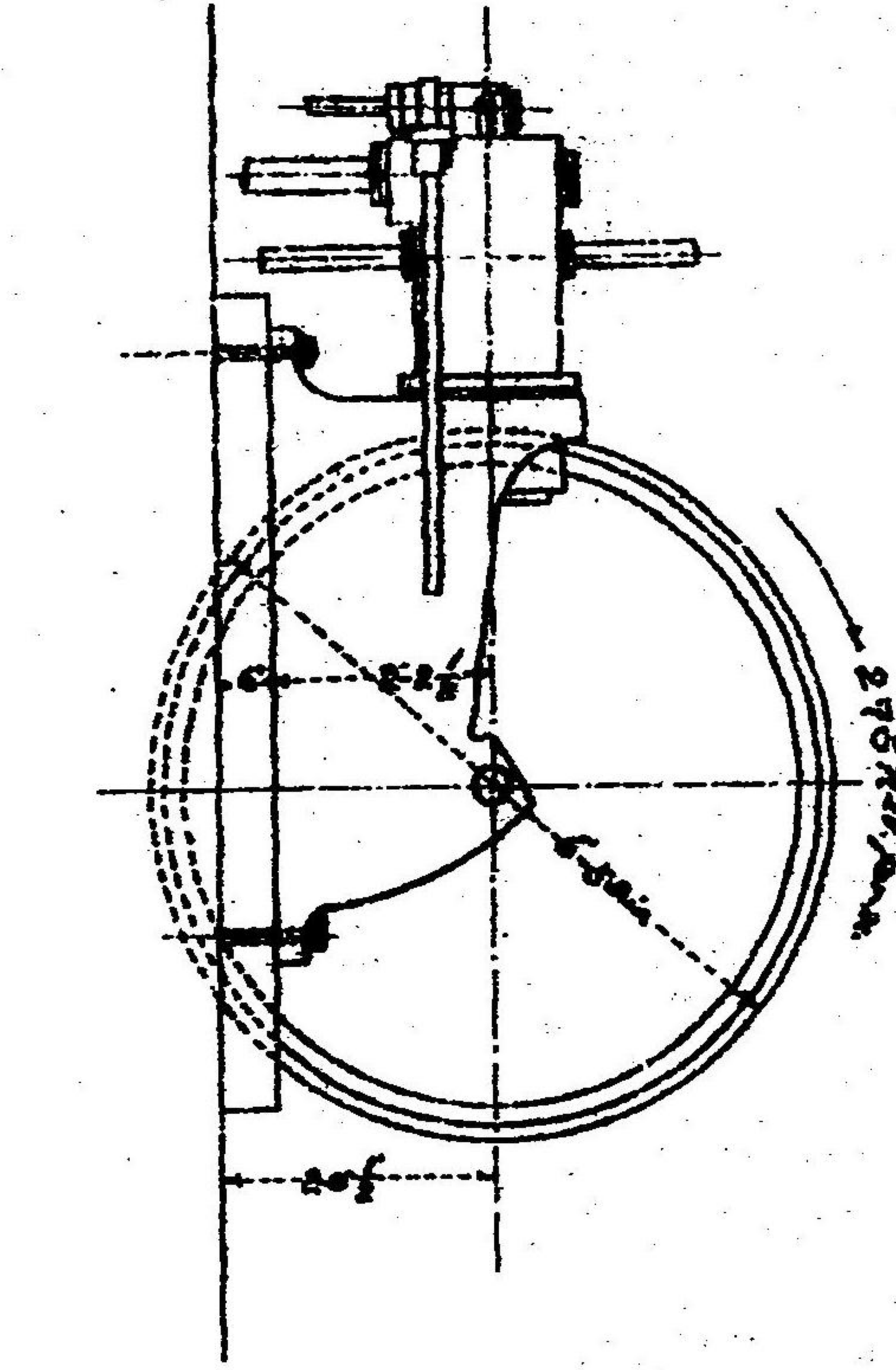
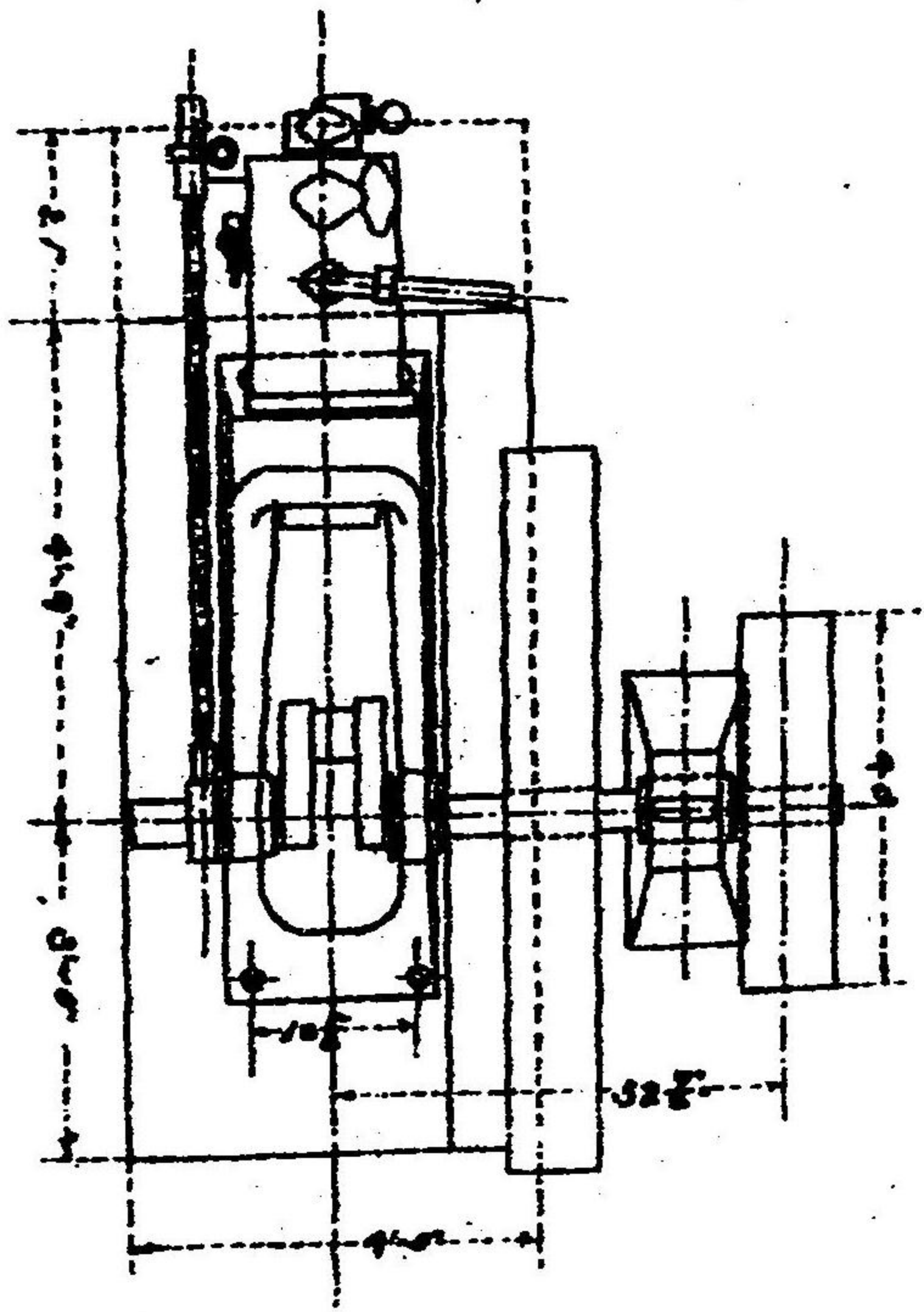


發電機之電路圖

配電盤之圖



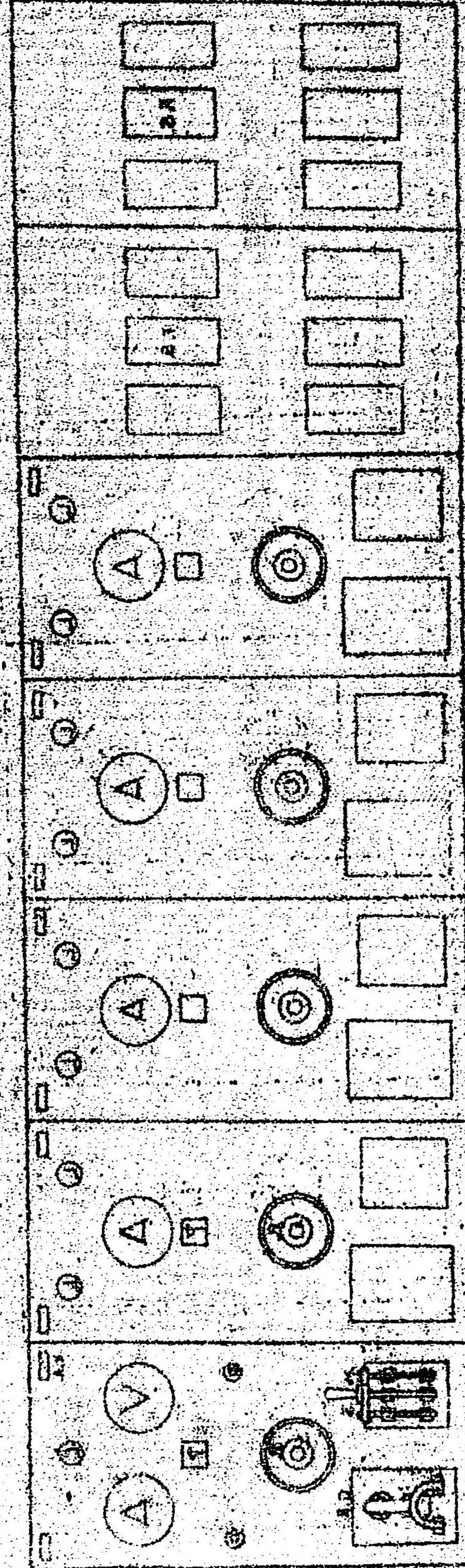
F.S
P 總電機用開閉器 (安全保護器用)
電壓計用箱 (四點)



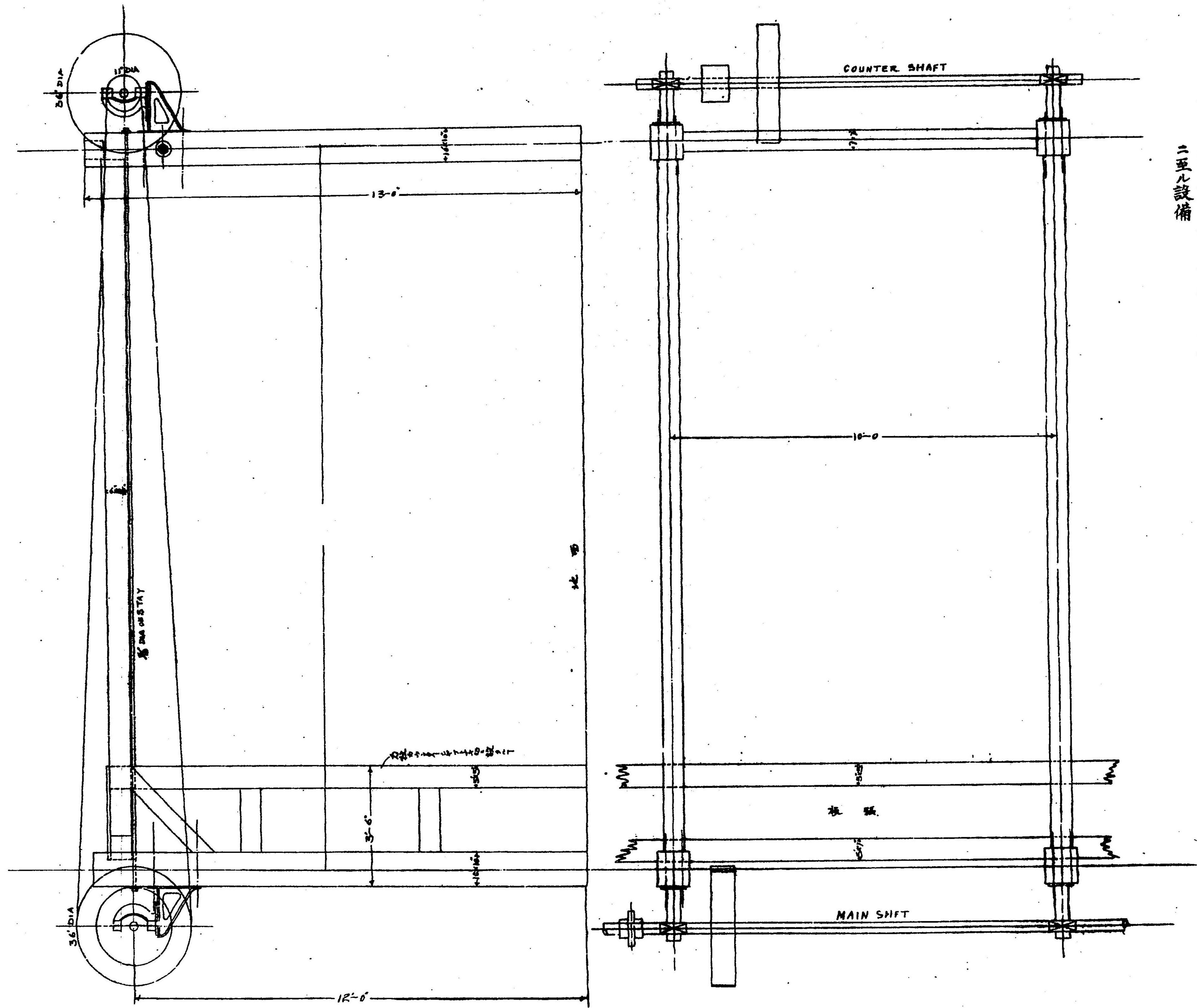
30 HP 750 R.P.M. S.E. D.L.V.V. 1
Scale 1/2" = 1'-0"

此圖為圖

此圖為圖
A. V. 100 AMP
A. V. 100 AMP

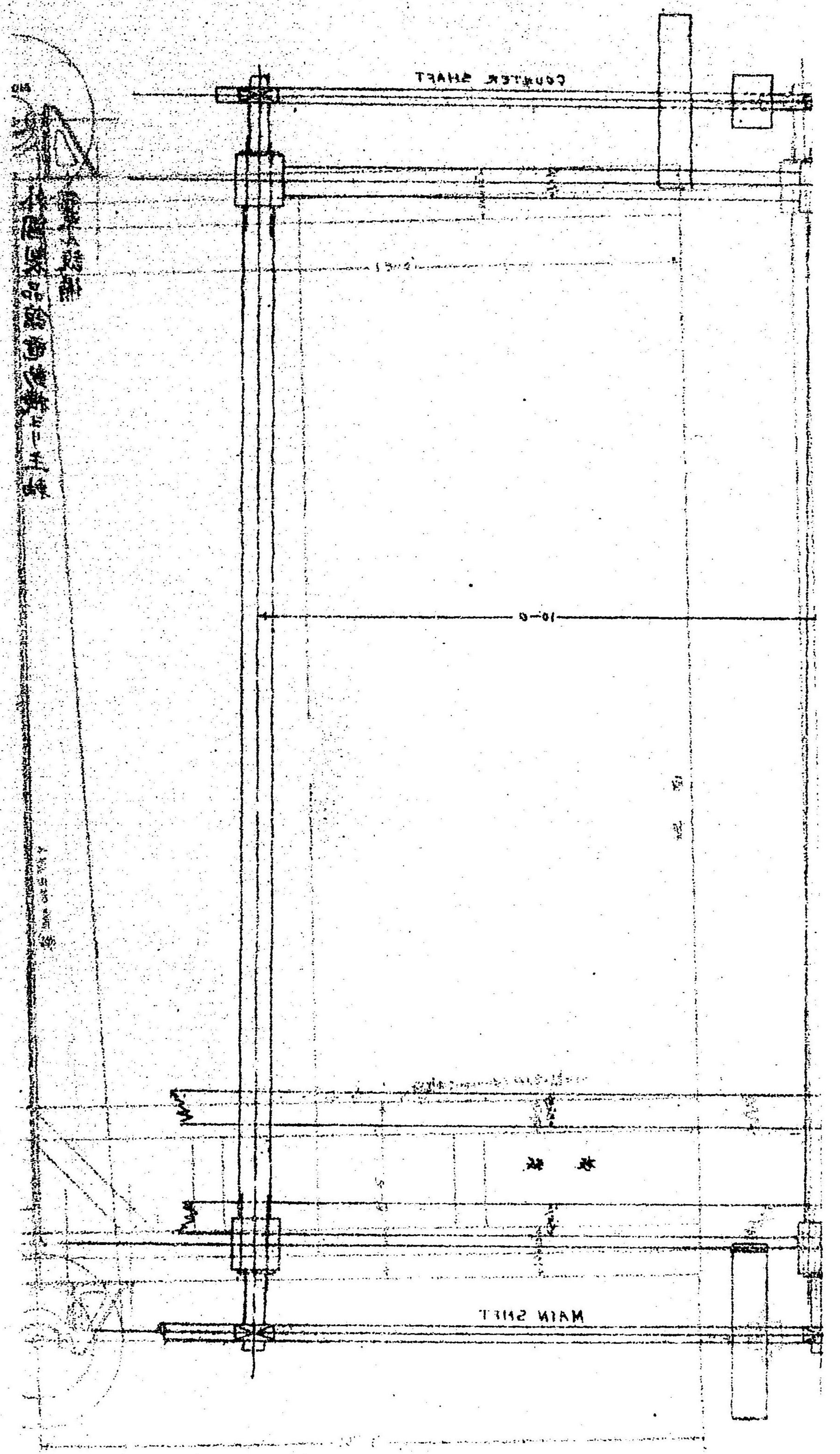
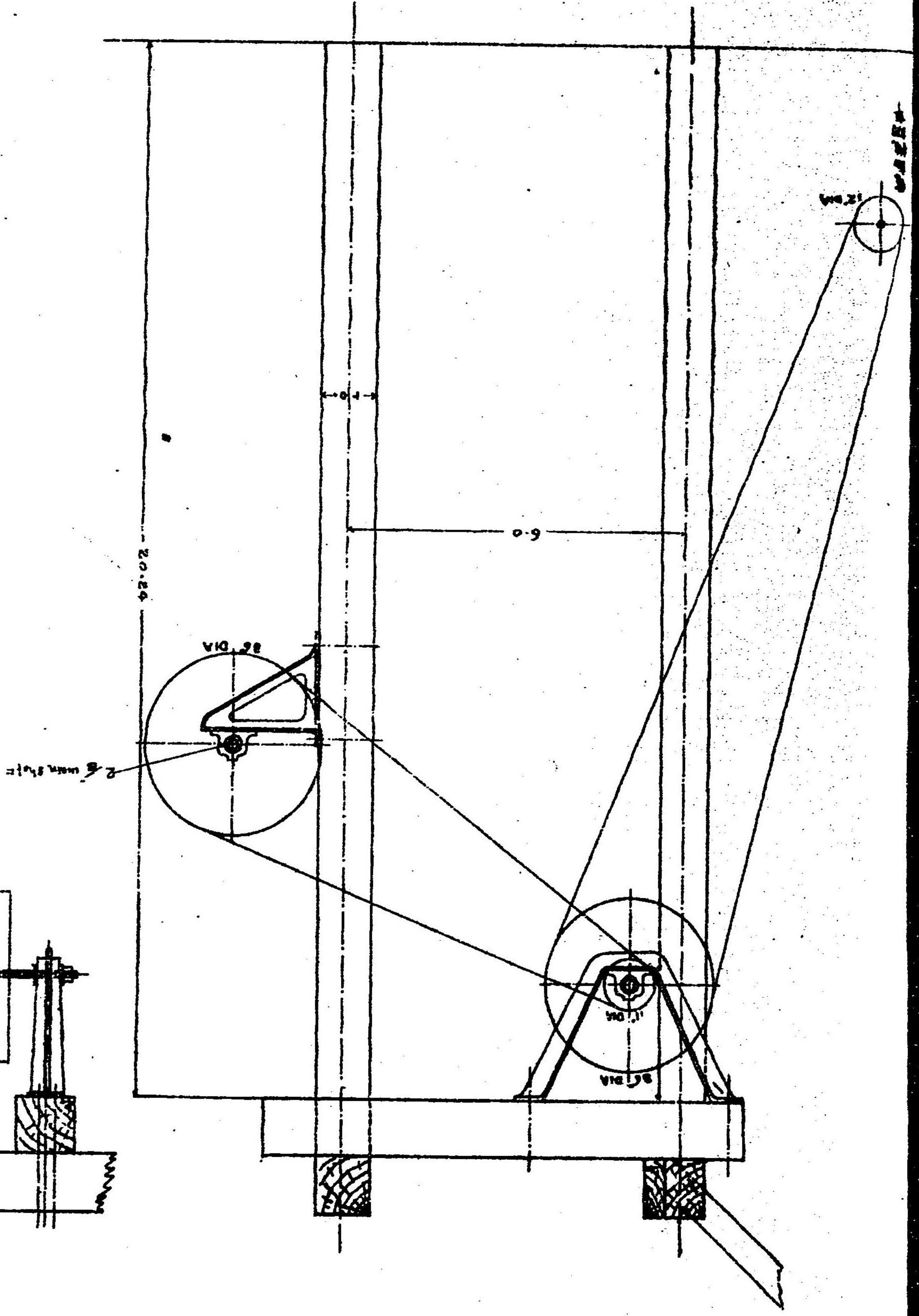
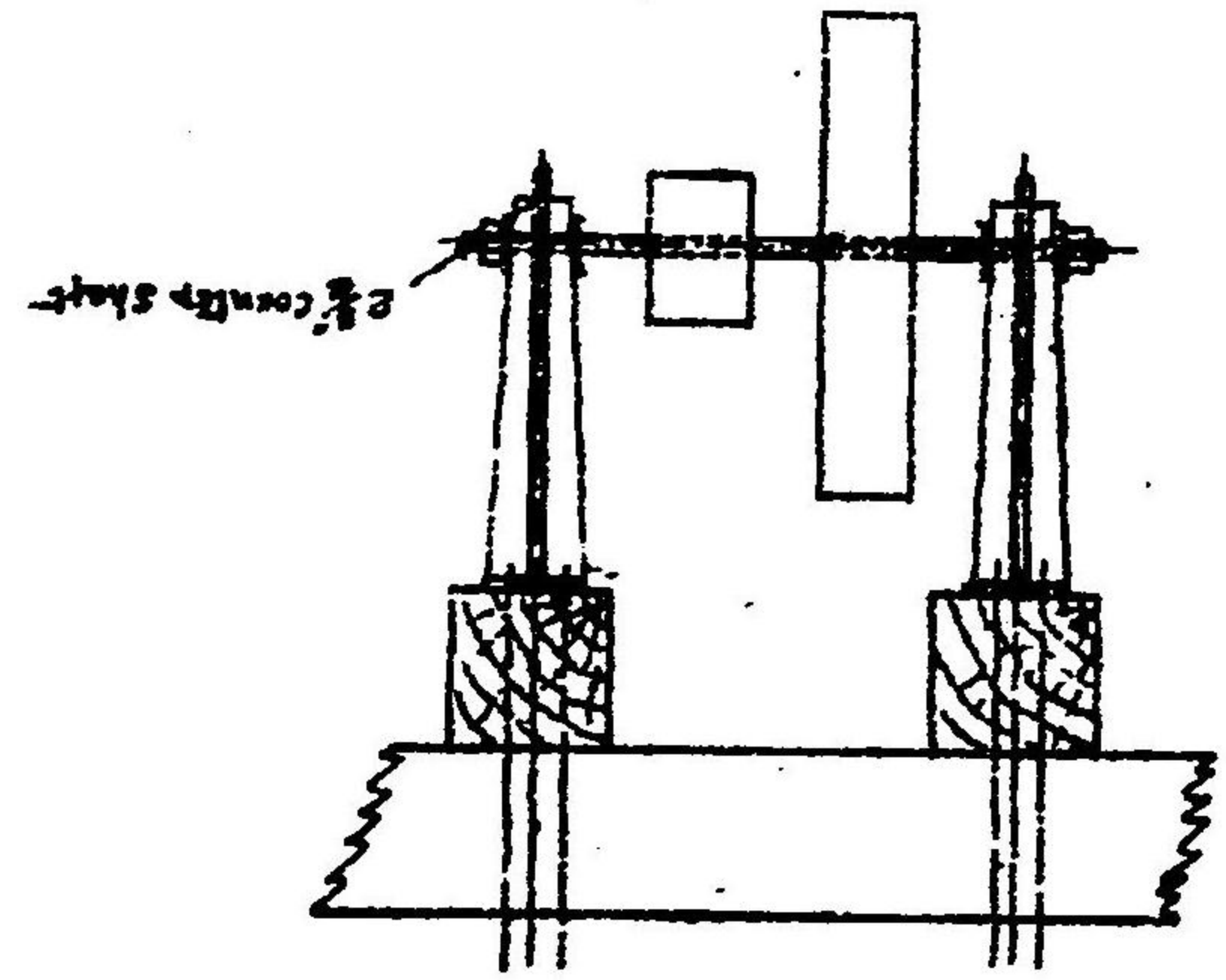


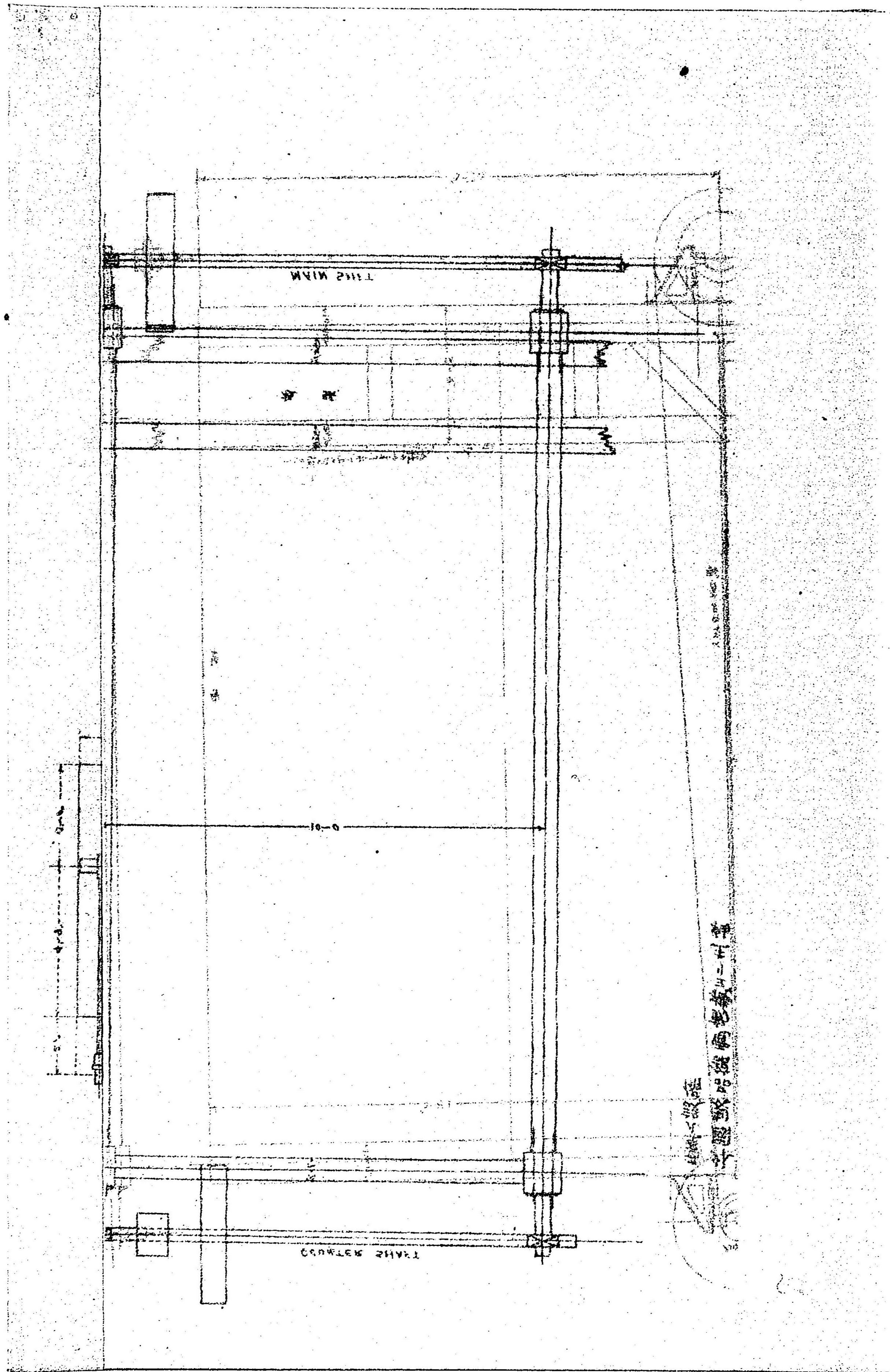
(此圖為圖) 此圖為圖 (此圖) 此圖為圖



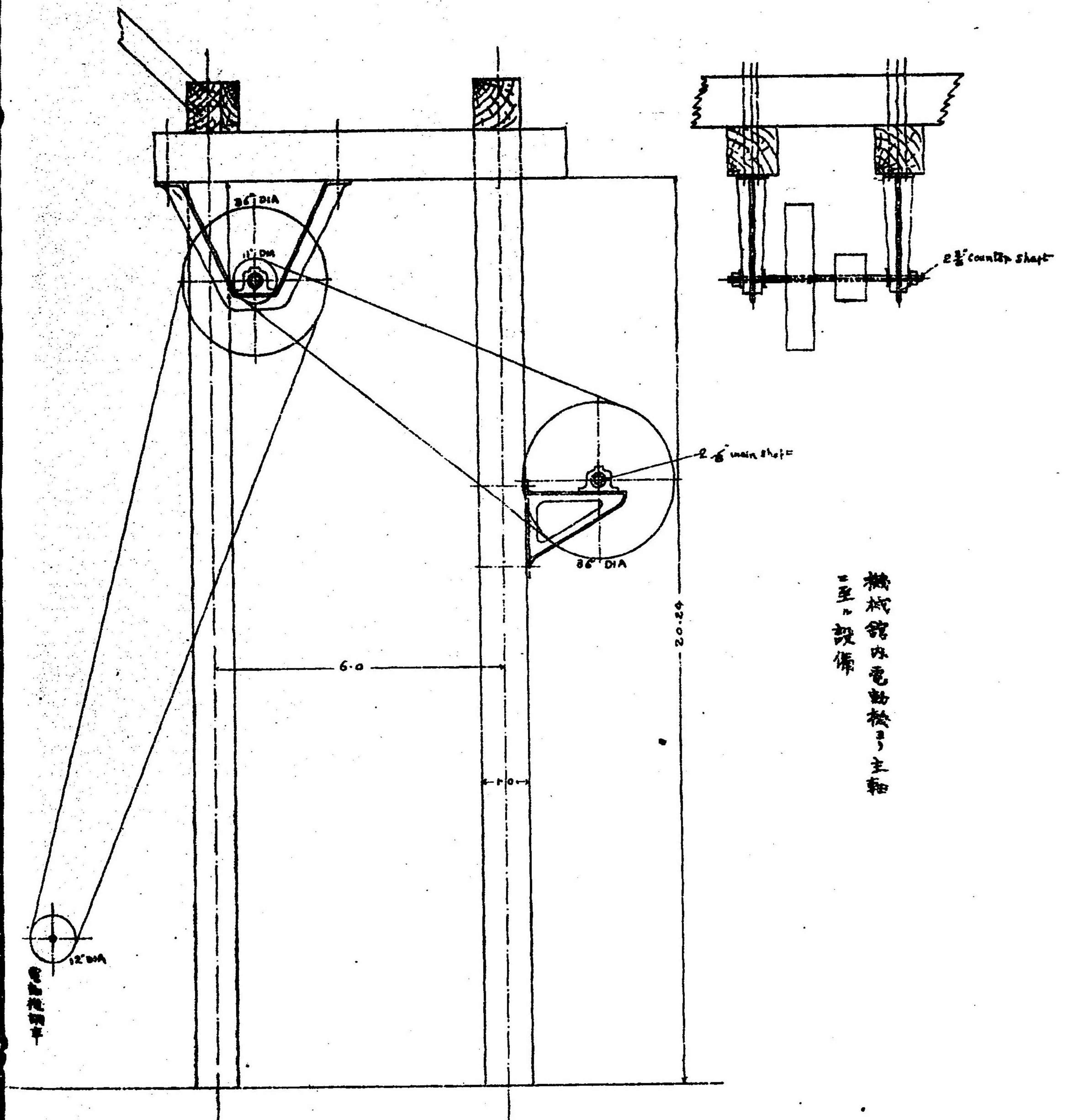
外國製品錠電動機ヨリ主軸
 ニ至ル設備

新機之構造
及零件之圖



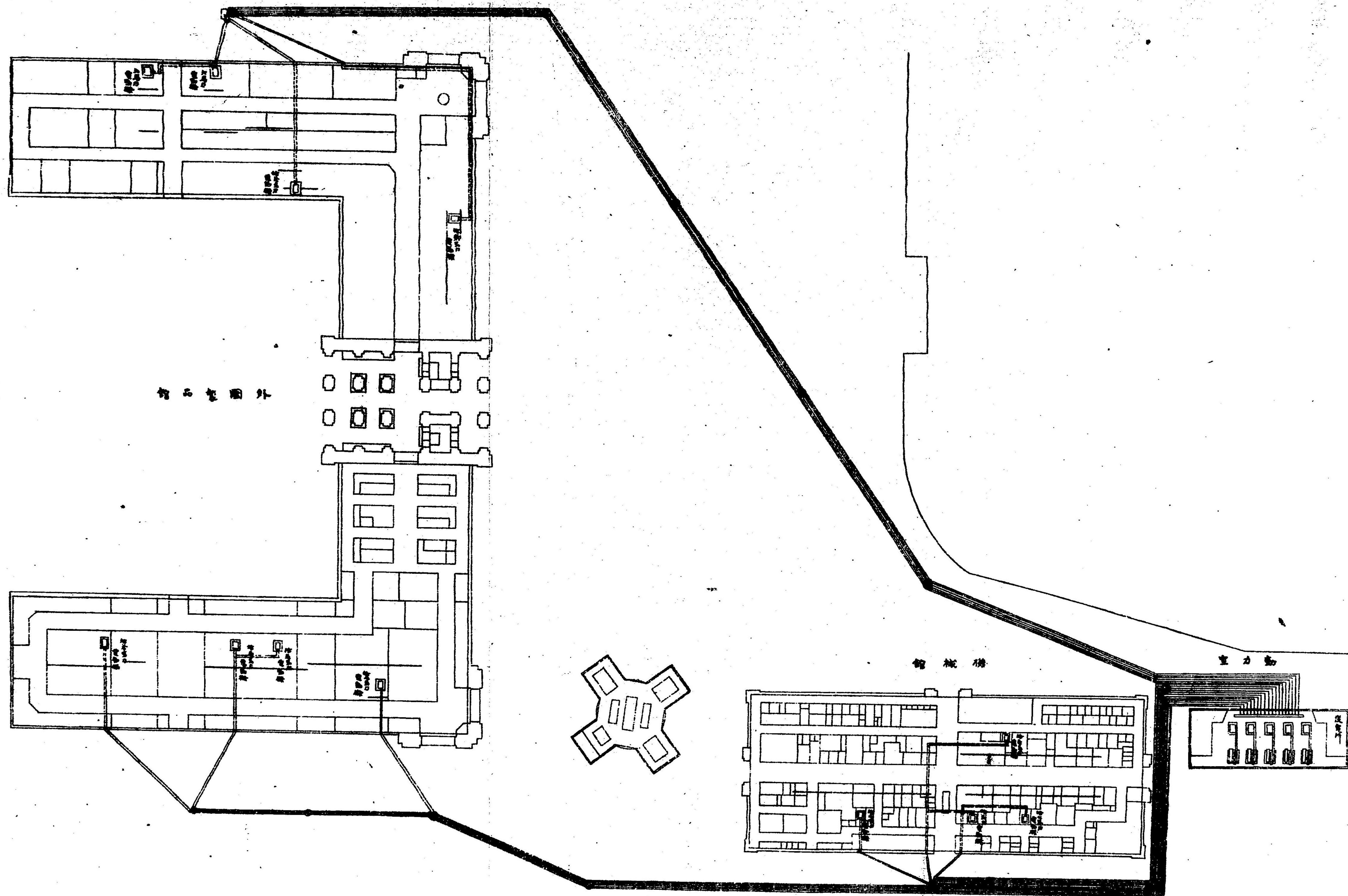


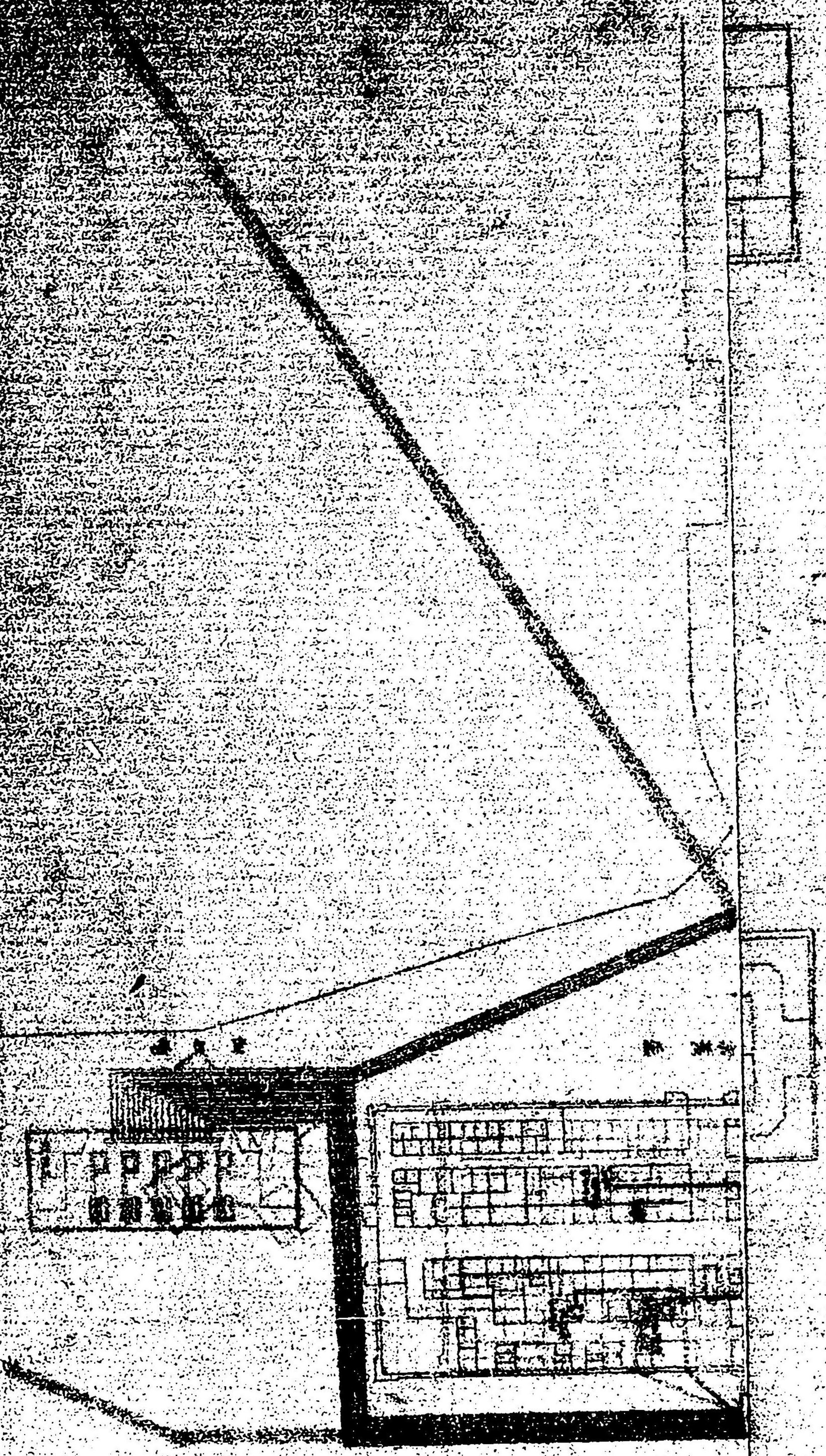
機架內電動機之主軸
至主軸係



機架內電動機之主軸
至主軸係

電線路之圖





一、軸及附屬品—主軸徑三吋十六分ノ七

軟鋼延長二百四十呎

及屬品(機械館)同延長三百十呎及屬品(外國製品館)

一、電動機用移動軸 四組(機械館) 同十一組(外國製品館)

一、持出軸承 二十三組(機械館) 三十四組(外國製品館) ステーボールド一式

一、主軸用調車大小三十三個

一、取付費

合計

之レニ依リテ動力配付ニ關スル工事計畫ノ一切ヲ終了シタリ
(リ) 自力運轉

出品人ニ於テ自己ノ出品セシ原動機ヲ運轉シ以テ出品物ヲ運轉シタルハ機械館内ニ於テ櫻田末吉私設別館ニ於テ田中商會及平尾鐵工所ニシテ其種類左ノ如シ

櫻田末吉八十馬力無點水式石油機關ヲ以テ自己ノ出品機械ナル製粉機、唧筒、發電機等ヲ運轉セリ

田中商會ハ二十馬力石油機關ヲ以テ自己出品ノ發電機ニ連結セリ

平尾鐵工所ハ自己出品ノ機關ヲ以テ蒸汽ヲ發生シ四十馬力ノ汽機及二十五馬力ノ汽機ヲ運轉シ後者ヲ以テハ發電機ヲ運轉シ夜間、イルミネーションノ用ニ供セリ

一〇四五、〇〇〇

一四四四、五〇〇

九四五、〇〇〇

二八五、〇〇〇

一〇〇、〇〇〇

三八一九、五〇〇

其二 供給

原動力供給ノ準備前述ノ如クナルト共ニ機械館及外國製品館内ノ出品物ハ開會ニ先ツ十五日即チ三月五日ヨリ其出陳ヲ許可シタリ然レトモ動力ニ依リテ運轉セラルヘキ諸機械ハ孰レモ多大ノ重量ヲ要スルモノニシテ地質軟弱ノ爲メ半永久的ノ工事ヲ施スヲ要スルモノ、ミナレハ其基礎工事ハ三月五日以前ニ完了スヘク出品人ニ通達シタルモ請負人多忙ノ爲メ遅延シ從テ陳列ノ期日ニ影響ヲ及ホシ遂ニ開會ノ日ニ於テ全都整頓スルヲ得サリシハ當事者ノ最モ遺憾トスル所ナリ殊ニ外國製品館内ノ出陳物ノ大部ハ諸機械ナルニ係ハラス是等諸機械ノ過半ハ海外ヨリ未著ノ爲メ開會ノ日ヨリ一箇月モ其陳列遅延シタリ是レ海外諸國ノ博覽會ニ於テモ多少免ルル能ハサル所ナリト雖モ斯ノ如キハ外國製品出品人カ博覽會ヲ誤ルノ甚シキモノト云フヘシ今後ノ當事者宜シク一考ニ價スルモノナリ

(イ) 瓦斯機關ノ取扱

本會ハ動力室内瓦斯機關ノ出品人タル東京瓦斯會社ト協議ノ上左ノ如キ機關取扱規程ヲ制定シ瓦斯機關取扱人ヲシテ遵守セシメタリ

動力室内瓦斯機關取扱規程

- 一、運轉時間ハ午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ運轉開始ノ際ハ瓦斯機關係ノ指揮ヲ受クヘシ
- 二、運轉開始ノ際ハ各部ニ取付タル螺旋ノ締付方ニ注意スヘシ
- 三、運轉開始前ニハ必ス各部油壺ニ油ヲ滿タシ運轉中モ時々油ヲ注グコトニ注意スヘシ

四、運轉開始ノ際水槽ノ水面ハ常ニ其上部循環用水管ノ上ニアルヲ要ス若シ循環セサル時ハ機關破損スルコトアリ

五、ブレン登ニ點火スル前ニハ常ニ點火管ヲ保テル眞鍮製ノ押螺施ノ締付方確ナルヤ否ヤヲ檢スヘシ

六、點火装置器内ノ石綿ハ其内部ヲ充分被覆セルヤ否ヤヲ檢スヘシ

七、ブレン燈ハ必ス低壓ノ瓦斯ヲ以テ點火管ヲ熱シ火筒ニ於テ惡臭ヲ發セサル様注意スヘシ

八、點火管ハ運轉開始十分前ニ點火シ全ク熱シタル時ニ於テ運轉ヲ始ムヘシ

九、運轉開始ノ際ハ煙筒内部ノ「ブレン」燈ニ於テ點火管ヲ赤熱シタル後勢輪ニ暫時急回轉ヲ與フヘシ之レヲナスニハ始動把手ヲ右ニツキ排氣瓣ヲ押開キテ其回轉ヲ容易ナラシメ瓦斯閉栓ヲ徐カニ開クヘシ決シテ瓦斯進入瓣ヲ押開キテ勢輪ノ回轉ヲ助クヘカラス

十、運轉開始ニ當リ足ヲ以テ力ヲ勢輪ニ加ヘサル様注意スヘシ

十一、運轉中ハ各運動部ニ手ヲ觸レサル様注意スヘシ

十二、運轉中ハ勿論停止中ト雖モ瓦斯機關ト發電機トノ調革ノ間ヲ通行スヘカラス

十三、各部ノ瓣ハ能ク擦リ合セヨナシ其接觸ヲ完全ニスヘシ

十四、火筒ノ上蓋ニアル數多ノ小孔ハ常ニ清淨ニスヘシ

十五、火焰ハ屢々「ブレン」燈ノ口元ニアル瓦斯ニ戻ルコトアレハ能ク此ノ點ニ注意シ若シ戻ルコトアル時

ハ「ブレン」燈ノ瓦斯ヲ加減スヘシ

十六、若シ點火管ヲ置直シ又ハ新品ヲ入替ル時ハ點火管置器ノ接觸部及眞鍮棒ノ接觸部ハ總ヘテ舊石綿ヲ搔

取り新シキ石綿輪ヲ入ルヘシ

十七、點火管ハ熱シタルママ取外シ冷カナル床上ニ置クヘカラス若シ此クスル時ハ收縮シテ破壊スルコトアレハナリ

十八、押螺旋ノ締メ方容易ナル時ハ之レカ接觸ヲナス時必ス指頭ヲ以テ締メ付クヘシ如何ナル場合ニアリテモ道具類ヲ使用シ之ヲ締メ付ケサル様注意スヘシ

十九、熱シタル點火管ニハ決して水氣ヲ滿スヘカラス之ヲ誤ル時ハ直ニ管ヲ破壊スルノ憂アレハナリ

二十、必要ナクシテ煙筒ヲ窺フヘカラス若シ必要アル時ハ機關ノ供給スル瓦斯ヲ止ムルヲ要ス萬一管ノ破壊スル時ハ熱シタル石綿ヲ眼中ニ吹込ム危險アレハナリ

二十一、排氣管ニハ燃エ易キ物質ヲ觸レシムルヘカラス少クモ六吋以上離隔スヘシ

二十二、運轉停止シタル時ハ必ス計量器及其他ノ開閉栓ハ確カニ閉鎖シ瓦斯ヲ漏逸セシメサル様注意スヘシ

二十三、運轉ヲ開始セントスル時ハ先ツ計量器ノ開閉器ヲ開キ「ブンセン」燈ニ點火シ次ニ瓦斯袋ノ「コック」ヲ開キ運轉開始ノ用意ヲナスヘシ

二十四、運轉停止ノ際ハ先ツ瓦斯「コック」ヲ閉チ「ブンセン」燈ヲ消シ次ニ瓦斯袋ノ「コック」最後ニ計量ノ開閉栓ヲ閉ツヘシ

二十五、瓦斯計量ハ運轉開始前及停止後ニ於テ必ス指針ヲ讀ミ之ヲ計量器指針記入簿ニ記載シ之ヲ係員ニ報告スヘシ

二十六、動力室内ニ於テ喫煙及雜話ヲ禁シ猶一般ノ舉動ヲ靜肅ニスヘシ

(二) 出品機械運轉取扱心得

機械館外國製品館及私設別館ニ出品セル機械ノ運轉心得ヲ左ノ如ク定メタリ

第一條 本會機械館外國製品館及別館ニ出品シタル機械ヲ運轉セムトスルモノハ本取扱心得ヲ遵守スヘシ

第二條 本會ヨリ供給スル動力ハ「メイン、シャフト」ニ依リ傳動ス但シ特殊ノ裝置ニ對シ電流ヲ受ケムトスルモノハ本會ノ設備ニ支障ナキ場合ニ限り配電ニ關スル一切ノ經費ヲ負擔スルニ於テ臨機之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三條 本會ヨリ動力ノ供給ヲ受ケ出品機械ヲ運轉セムトスルモノハ必ス運轉人ヲ附スヘシ

第四條 運轉人ノ住所氏名年齢ハ出品人ヨリ本會ヘ届出ツヘシ

第五條 運轉人ノ技能不適當ニシテ危險ヲ生スルノ虞アリト認ムルモノハ出品人ニ對シ運轉人ノ交替ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 出品機械ノ運轉ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ臨機運轉時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第七條 出品機械ヲ運轉セムトスル時又ハ其運轉時間中運轉ヲ停止セムトスルトキハ動力室ニ申告シテ係員ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 出品人運轉人等ハ本會設備ノ電動機ヲ起動シ又ハ停止セシムルコトヲ得ス

第九條 出品機械ノ運轉ヲ爲サハルトキハ必ス其前日ニ動力室ニ申告スヘシ

第十條 出品人自力ヲ以テ原動機ヲ運轉シ又ハ發電機ト聯結スルトキハ其周圍ニ危險豫防ノ柵欄ヲ設ケ觀覽人ヲシテ機械ニ接觸セシメサルノ裝置ヲナスヘシ排氣管ハ可燃的物質ヲ接觸セシムヘカラス少クモ六寸以

上離隔スルヲ要ス

第十條 前條ノ機械ヲ運轉セムトスルトキハ左ノ事項ヲ提供シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

- 一、原動機ノ種類、形式、構造、並ニ寸法ヲ示セル圖面（「カタログ」ヲ代用スルモ差支ナシ）實馬力、回轉數
- 二、運轉企畫（陳列面積ノ位置ニ對スル原動機及諸機械ノ配置「ベルチング」ノ取付方「カウンターシヤフト」ノ設備之レニ對スル説明書）

三、運轉時間

四、原動機運轉主任技術者ノ履歷書及運轉手氏名住所年齡等

第十一條 汽罐汽機及發電事業ニ關スル取締ハ逓信省令及警視廳令ヲ準用ス

第十二節 出品看守人

其一 看守人ニ關スル規定

各館ニ配置スヘキ出品ノ看守人ハ男女ニ様ヲ採用スルコト、シ豫メ左ノ採用内規ヲ定メ其適否ヲ詮衡スルコト、シ數回ニ其詮衡ヲ行ヘリ而シテ外國製品館及他ノ自營ニカ、ル私設別館ノ外ハ悉ク本會ニ於テ之ヲ雇入レタリ

看守採用内規

- 一 品行方正ナルモノ
- 二 東京市内ニ居住シ確實ナル保證人アルモノ
- 三 女子ハ尋常小學校二年卒業生男子ハ尋常小學校卒業ノモノ又ハ之ト同等以上ノ學力アルモノ



裝服人看守女



服制人看守男

四 風姿醜陋ナラサルモノ

五 組合其他ノ團體ニ於テ推薦シタル者ニシテ之ヲ採用スルヲ便利ナリト認ムル者

六 本會事務所員ノ推薦シタルモノニシテ確實ト認ムル者

此内規ニ依リテ雇入レタル男女ノ看守人ハ其數五百餘名ニ上リ隨テ其統御上本會ニ於テ其心得方ヲ示スノ必要アルヲ認メ左ノ服務心得ヲ制定シテ示達セリ

出品看守人服務心得

第一條 看守人ハ本會諸規則ヲ遵守シ受持係員ノ指揮ヲ受ケ受持區域内ニ於ケル陳列品ノ看守並ニ其取扱ニ従事スヘシ

第二條 看守人ハ徽章ヲ佩用スヘシ

徽章ハ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ得ス辭職又ハ解職ノ場合ニハ直ニ之ヲ返納スヘシ

第三條 看守人ハ毎日開館時刻三十分前事務所ニ出頭シ出勤簿ニ捺印スヘシ但シ疾病其他ノ事故ニヨリ出勤シ難キトキハ出勤時刻前ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第四條 看守人ハ開館ト同時ニ其受持場所ニ就キ陳列品ニ異狀ナキヤ否ヲ檢シ觀覽人ノ入場前陳列箱及陳列品ノ掃拭ヲナシ其排列及付札等ノ混亂セサル様注意スヘシ

第五條 服務中ハ容儀ヲ整ヘ靜肅ヲ旨トシ故ナク受持區ヲ離レ或ハ讀書雜誌等ヲナスヘカラス

第六條 出品人並ニ觀覽人ニ對シテハ懇切ヲ旨トシ苟クモ催促疎慢ノ舉動アルヘカラス

第七條 陳列品ノ位置ハ受持係員ノ指揮ヲ受クルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條 陳列品中破損若クハ紛失シタルモノアルトキハ直ニ取調ヘ其旨ヲ受持係員ニ申告スヘシ

第九條 觀覽中陳列品ニ關シ説明ヲ乞フモノアルトキハ丁寧ニ應答スヘシ若シ説明シ難キ場合ニハ受持係員ニ申出ツヘシ

第十條 陳列品中賣約ヲ望ムモノアルトキハ別ニ示達スル手續ニヨリ之ヲ取扱ヒ賣約濟ミノモノニハ直ニ賣約濟ノ付札ヲ貼附スヘシ

第十一條 看守人ハ賣約手續取運ノ目的ヲ以テ賣約請求者ヨリ現金ヲ受領スルコトヲ得ス

第十二條 猥リニ陳列品ニ手ヲ觸ル、モノアルトキハ之ヲ制止スヘシ若シ肯セサルモノアルトキハ受持係員ニ申告スヘシ

第十三條 觀覽人其他何人タルヲ問ハス陳列品若クハ陳列箱ヲ毀損シタルモノアルトキハ其本人ニ同行ヲ求メ受持係員ニ申告スヘシ

第十四條 觀覽人中舉動怪ムヘキモノアルトキハ便宜之ヲ接近ノ看守人ニ内通シ時宜ニ依リ受持係員ニ密告スヘシ

第十五條 館内ニ於テ不潔物ヲ發見シタルトキハ直ニ受持係員ニ申出テ其ノ除去ヲ求ムヘシ

第十六條 陳列箱ノ鍵ハ毎朝受持係員ヨリ受取り嚴重ニ之ヲ保管シ退出ノ際之ヲ返戻スヘシ

第十七條 毎日觀覽人ノ立去リタル後受持區域内ノ掃除ヲナシ且ツ陳列箱ノ鎖鑰ヲ檢シタル後受持係員ノ許可ヲ得テ退出スヘシ

猶ホ就職ノ初メ手帳及鉛筆ヲ交付シ受持看守區ノ陳列品及出品人名及其異動事故等ヲ記載

セシメ以テ責任ヲ自覺セシムルト同時ニ看守物品ノ記憶ニ便ナラシメタリ

看守人ヲシテ服務心得ノ命スルトコロニ從テ適當ニ其職務ニ服セシムルハ周到ナル監督ヲ要スルヲ以テ第壹號館ニ貳人其他ノ陳列館ニハ各壹人ノ監督ヲ置キ看守人ノ勤惰及風紀ヲ監視セシメタリ而シテ看守人ノ臨時ニ心得ヘキ事項ヲ生シタルトキハ一々其監督ヲシテ懇篤諭示セシメ又開館退出ノ場合ニハ彼等ヲシテ歸裝ヲ調ヘ一定ノ場所ニ整列セシメ監督ヲシテ一々點檢セシメタル後編列ノマ、館外ニ退出セシメタリ

看守人ノ喫飯ハ最初館内適宜ノ場所ニ於テ之ヲ辨セシメタルモ頗ル體裁ヲ害スルノミナラス湯茶ノ供給甚困難ナリシヲ以テ喫飯所三箇所ヲ建設セリ

其二 看守人ノ給與及服裝

看守人ノ給料ハ男女トモニ日給三十錢以上六十錢以下トシ毎月廿七日ヲ以テ之ヲ支給シ其勤勞ニ依リ漸次増給セリ又服裝ノ區々ニ涉ルハ其統一ヲ缺キ秩序ヲ紊スノ虞アルヲ以テ男女トモ一定ノ制服ヲ給與シテ之ヲ着用セシメタリ其様式ハ寫眞ヲ以テ之ヲ示メス又其規程ハ守衛ト同一ノ令文中ニ在ルヲ以テ便宜上守衛ノ節ニ出ス

其三 看守人ノ配置

看守採用内規ニ依リ雇入レタル看守人ハ男子百七十人女子三百六十一人ニシテ其各館ニ對スル配置人員左ノ如シ但シ蔬菜館ノ看守ハ貳號館定員中ヨリ派遣セリ

看守人配當表

館名	男	女
第一號館 左翼	十七	五十一
第一號館 右翼	十七	八十一
第二號館	三十三	百二十一
第三號館	五	六十三
第四號館	五	十三
第五號館	一	六
農業別館	一	一
美術館	二	四
機械館	二十	十七
太古遺品陳列場	百七十一	三百六十一
計	八百六十一	一千一百一十一

第十三節 出品ノ賣約及引渡

其一 賣約ニ關スル廣告

從來規模ノ大小ヲ問ハス博覽會ニ於テ賣約ヲ開始スル時ハ豫テ注目セル物品ヲ賣約セント欲スル者互ニ人後ニ落チサラムコトヲ欲スルノ餘リ非常ノ混亂ヲ極ムルヲ常トシ其會ノ盛大ナルニ從ヒ其雜踏モ亦甚シキニ至ルモノナリ去レハ本會ニ於テハ深ク之レニ鑑ミ出品全部ノ賣約ヲ同時ニ開始スル如キアラハ必ス紛擾ヲ來スヘキノ虞アルヲ以テ各館漸次ニ賣約

ヲ開始スルコトニ定メ豫カシメ左ノ通り廣告セリ

一、出品物ノ賣約ハ左ノ日割ヲ以テ開始ス但整理中ノ物品ハ此ノ限ニ非ラス

第一號館	五月一日
機械館	五月一日
車輛館	五月一日
第二號館	五月三日
第三號館	五月三日
美術館	五月六日

一、賣約時間ハ毎日午前九時ヨリ正午迄及午後一時ヨリ午後三時迄トス

一、賣約手續ハ會場揭示場ニ揭示ス

一、賣約ハ都合ニヨリ一時停止スルコトアルヘシ

賣約所ハ第一號館左右翼第二號館第三號館及美術館ニ各一箇所ヲ設置シ機械館及車輛館ニハ別ニ賣約所ヲ設置セスシテ便宜該事務所ニ於テ取扱ハシメタリ

外國製品館ハ出品人ヲシテ各自隨意ニ賣約ヲ取扱ハシメ臺灣館ハ臺灣總督府出張官吏ノ處理ニ一任セリ然レトモ其方法順序ハ本會所定ノ手續ニ據ラシメタルハ勿論ナリトス

其二 賣約手續

出品ノ賣約ニ關シテハ豫カシメ一定ノ手續ヲ定メテ來觀人ニ周知セシメ之レニ依テ賣約ヲ

申込マシムルニアラサレハ種々ノ誤解ヲ來シ紛更ヲ來スヘキ虞アルヲ以テ左ノ通り賣約手續ヲ制定シテ之ヲ會場ニ揭示セリ

賣約手續

第一條 出品物ヲ賣約セムトスルモノハ陳列館内ニ於テ左腕ニ赤布ヲ纏ヘル吏員ニ申込ミ賣約傳票ヲ受取ルヘシ

第二條 賣約請求人ハ前條ノ傳票ニ左記ノ金額ヲ添ヘ之ヲ賣約所ニ差出シ賣約證書ヲ受取ルヘシ賣約品一箇ニ付金額金貳圓未満ナルトキハ其ノ金額、同金貳圓以上ナルトキハ三割以上

第三條 賣約證書ハ左腕ニ黃布ヲ纏ヒタル吏員ニ示シ現品又ハ其ノ附札ニ賣約濟ノ小札ヲ貼付スルコトヲ求ムヘシ

第四條 賣約請求人ニシテ前條ノ手續ヲナサ、ルトキハ其ノ賣約ハ無効トスルコトアルヘシ此ノ場合ニハ既納ノ金額ヲ返付ス

其三 賣約取扱心得

外、公衆ニ對シテ賣約手續ヲ揭示スルト同時ニ内賣約取扱ノ吏員ニ對シテモ亦左ノ通り賣約取扱ニ關スル心得方ヲ示達セリ

賣約取扱心得

第一條 賣約ノ申込ヲ受ケル吏員ハ左腕ニ赤布ヲ纏フヘシ

第二條 賣約ノ申込ヲ受ケタルトキハ別記様式ノ傳票ニ必要事項ヲ記入シ之ヲ申込人ニ交付シ其物品ノ附札

ノ裏面ニ賣約者ノ氏名ヲ記スヘシ

第三條 賣約所ニ於テ傳票ト現金トヲ受取りタル時ハ之ト引替ニ番號札ヲ賣約人ニ交付シ番號順ニ賣約證書ヲ渡スヘシ

第四條 現品又ハ其ノ附札ハ賣約濟ノ附札ヲ貼付スル吏員ハ左腕ニ黃布ヲ纏フヘシ

第五條 賣約濟ノ小札ハ現品附札及賣約證書ノ要件ノ符合並ニ規定金額ノ納付ヲ認ムルニ非ラサレハ之ヲ貼付スルコトヲ得ス

賣約傳票

買受人		住所		取扱人	
部	類	番出	品名	代	氏名
		品	數	金	出
		名	代	品	人
					名

(傳票ハ部毎ニ調製スルヲ要ス)

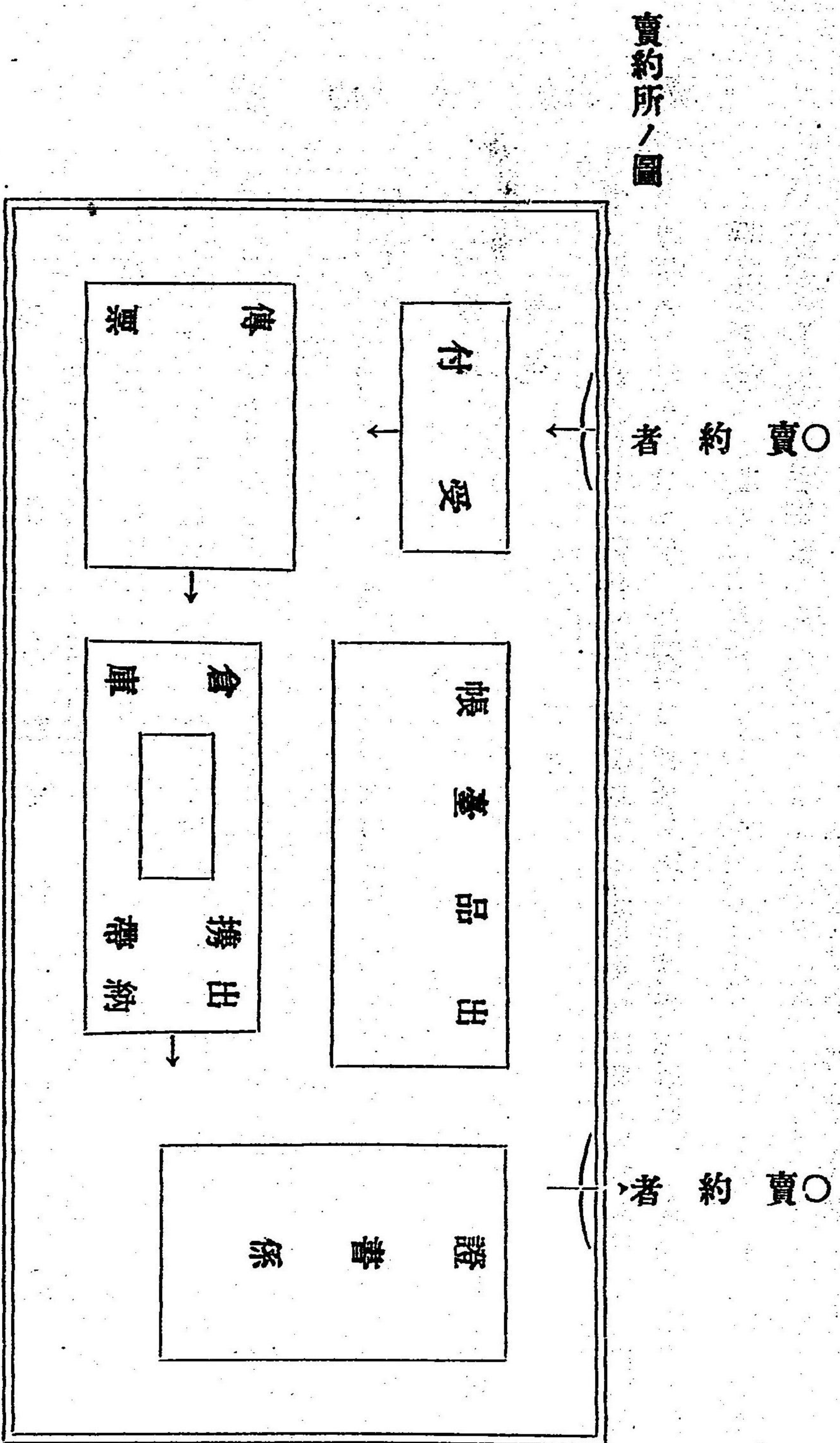
右心得ノ外賣約取扱者ノ賣約施行ニ關シ左ノ注意ヲ與エタリ

- 一、看守人ハ出品附札ヲ剝取ルヘカラス
- 二、傳票ニハ其餘白ニ賣約品ノ本府内ノ出品物ナルトキハ管内、他府縣人ノ出品物ナルトキハ管外ノ二字ヲ明スヘシ
- 三、賣約所ニ於テハ現金受取係ニ於テ現金ヲ受取リタル後ニアラサレハ計算書ニ要件ヲ記入スヘカラス
- 四、取扱人ハ自己ノ取扱ヒタル證書ニハ自己ノ檢印ヲ押スヘシ
- 五、傳票ハ出品人ノ異ナル毎ニ新ニ發スヘシ
- 六、賣約ノ申込ヲ受ケ規定ノ手續ヲ爲スノ違ナキトキハ出品附札ヲ裏返ニナシ置クヘシ但シ特急ノ場合ニ限ル

賣約所ハ左ノ如ク組織ス

- 受付係
- 傳票ト現金ヲ受入ル
- 傳票係
- 傳票ト現金ヲ對照シ傳票ヲ讀上ク
- 出品臺帳係
- 前項ノ讀上下同時ニ臺帳ヲ照查ス
- 出納係

現金ヲ收納ス
證書係
賣約證書ヲ作り賣約人ニ交付ス



(表) 賣約證書

第 號 賣 約 證		部 類	番 號	品 名	數 量	代 價	出 品 人 名
合計金							
内 證 據 金							
殘 金							
<p>右ノ物品ヲ裏面記載ノ條件ニ從ヒ賣渡約定シ證據金領收候ニ付明治四十年八月五日ヨリ同八月三十一日マテニ此證書ニ殘金相添へ御持參相成候ハ、現品相渡可申候也</p> <p>明治四十年 月 日</p> <p>東京勸業博覽會事務所</p> <p>殿</p>							

(裏) 賣約證書

<p>第一條 賣約品引渡時間ハ毎日午前九時ヨリ午後三時迄トス</p> <p>第二條 賣約品ノ容器及其裝飾ニ用ヒタル物品ハ特約ヲ爲スニアラサレハ引取ルコトヲ得ス</p> <p>第三條 賣約品ノ後解約ノ申込アリタルトキハ證據金ハ東京府ノ所得トス</p> <p>第四條 賣約品ハ盜難天災其他ノ事故ニ依リ滅失又ハ毀損シタルトキハ直ニ解約スルコトアルヘシ</p> <p>第五條 審査其他ノ原因ニ依リ賣約品ヲ毀損若クハ滅失シ又ハ其數量ニ不足ヲ生スルコトアルモ一切之カ擔保ノ責ニ任セス</p> <p>第六條 同一物品ニ付誤テ重複ノ賣約ヲ爲シタルトキハ證書番號ノ後ナル分ヲ無効トス</p> <p>第七條 賣約後ト雖トモ約定ニ詐欺強迫其他錯誤ノ事實アルトキハ直ニ解約スルコトアルヘシ</p> <p>第八條 第四條乃至第七條ニ依リ買受人ニ損害ヲ生スルコトアルモ其責ニ任セス</p> <p>第九條 第四條第六條及第七條ノ場合ニ於テハ此證書引換ニ證據金ヲ下渡スヘシ</p> <p>第十條 此證書ノ有効期間ハ明治四十年八月三十一日限トス</p> <p>前項ノ期間ヲ經過シタルトキハ證據金及既納ノ賣約代金ハ東京府ノ所得トスルコトアルヘシ</p> <p>第十一條 此證書ヲ紛失シタルトキハ即時博覽會事務所へ届出ツヘシ</p>

其四 賣約品引渡

賣約品ノ引渡所ハ第一號館第二號館及第三號館ノ外部ニ設置シ八月三日ヨリ之ヲ開始セリ
其引渡ノ順序左ノ如シ

受付係

現金ト賣約證書トヲ賣約人ヨリ受取り之ト引換ニ番號札ヲ交付ス

出納係

受付係ヨリ現金ト賣約證書トヲ受取り現金ヲ受納シ證書ヲ臺帳係ニ交付ス

臺帳係

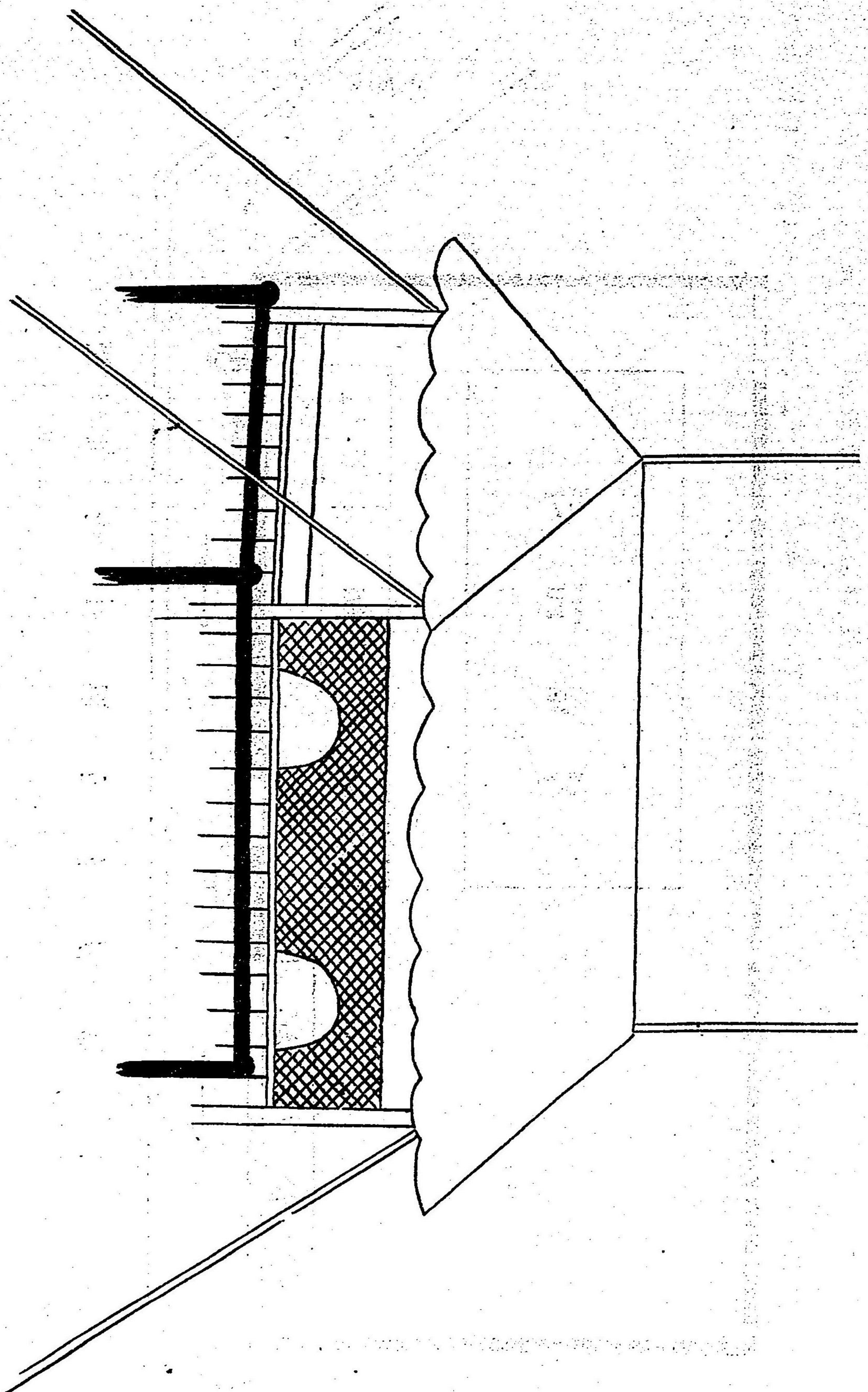
證書ト臺帳トヲ對照シ證書ヲ現品係ニ交付ス

現品係

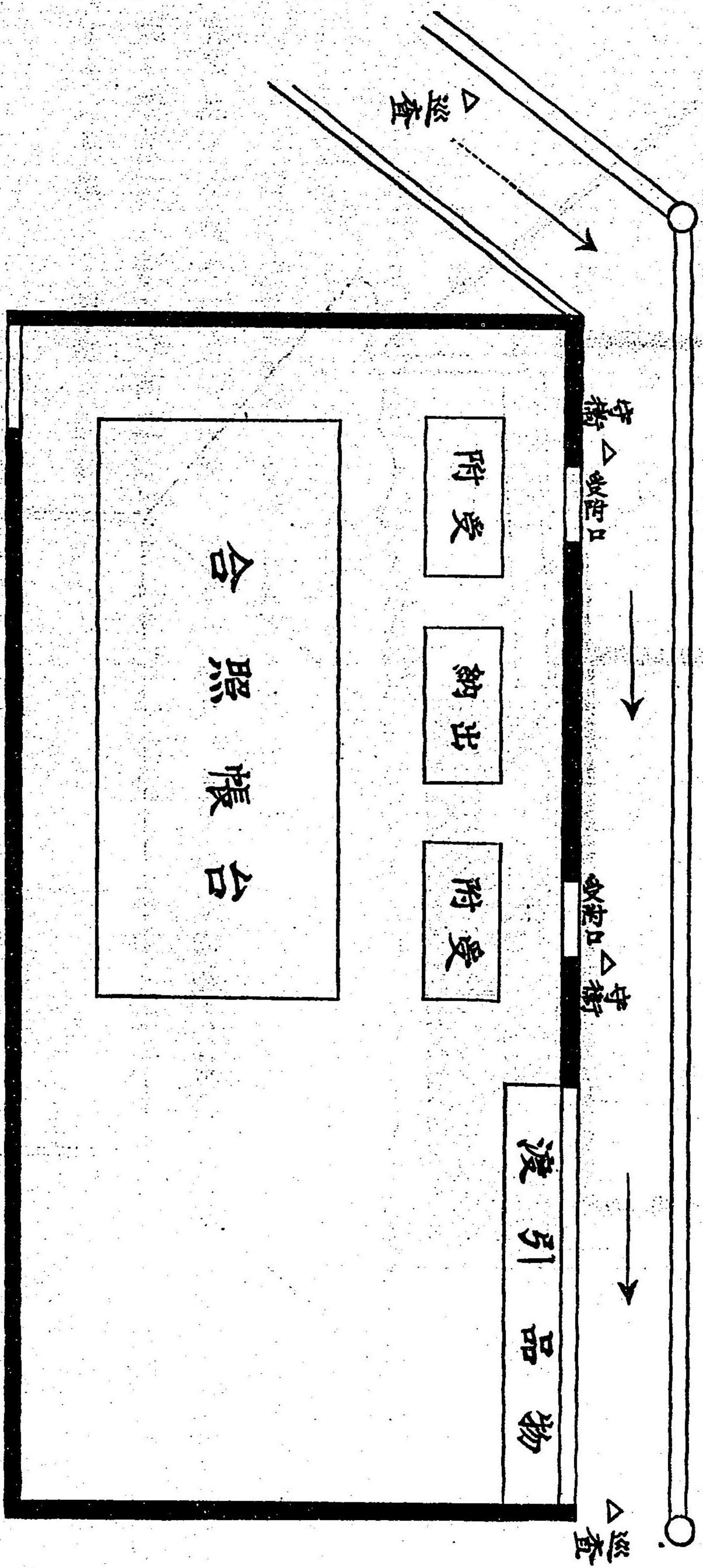
證書ト附札ヲ對照シ現品ヲ賣約人ニ交付ス

賣約品ノ交付モ亦賣約開始ノ場合ト同シク其ノ開始當時ハ雜沓ヲ來タスヘキヲ慮リ木柵ヲ
以テ警戒線ヲ劃シ守衛及巡查ヲシテ特ニ交付所ノ前面ヲ警戒セシメタルヲ以テ些ノ紛更ヲ
見スシテ極ノテ圓滿ニ交付ヲ終レリ

賣約品引渡所



圖面平所渡引品約賣



其五 賣約品點數及價額

賣約點數ハ總計二萬七千二十六點此ノ金額十七萬三千四百九十五錢九厘ニシテ内國品二萬六千九百八十一點此ノ金額十四萬二千七百八十八圓六十錢九厘外國品四十五點此ノ金額三萬九百二十六圓三十五錢ナリ即チ之ヲ出品數ニ對スルニ左ノ如シ

賣約點數及價額

部	別	出 品		賣 約	
		數	價 額	數	價 額
第一部	教 育、學 藝	一〇,三九七	一,三三三,〇三三	三,八七二	二一,九八二,〇三三
第二部	美 術	六五九	二〇九,〇〇〇	八四	九,六七八,〇〇〇
第三部	圖 案	一七一	二,三三三,一〇〇	三	三三,〇〇〇
第四部	農 業、園 藝	六,七七八	五五,一三五,一五〇	一,一七七	三,八六四,八一
第五部	林 業、狩 獵	九六〇	五,三〇〇,九六六	四五〇	五,七七五,九三三
第六部	水 産	一四六三	六,七五六,一五〇	六八六	一〇,九八九,九八〇
第七部	飲 食	三,一八一	八,一六二,一三六	八四三	一〇,九六三,四一
第八部	化 學、製 品	三,二〇三	一,一九八,八三六	八一四	八四二,四四六
第九部	窯業品、金石品、塗物 木竹製品、紙製品、其他植物製	一七,三九七	三,九四〇,四三三	六,三七五	三六,五〇五,一九六
第十部	皮革、羽毛、牙角、介甲製	六,四八六	七,一四九,一六五	二,五八一	一五,五〇九,六七六
第十一部	染織、刺繡	一四,七七七	四七,七四七,一六四	三,八〇	二,五七一,六一四
第十二部	被服、縫身具、携帶品、組編	一四,五四九	一七,一〇七,一五六	四,九七六	三四,八八七,三七七
第十三部	被服、縫身具、携帶品、組編	二二,六二七	二七八,〇四四,八〇二	四,五九七	一一,六〇七,八八〇

第十四部	探 鑛 冶 金	五七二	一一,三三,五八〇		
第十五部	機 械	三,七四一	二二八,四三三,二五四	四五五	五,八八三,四七九
第十六部	運 輸、通 信	四四三	五八,五八九,六二〇	五三	一,〇六〇,一四〇
第十七部	建 築、土 木	二〇四	一一,一六,三三〇	一四	九八〇,三三
第十八部	經 濟、衛 生、救 濟	一五九	一,九〇,八六〇〇		
第十九部	陸 海 軍 用 品 及 武 器	三八五	八,五八五,九九九		
合 計		九,三八五	一,七〇,三二,九九四	二七,四八六	一四,九〇,二七七九

備考 本表ニハ外國製品ヲ算入セス

第八章 審査及調査

第一節 審査ニ關スル規定

出品物ノ審査ハ博覽會ノ事務中ニ於テ最モ重要ナルノミナラス出品人ノ感觸之レニ越ユルモノナシ故ニ一タヒ審査ニシテ正鵠ヲ失シ公平ヲ缺ク如キアランカ博覽會如何ニ盛況ヲ極ムルモ將來ノ博覽會ニ對シ多大ノ惡影響ヲ與フルノ慮アリ去レハ本會モ亦深ク之ニ鑑ミルトコロアリ審査總長以下審査部長審査官ハ各部門トモニ今代第一流者ニ任命若クハ囑託シタルニ何レモ本會ノ開設ニ多大ノ同情ヲ寄セテ承諾セラレタルハ本會ノ大ニ感謝スル所ナリ依テ本會ハ各部門審査ノ統一ヲ圖ル爲メニ四十年三月告示第五十九號ヲ以テ左ノ通り審査規則ヲ發表セリ

東京勸業博覽會審査規則

- 第一條 審査部長ハ審査官ノ分掌ヲ定メ各分掌毎ニ一名ノ主任ヲ定ム
- 第二條 二部以上ニ跨リ審査ヲ必要トスル出品アル時ハ關係部長協議ノ上擔當審査官ヲ定ムヘシ
- 第三條 各出品ニ就キ擔當審査官ヲ定ムヘシ
- 各出品ノ擔當審査官ハ三名以上タルコトヲ要ス
- 第四條 審査官ハ審査總長ノ訓示及審査部長ノ指揮スル所ノ方針ニ從ヒ出品ヲ審査スヘシ
- 第五條 審査官ハ各分掌ノ出品ニ就キ解説書ヲ參照シテ之ヲ審査スヘシ

第六條 審査官ハ審査シタル出品ニ對シ各自又ハ合議ノ上評點ヲ附スヘシ

但シ一人ノ出品ニシテ同一種類ノモノ多數ナルトキハ合議ノ上最優等品ニノミ評點ヲ附スルコトヲ得

評點ハ一百點ヲ以テ最高トス

第七條 審査官ハ左ノ評點ニヨリ評點ヲ附スヘシ

一等賞牌 九十點以上 二等賞牌 八十點以上

三等賞牌 七十點以上 褒 狀 五十點以上

名譽賞牌ハ卓越シタル出品中特別ノ事由アルモノニ授與ス

第八條 審査官ハ其審査シタル出品ノ評點ヲ評點紙ニ記入シ調印ノ上主任審査官ニ交付スヘシ

第九條 主任審査官ハ審査官ノ評點ヲ取纏メ各出品ノ平均評點ヲ算出シ之ヲ審査部長ニ提出スヘシ

第十條 審査部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ再審査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 九十點以上ノ評點ヲ得タル出品ニ就テハ主任審査官ハ其授與スヘキ事由ヲ記シ評點紙ト共ニ部長

ニ提出スヘシ其ノ他ノ擬賞ハ審査部長之ヲ定ム

第十三條 協贊賞ヲ授與スヘキモノト認メタルモノアルトキハ其事由ヲ記載シ主任審査官ヨリ審査部長ニ提

出シ審査部長ハ之ヲ部長會議ニ提出スヘシ

第十四條 審査總長ハ審査部長會議ニ於テ定メタル擬賞ヲ決裁シ褒賞ヲ授與ス

第十五條 審査部長ハ審査報告ヲ爲サシムル爲メ各分掌毎ニ審査官中ニ於テ一名若ハ數名ノ報告員ヲ定ムヘ

シ

第十六條 審査官ハ採取、産出、製造等ニ關係ヲ有スル出品ノ審査ヲナスコトヲ得ス

第十七條 審査官及其他審査ノ事務ニ關與スルモノハ審査ニ關スル一切ノ事項ヲ漏洩シ又ハ審査ニ關スル意

見ヲ發表スヘカラス

第十八條 東京府以外内國出品ノ審査ハ此審査規則ヲ準用ス

第二節 審査ノ方針

本會ノ出品審査ノ爲ニ特ニ審査總長ヲ囑託セル會禰男爵ハ四十年二月十九日千家知事ノ官邸ニ於テ各審査部長ニ對シ出品審査ノ方針ニ就テ一場ノ演述アリ其要旨左ノ如シ

諸君、御承知ノ如ク政府ハ明治四十五年ヲ期シテ大博覽會ヲ開設スルコトニナツテ居リマス、然シナカラ其會期ハ尙ホ數年後ノコトデアリマシテ平和克復以來銳氣ノ滿々タル産業界ニ取リテハ少シク待テ遠イ様ノ感カアルノデアリマス

東京府知事千家男爵ハ愛ニ觀ル所カアリテ帝國ノ首府トシテ卒先今回ノ勸業博覽會ヲ開設セラル、ノハ眞ニ能ク時宜ヲ得タルモノテ産業ノ振興ヲ一層盛ンナラシムルニ最モ好キ手段デアルト信スルノデアリマス、ソレテ私モ大ニ今回ノ催シニ賛成ヲシテ欣然審査總長トナルコトヲ御請シタ譯デアリマス

ソレテ各部ノ事業ニ學識經驗ヲ有セラレ且ツ社會ノ重望ヲ負ハル、諸君ニ頼テ此ノ任務ヲ全トウシヨウト思ヒマシテ諸君ニ各審査部長トナル、コトヲ御願ヒシタ譯デアリマス、然ルニ諸君ニ置カレテモ私ト御同感デアルト見ヘ御多忙ナルニモ拘ラス御快諾セラレ今日コ、ニ諸君ト會シテ先ツ審査ノ方法ヲ御相談シ續イテ

其ノ實行ニ當ルコトノ出來ルノハ私カ甚タ喜フトコロテアリマシテ諸君ニ深ク御禮ヲ申上ケル次第デアリマ
 ス
 抑モ今回ノ博覽會ハ單ニ東京府ノ企テハアリマスカ内地各府縣ハ勿論數多ノ外國モマタ出品ヲイタシ美術館
 教育館機械館モ出來其ノ規模ハ中々大ナルモノデアリマシテ出品ノ多數、計畫ノ宏大ナルコトハ前回ノ第五
 回内國勸業博覽會ニ比ヘテ劣リマセシ、隨テ今回ノ審査授賞ニ付イテ吾々ノ責任ハ益々重クナル譯デアリマ
 スカラ此ノ際十分慎重ノ態度ト高尚ナル觀念ヲモツテ申シ分ノナキ審査ヲ爲サナケレハナラヌノデアリマ
 ス
 更メテ申スマテモナイコトデアリマスカ審査ハ飽クマテ公平ニ嚴正ニシナケレハナリマセン、出品ノ經濟上
 ニ於ル眞價、其ノ進歩發達ノ效果ヲ精密ニ判定スル等ノコトニ付キ最良ノ方法ヲ實行セラレンコトヲ諸君ニ
 望ムノデアリマスコトモ其ノ人ヲ得ルト否トハ諸君ノ責任上最モ重要ナルコトデアリ
 マスカラ十分御注意アリテ學識經驗ニ富ミ至公至正ナル人々ヲ御撰拔ニナルヨウニイタシタイノデアリマス
 (審査官ハ成ルヘク少數ナルヲ要ス) 審査ハ當タ授賞ノ高下ヲ世ニ示スタケテナク其ノ賞否ノ理由、内容ヲ
 發表シテ出品者乃至產業界ノ參考ニ供スルコトハ甚タ必要デアリ且ツ有益ノコトデアリマスカラ審査ノ報告
 ハ褒賞授與式ノ際先ツ概況ヲ公ニシ又タ褒賞授與後ニ至リ一層精密ナル報告書ヲ印刷シテ世ニ示ス積リテ
 アリマスカラ諸君ハ各々適當ノ方法ヲ以テ報告書ヲ作ラレ期ニ後レス御出シニナランコトヲ御願イ致シマ
 ス
 要スルニ今回ノ審査及授賞ノ效果ハ出品ノ聲價ヲ定メ次回ノ大博覽會ヲ待チ、產業界ノ準繩トナル譯デア
 ス

リマスカラ最モ公平ニ且ツ嚴正ナル審査ヲ行フテ產業ノ發達ニ資シ又タ博覽會開設ノ主旨ニ副ハンコトヲ希
 望スル次第デアリマス

第三節 審査ノ分掌

審査ノ分掌ハ必ラスシモ一部長ニシテ或ル一部ニ限リテ擔任セシニアラス便宜上或ハ一部
 長ニシテ數部ヲ擔任シ或ハ一部中甲乙二部長ニ分屬セシメタルモノ少ナカラス故ニ本會ニ
 於テハ各審査部ヲ稱スルニ假リニ其審査部長ノ審査部ト稱セリ其分掌ノ區別ハ左ノ如シ

審査部別	部類	區別	審査		職員		數計
			長	官	補助	書記	
白仁審査部	第一部	全體	一	三九	二	四	九〇
正木審査部	第二部	全體	一	五八	四	三	六七
古在審査部	第四部	全體	一	四二	二七	三八	一一二
村田審査部	第五部	全體	一	一一	五	六	二六
松原審査部	第六部	全體	一	一〇	二四	二	五〇
	第七部	第六十一類乃至第六十四類	一	二	一	四	

審査部別	部類	區別	職員數					
			部長	審査官	審査囑託	審査補助	審査書記	
高山審査部	第八部	全體	—	一八	一九	一五	五	五八
	第九部	第八十二類乃至第八十七類	—	—	—	—	—	—
	第十部	第八十八類乃至第九十八類	—	—	—	—	—	—
手島審査部	第十一部	全體	—	三八	六八	三二	三	一四一
高松審査部	第十二部	全體	—	—	三〇	二二	二	五七
渡邊審査部	第十四部	全體	—	七	—	三	二	一三
眞野審査部	第十五部	全體	—	一三	—	三	二	二〇
妻木審査部	第十七部	全體	—	八	三	三	二	一七
織田審査部	第十八部	全體	—	六	—	—	二	〇一
合計			一二	二五二	二〇七	一五五	三五	六六一

備考 第十九部ノ出品物ハ其性質ニ應シテ各審査官分擔シテ之ヲ審査セリ又手島部ニ二人妻木部ニ一人各品評人ヲ囑託セリ

審査ニ關スル詳密ノ報告ハ審査報告書四卷既刊セルヲ以テ之ヲ略ス

第四節 調査

外國製品館ニ於ケル出品物ハ其出品人ノ外國人ト内地人トニ關ハラス専ラ本會ノ參考品ト爲スニ在ルヲ以テ固ヨリ審査以外ニ屬シ從テ賞格ヲ定ムヘキニ非スト雖モ有益ナル出品ニ對シテハ本會ニ於テ其出陳ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スヘキ必要アルヲ以テ左ノ通外國製品調査規則ヲ制定シ其部ニ屬スル審査官ヲシテ之ヲ調査セシメ感謝ノ標準ヲ定メタリ

外國製品調査規則

- 第一條 審査部長ハ審査官ヲシテ外國製品中其部ニ屬スルモノヲ調査セシムヘシ
- 第二條 審査官ハ各自擔當ノ出品ニ就キ調査シ審査部長ニ報告スヘシ
- 第三條 審査部長ハ前項ノ報告書ニ意見ヲ附シ審査總長ニ提出スヘシ
- 第四條 審査部長ハ調査報告書ヲ編成シ審査總長ニ提出スヘシ

又私設陳列館及陳列裝飾ノ優等ニシテ本會ニ盛觀ヲ添ヘタルモノニ對シテハ其程度ニ從テ感謝狀ヲ贈與スルコト、シ四十年六月七日其調査委員ヲ左ノ通囑託セリ

私設陳列館調査委員

審査官 武田 五一

全 會 根 達 藏
 全 塚 本 靖
 全 中 山 秀 三 郎
 全 長 野 宇 平 治
 全 日 下 部 辨 二 郎
 全 矢 橋 賢 吉
 全 近 藤 虎 五 郎
 陳列裝飾調査委員
 審 查 官 福 地 復 一
 全 平 山 英 三
 全 井 手 馬 太 郎
 全 島 田 佳 矣
 全 前 田 健 次 郎

第九章 褒賞及感謝狀

第一節 賞牌及褒狀

本會ニ於テ授與セシ褒賞ハ規則第四十九條第五十條ニ依リ名譽(金銀)一三三等賞牌褒狀及協贊賞ノ七種トス而シテ他廳府縣人ノ出品ハ元ト參考品ノ性質タルヲ以テ本府下ノ出品ト區別シ其出品ニ對スル褒賞ニハ各等トモニ紀念ノ二字ヲ冠シテ之ヲ贈與セリ
 賞牌及證狀褒狀協贊賞狀等ノ形式ハ之ヲ寫真版ニ上セテ之ヲ章末ニ掲出セリ

第二節 褒賞統計

本會ニ於テ贈與セル褒賞ハ名譽金牌十九、名譽銀牌百十二、一等賞四十二、二等賞千二十六、三等賞二千二百八十五、褒狀四千三十、協贊賞九十八總計七千九十九トス之ヲ出品總點數九萬三千七百五十四點ニ比スレハ八分四出品人員一萬四千八百七十六人ニ對スレハ五割三分強ニ當ル其統計左ノ如シ

其一 東京勸業博覽會部別受賞統計表

部 別	管轄		名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒 狀	協贊賞	計
	外	内								
第 一 部	一	一	一	一	四六	八九	一五二	二六五	一五	五七九
	二	二	二	二	三	三	一五	三八	二	六三

其二 東京勸業博覽會類別受賞統計表
第一部(教育、學藝)

總計	第十部		第十一部		第十二部		第十三部		第十四部		第十五部		第十六部		第十七部		第十八部		第十九部		合計
	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	
一九	三	一六																			一
一一	二	四	六	七	一	二	一	二	一	一	四	四	二	二	七	一					二
四	三	一	五	〇	二	七	二	一	一	四	四	三	八	七	三	〇	四				四
一〇	三	八	六	四	一	一	一	三	四	二	六	二	五	二	三	一	四				一
二	二	八	二	二	一	一	二	九	二	一	七	五	四	五	一	〇	五	六			二
四	〇	二	五	一	七	五	八	二	一	四	一	五	六	四	一	一	五	二	五		四
一	一	九																			八
八	〇	九																			八
八	〇	九																			八

第十二部	第十一部	第十部	第九部	第八部	第七部	第六部	第五部	第四部	第三部	第二部	部別	管轄		名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計	
												外	內										
三												外	內										
七		二	一	四	三	六	七	六	七	三	七	一	二	二									三
五	四	四	四	四	八	〇	六	〇	三	九	一	八	一	六	二	〇	一	四	二	八	二	二	三
八	七	八	二	七	一	二	三	〇	四	九	七	二	〇	八	六	五	八	三	九	四	七	四	〇
一	九	〇	一	五	六	三	九	一	二	三	二	一	〇	二	六	〇	七	九	一	一	四	一	五
二	三	五	二	八	二	二	七	一	六	九	三	八	二	九	一	七	一	〇	一	二	九	二	一
四												外	內										四
五	八	〇	四																				五

類別	第三十七類			第三十八類			第三十九類			第四十類			第四十一類			第四十二類			合計
	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	
名譽金牌																			
名譽銀牌																			
一等賞																			
二等賞																			
三等賞																			
褒																			
狀																			
協贊賞																			
計																			

第五部 (林業、狩獵)

總計	外
四二	
二〇二	
一〇四	
三〇八	
八七五	
二二	
一三〇九	

類別	第二十七類			第二十八類			第二十九類			第三十類			第三十一類			第三十二類			第三十三類			第三十四類			第三十五類			第三十六類			合計
	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內				
名譽金牌																															
名譽銀牌																															
一等賞																															
二等賞																															
三等賞																															
褒																															
狀																															
協贊賞																															
計																															

第六部 (水產)

類別	管轄				名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
	外	內	外	內									
第四十四類													
第四十五類													
第四十六類													
第四十七類													
第四十八類													
第四十九類													
第五十類													
第五十一類													
第五十二類													
計													

第七部 (飲食品)

類別	管轄				名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
	外	內	外	內									
第五十三類													
第五十四類													
第五十五類													
第五十六類													
合計													

類別	管轄				名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
	外	內	外	內									
第五十七類													
第五十八類													
第五十九類													
第六十類													
計													

第七十八類		第七十七類		第七十六類		第七十五類		第七十四類		第七十三類		類別					
外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	管轄					
												名譽金牌					
												名譽銀牌					
												一等賞					
												二等賞					
												三等賞					
												褒					
												狀					
												協贊賞					
												計					
二	二	一	四	八	二	六	四	二	〇	二	一	七	二	九	四	一	八

三百五

第八部 (化學製品)

總計		第七十二類		類別
外	內	外	內	管轄
				名譽金牌
				名譽銀牌
				一等賞
				二等賞
				三等賞
				褒
				狀
				協贊賞
				計
九	三	三	〇	三

第七十一類		第七十類		第六十九類		第六十八類		第六十七類		第六十六類		第六十五類		第六十四類		第六十三類		第六十二類		第六十一類		類別	
內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	管轄	
																						名譽金牌	
																						名譽銀牌	
																						一等賞	
																						二等賞	
																						三等賞	
																						褒	
																						狀	
																						協贊賞	
																						計	
九	一	七	八	三	一	〇	二	二	三	二	三	五	二	一	六	九	七	六	二	〇	二	一	五

三百四

合 計	第九十五類			第九十四類			第九十三類			第九十二類			第九十一類			第九十類			第八十九類			第八十八類			第八十七類			第八十六類		
	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內		
三																														
四	三	一																												
八	二〇	三二																												
三〇	四九	六五	二一	六八																										
一二	二〇	四六	一三	四二	一八	一七	二二	八二	二二	二七	二二	二四	六七																	
二二	一六	五七	三三	六二	五三	二二	一七	五五	四七	二二	三七	三一	四一	一九	二二															
二																														
三九	三四	一一	五二	一一	五七	四〇	二二	二二	七八	一〇	三〇	五五	六七	二二	四八	三七	二二													

類 別	第八十五類			第八十四類			第八十三類			第八十二類			類 別	第七十九類			第八十類			第八十一類			總 計	合 計		
	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內		外	內	外	內	外	內	外	內	外			內	
名譽金牌																										
名譽銀牌																										
一等賞																										
二等賞																										
三等賞																										
褒 狀																										
協贊賞																										
計																										

第九部(窯業品、金石品、塗物)

類別	管轄	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
總計		三	七	二八	七九	二二四	三九六	二	七三九	

三百八

第十部 (木竹製品、紙製品、其他植物製品)

類別	管轄	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
第九十九類	內							二七	一八	三五
第一百類	內							一		二
第一百一類	內							七		一六
第一百二類	內							一三		二九
第一百三類	內							一六		三一
第一百四類	內							四〇		六九
合計	外	二	一	四	二七	五六	一三六	二二六		二二五
	內			四	二	三九	八	八二		一三八

第十一部 (皮革、羽毛、牙角、介甲製品)

類別	管轄	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
第一百五類	內			三				八		二五
第一百六類	內							五		九
第一百七類	內							一		二
合計	外			四	八	一六	三一	三		五九
	內			四	八	一	三	二八		四五

第十二部 (染織刺繡)

類別	管轄	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞	二等賞	三等賞	褒	狀	協贊賞	計
第一百八類	內	一	三	三〇	五七	二二八	一四六		四	三六九
	外	一	六	三六	一〇三	二二九	三三三		二	七二〇

三百九

類別	第百二十類			第百二十一類			第百二十二類			第百二十三類		
	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內
管轄												
名譽金牌			四			二			七			
名譽銀牌						三			二			
一等賞			一									
二等賞						一			二			
三等賞												
褒												
狀			二			五			六			二
協贊賞												
計			八			七			一			三

三百十一

第十四部 (採礦冶金)

類別	第百十六類			第百十七類			第百十八類			第百十九類			總計
	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	
管轄													
名譽金牌													
名譽銀牌			二			三			七			九	
一等賞			一			三			二			三	
二等賞			三			二			一			二	
三等賞			六			一			二			二	
褒													
狀			七			五			三			一	
協贊賞													
計			二			五			一			六	

第十三部 (被服、裝身具、携帶品、組編物、布帛製品)

類別	第百十四類		第百十五類	
	內	外	內	外
管轄				
名譽金牌				
名譽銀牌				
一等賞				
二等賞				
三等賞				
褒				
狀				
協贊賞				
計				

類別	第百十類			第百十一類			第百十二類			第百十三類			總計
	內	外	內	內	外	內	內	外	內	內	外	內	
管轄													
名譽金牌			一										
名譽銀牌			一			三			七			一	
一等賞			一			一			三			一	
二等賞			一			一			七			四	
三等賞			三			二			一			一	
褒													
狀			七			五			二			一	
協贊賞													
計			五			四			二			一	

三百十

類 別	第十六部 (運輸、通信)		總 計	合 計	第百三十七類		第百三十六類		第百三十五類		第百三十四類		第百三十三類		第百三十二類		第百三十一類		
	外	內			外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外	內	外
名譽金牌	—	—	—	—															
名譽銀牌			五	一四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一等賞	—	—	八	四四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二等賞	—	—	二	二	二	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三等賞	—	—	五	九	五	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
褒	—	—	七	九	一	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
狀	—	—	七	九	一	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
協贊賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	一七	九	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

類 別	第十五部 (機械)		總 計	合 計	第百二十七類		第百二十六類		第百二十四類	
	外	內			外	內	外	內	外	內
名譽金牌	—	—	—	—						
名譽銀牌			八	二六	—	—	—	—	—	—
一等賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二等賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三等賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
褒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
狀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
協贊賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	八	二四	—	—	—	—	—	—

第三節 褒賞ニ關スル處務

審査已了リ擬賞ノ事亦決スルヤ四十年六月二十一日ヲ以テ褒賞狀ノ書式ヲ定メ尋テ之レ

類別	第百四十六類		第百四十七類		總計
	外	内	外	内	
管轄名譽金牌					
名譽銀牌					
一等賞					
二等賞			八	五	
三等賞			三	二	
褒狀			五	四	
協贊賞			一		
計			一九	一三	六

第十九部 (陸海軍用品及武器)

類別	第百四十五類		總計
	外	内	
管轄名譽金牌			
名譽銀牌			
一等賞	五	一	四
二等賞	二	一	一
三等賞	二	一	一
褒狀	一	一	
協贊賞	一		
計	一三	三	一〇

第十八部 (經濟、衛生、救濟)

總計		總計
外	内	
一	一	
七	三	四
一	二	九
三	〇	二
五	七	四
三	〇	三

第十七部 (建築、土木)

類別	第百四十二類		第百四十三類		第百四十四類		總計
	外	内	外	内	外	内	
管轄名譽金牌							
名譽銀牌							
一等賞							
二等賞							
三等賞			一	二	一	二	
褒狀							
協贊賞			二	一	四	一	三
計			一	六	一	三	二
			三	〇	三	〇	二
			一	〇	二	三	
			二	七	四	三	

類別	第百三十九類		第百四十類		第百四十一類		總計	
	外	内	外	内	外	内	外	内
管轄名譽金牌								
名譽銀牌								
一等賞								
二等賞								
三等賞			四	一	三	一		
褒狀			八	二	六			
協贊賞			一	九	二	七	一	一
計			一	五	一	四	一	一
			五	一	八	四	三	四
			一	四	一	四	一	四
			二	二	二	三	三	三

カ淨書ノ爲メ筆耕志願者ヲ募集シ筆跡見本ヲ提出セシメ其優等者ヲ撰ミ之ヲ命シ其心得ヲ左ノ通定メタリ

褒賞狀筆耕者心得

- 第一條 執務時間ヲ午前八時ヨリ午後五時トス但午後四時以後ハ係員ノ許可ヲ得テ早退スルコトヲ得又執務時間ハ事務ノ都合ニ依リ係員ニ於テ伸縮スルコトアルヘシ
- 第二條 執務中ハ都テ係員ノ指揮ニ從ヒ其命ニ違背シ又ハ不服ヲ申出ルコトヲ得ス
- 第三條 執務中努メテ靜肅ヲ守リ喧騒雜話等ヲ爲スヘカラス
- 第四條 字體ハ凡テ正確ナル楷書ヲ用ヒ字劃ノ明瞭ナラサルモノハ相當ノ調査ヲ爲シ淨書スヘシ
- 第五條 誤字又ハ落字等アルトキハ訂正又ハ書替ヲ爲サシム此場合ニ於テハ筆耕料ヲ給セス
- 第六條 筆耕料ハ左ノ通りトス
 - 一 品名、出品人、住所、氏名、屋號、商號、雅號、等ヲ記入スルモノヲ金參錢
 - 一 前項及審査官審査部長ノ氏名(六名氏以内)ヲ記入スルモノヲ金八錢

第七條 書損ハ一枚ニ對シ賠償トシテ筆耕料三枚分ト相殺ス但百枚ニ對シ三枚ノ書損ハ不問ニ附ス

既ニシテ褒賞授與式ノ日確定シ名譽金牌ニ對スル賞狀ハ當日各受賞者ニ授與スルコトニ定メタルヲ以テ此分ニ對スル賞狀ハ七月一日ヨリ別室ニ於テ秘密ニ淨書セシメ同月六日ノ式日ニ先チテ之ヲ調製セリ尙ホ名譽銀牌ニ對スル分モ名譽金牌ト同シク全文ヲ淨書シ一等以下ノ賞狀及褒狀ハ不動文字ハ石盤刷トシ五枚以上同一ノモノハ審査部長審査官ノ官氏名ヲ

木版ニテ押捺シ出品人ノ住所氏名及出品名等ノミヲ淨書セシメ各部毎ニ管内ハ郡區ヲ經由シ管外ハ所轄廳ヘ囑託シテ交付スルコト、シ名譽銀牌ニ對スル分ハ九月十一日之ヲ發送シ一等賞以下ニ對スル分ハ十月二十二日ヨリ發送シ翌四十一年二月十四日ヲ以テ之ヲ終了セリ其枚數左ノ如シ

名譽金牌ニ對スル分	管内	六枚
	管外	三枚
名譽銀牌ニ對スル分	管内	六十七枚
	管外	四十五枚
一等賞牌ニ對スル分	管内	二百七十二枚
	管外	百五十七枚
二等賞牌ニ對スル分	管内	三百九十七枚
	管外	三百九十七枚
三等賞牌ニ對スル分	管内	九百七十二枚
	管外	九百七十二枚
協贊賞牌ニ對スル分	管内	二十一枚
	管外	二十一枚
褒狀	管内	二千三百六十七枚
	管外	二千三百五十八枚

又各種ノ賞牌ハ東京市內居住者ニ對シテハ府廳ニ於テ直接交付シ管内郡島ニ屬スルモノハ其ノ郡役所島廳管外ニ屬スルモノハ其ノ廳府縣ヲ經由シテ交付スルコト、シ明治四十二年三月十二日ヨリ全年五月六日迄ノ間ニ於テ之ヲ終了セリ

第四節 感謝狀

外國製品ニ對シテハ當初ヨリ調査規則ヲ設ケ其品類ノ當該審査官ヲシテ之ヲ調査セシメ其

報告ニ依リテ感謝狀並紀念賞牌ヲ贈與セルモノ六十五名アリタリ又私設陳列館及陳列裝飾ノ優等ナルモノニ對シテハ特ニ調査ヲ囑託セル委員ノ報告ニ依リ私設陳列館十七名陳列裝飾九十三名ニ對シ感謝狀ヲ贈與セリ其人名左ノ如シ

(イ) 私設陳列館優等者感謝狀

臺灣總督府

三菱合資會社

東京瓦斯株式會社

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ貴社(貴總督府)ノ建設ニ係ル(何々)館ハ結構壯麗裝飾美ヲ盡シ大ニ會場ノ盛觀ヲ成シ以テ會ノ成功ヲ助成セリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

日本赤十字社

藤原商會

東京機械製造株式會社

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ貴社(何々)ノ建設ニ係ル(何々)館ハ構造陳列共ニ當ヲ得テ大ニ會ノ光彩ヲ添ヘ以テ其ノ成功ヲ助成セリ仍テ感謝ノ意ヲ表ス

穴原商店

日本安全石油株式會社

大久保總左門衛外一人

鈴木鐵工所
大阪鐵工所
田中商會
日本造花株式會社

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ貴社(何々)ノ建設ニ係ル(何々)館ハ設計宜シキヲ得テ大ニ會ノ成功ヲ助成セリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

平尾誠
ジョン、タムソン
屋井光藏
角倉賀道

拜啓陳者東京勸業博覽會開設ニ際シ特ニ出品館ヲ建設セラレ大ニ會ノ成功ヲ助成候段深ク感謝仕候先ハ御挨拶迄如斯御座候敬具

(ロ) 陳列裝飾優等者感謝狀

婦人服裝染織物 飯田新七東京店

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ特ニ意ヲ出品ノ陳列裝飾ニ用ヒ巧ニ電氣力ヲ應用シテ嶄新ナル設計ヲ爲シ優美高尚ノ觀亦他ニ超越シ洵ニ陳列裝飾ノ好模範トシテ大ニ會ノ光彩ヲ添ヘタリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

漢織吳織像裝置 東京織物問屋同業組合

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ貴組合カ第三號館前ノ裝飾ニ供セル吳織漢織像ノ裝置ハ意匠高雅以テ直ニ歴史
的感興ヲ喚起スヘク且清洒優婉ナル美術彫塑ヲ以テ艶麗巧緻ナル出品其物ニ配ス對照ノ妙云フヘカラス洵ニ
裝飾ノ好模範トシテ大ニ會ノ光彩ヲ添ヘタリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

- 活字類 東京築地活版所
- 七寶燒 安藤重兵衛
- 紙類 中村直次郎
- 鯉節 高津伊兵衛
- 蠶業 東京蠶業講習所
- 衛生牛舎模型並牛乳
搾取及管理用具模型 坂川齊
- 美術館内陳列函 大西榮輔
- 白縮緬 柴田源七
- 吳服類 大村彦太郎
- 自轉車 石川商會
- 寫真類 光村合資會社
- 分娩用具 尾澤良助

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ特ニ意ヲ出品ノ陳列裝飾ニ用ヒ設計巧ヲ極メ盛觀能ク人目ヲ惹キ大ニ會場ノ光
彩ヲ添ヘタリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

- 動物標本 米山米吉
- 醫科用玻璃器 宮崎平助
- 漆器 林九兵衛
- 陳列設計 東京小間物化粧品卸商組合
- 洗粉 宮城喜三郎
- 化粧品 伊東榮
- 小間物 松田幸治郎
- 時計鎖 山崎龜吉
- めりやす類 高見澤商店
- めりやす類 堀川長兵衛
- めりやす類 東洋メリヤス合資會社
- シヤブル及
スユツプ及 森岡源太郎
- 加藤伴助
- 宮川榮五郎
- 大森海苔水産組合
- 深川浦漁業組合
- 葛西浦漁業組合
- 陳列設計

葡萄酒 神谷傳兵衛
菓子 野村兼吉
花盛盤 東京園藝株式會社
染織物 下村吳服店
吳服店 古屋徳兵衛
レース類 管川清
瓦斯器 東京瓦斯株式會社
自轉車 日米商會
時計並蓄音機 江澤金五郎
香水類 エドヒノ一會社

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ特ニ意ヲ出品ノ陳列裝飾ニ用ヒ設計宜シキヲ得テ人目ヲ惹キ爲ニ會場ノ光彩ヲ添ヘタリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

寫真材料 寫真材料商聯合組合
寫真材料 小西六左衛門
教育用器具及標本 伊藤卓夫
活字類 製文堂
文具 丸善株式會社

陳列設計 東京文房商出品聯合會
陳列設計 東京筆墨硯問屋組合
樂器 西川虎吉
雙陸技藝品 日本雙陸技藝會
小兒哺乳器 乾桂三郎
石 石 石 石 石 石 石 石 石 石
和洋皮革 小林藤兵衛
護 米井商店
はみかき粉 平尾贊平
陳列設計 大西榮輔
コルク陳列 田川勘太郎
象牙細工 東京象牙彫商組合
壘表花莖 東京壘表花莖問屋組合
北海道土人製品 結城庄太郎
帽子 吉安商店
眞珠 御木本章吉
ビスケット 東洋製菓株式會社

菓	菓子	米	津恒次郎
生	生姜瓜	靜岡	生薑系開業組合
椒	落花生	瓜	蕃椒落花生
裝飾	陳列	蔬	菜
太古	遺物類	太古	遺物陳列場
婦人	服裝	大	國市
陳列	設計	糸	商出品同盟會
陳列	設計	製	紐株式會社
染	織物	伊	藤治郎左衛門
染	織物	野	口彦兵衛
ハン	カチーフ	中	西儀兵衛
染	織物	外	村宇兵衛
織	姫縞子	桐	生織物株式會社
ネ	クタイ	南	文
服	裝	三	越吳服店
輸入	防遏織物	會	和嘉一郎
製	糖	臺	灣糖業協會
自	轉車	角	商會

時	計	セ	ー	ジ	ー	フ	ァ	ブ	ル	、	ブ	ラ	シ	ト	商	會
時	計	ウ	イ	ス	ト	コ	ツ	キ	ー	商	會					
樂	器	十	字	屋												
葡	萄	尾	張	屋	商	會										
文	具	丸	善	株	式	會	社									
金	具	陳	列	ホ	ー	ン	出	品	場							

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ特ニ意ヲ出品ノ陳列裝飾ニ用ヒ爲ニ會場ノ光彩ヲ添ヘタリ仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

又本會ノ設備ニ關シ或ハ所藏品ヲ出陳シ又ハ機關類ヲ無償ニテ提供シ又ハ物件寄附其他種々ノ盡力者ニ對シテハ夫々銀盃又ハ謝狀ヲ贈與セリ其人名及謝狀ノ全文左ノ如シ

- 理科大學附屬植物園
- 農科大學農學教室
- 侯爵 鍋島直大
- 伯爵 酒井忠興
- 男爵 岩崎彌之助

拜啓陳者東京勸業博覽會開催ニ際シ御愛藏ノ植物御出陳被下植物温室ノ光彩ヲ添ヘ大ニ會ノ成功ヲ助成候段深ク感謝致候先ハ右挨拶申上度如斯御座候敬具

牛 込 寛 次
鈴 木 豊 吉

拜啓陳者東京勸業博覽會開催ニ際シ植物温室へ御所藏ノ植物御出陳被下候段深ク感謝致候先ハ右御挨拶迄如
斯御座候敬具

東京瓦斯株式会社

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ動力室ニ瓦斯機關ヲ裝置シ空大ナル各出陳機械運動ノ設備ニ便宜ヲ與ヘラレタ
リ茲ニ銀盃一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

高 田 慎 藏

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ動力室ニ宏大ナル電氣機械ヲ裝置シテ送電ニ凝滞ナカラシメ各出陳機械ノ運轉
ニ便宜ヲ與ヘラレタリ茲ニ銀盃一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

沖 弟 太 郎

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ機械館ニ嶄新ナル電話交換機ヲ裝置シ場内各所ニ電話ヲ開通シ本會ニ多大ノ便
益ヲ與ヘラレタリ茲ニ銀盃一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

小 泉 久 七

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ機械館及動力室ニ要スル調革ヲ提供シ出陳機械ノ運轉ニ凝滞ナカラシメタリ茲
ニ銀盃一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

新 田 長 次 郎

東京勸業博覽會ノ開設ニ際シ自製ノ調革ヲ提供シ外國製品館出陳機械ノ轉動ニ凝滞ナカラシメタリ茲ニ銀盃
一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

米國 紐育 スタンダードオイル會社

東京勸業博覽會開設ニ際シ各種滑油ヲ多量ニ供給シ以テ機械ノ運動ヲ助ケ且本會ノ設備上貢獻スル所大ナリ
茲ニ銀盃一組ヲ贈呈シ感謝ノ意ヲ表ス

石 田 正 翁
柴 田 八 郎 兵 衛
兒 島 文 茂
野 間 里 幸
松 谷 直 三 郎
金 子 惣 十 郎
倉 知 義 雄
田 口 芳 之 助
田 上 貞 質
村 野 常 二 郎
坂 本 時 寬
三 谷 玉 四 郎

拜啓陳者東京勸業博覽會へ行幸啓ノ際立生花盆石寄附飾付ニ關シ種々御盡力被成下候段深ク感謝致候先ハ御挨拶迄如斯御座候敬具

石塚長太郎	山下寅吉	中川政助	井村忠稠	本多美代子	梅村武子	羽生龜子	倉知秀子	渡邊源子	玉川理調	戸川理正	杉崎秀明	服部蟻藏	矢鎌次郎	中田直道
-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

以上皇后陛下行啓ノ際

松木元秀	岩瀬松三郎	松田音次郎	香川太一	福原慎吾	役森之助	松田音次郎	駒宮みつ	長瀧せん	松木元秀	中田直道	高井初子
------	-------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

以上皇太子同妃殿下行啓ノ際

拜啓陳者東京勸業博覽會へ行幸啓ノ際立生花寄附飾付ニ關シ御配慮被成下候段深ク感謝致候先ハ御挨拶迄如斯

御座候敬具

拜啓陳者東京勸業博覽會開設ニ際シ觀覽者ノ爲メ特ニ場内ニ臨時救護所ヲ設置シテ傷病者ヲ救護シ其救治人
員千六百五十九人ノ多キニ達セリ寔ニ本會ノ施設ニ多大ナル便益ヲ與ヘラレタルモノニシテ感謝ノ至リニ堪
ヘス茲ニ謹テ微忱ヲ表シ候敬具

日本赤十字社東京支部

- 間 宮 勝 三 郎
- 窪 田 勘 六
- 星 野 錫
- 島 本 德 兵 衛
- 阿 部 彦 四 郎
- 中 村 喜 之 助
- 伴 傳 兵 衛
- 小 島 新 八
- 川 口 與 兵 衛
- 伊 澤 健 之 助
- 片 岡 銀 藏
- 淺 井 碩 成

以上賣店總代

- 堀 井 小 十 郎
- 山 田 爲 吉
- 若 林 新 太 郎
- 安 藤 重 兵 衛
- 松 本 佐 平
- 村 田 菊 次 郎
- 丹 野 清 藏
- 早 川 庄 太 郎
- 大 和 初 太 郎
- 石 川 ハ ッ
- 伊 藤 勘 兵 衛
- 豐 田 吉 三 郎
- 小 野 乙 女 太 郎

以上飲食店總代

東京勸業博覽會開設ニ就テハ賣店(飲食店)總代トシテ終始多大ノ御盡力被成下會ノ事業ニ光彩ヲ添ヘラレ候
段深ク感謝仕候先ハ御挨拶迄如斯御座候敬具

名譽金牌

裏



表



名譽銀牌ハ其色ヲ銀色トシ形式ハ本賞牌ニ同シトス

一等賞牌

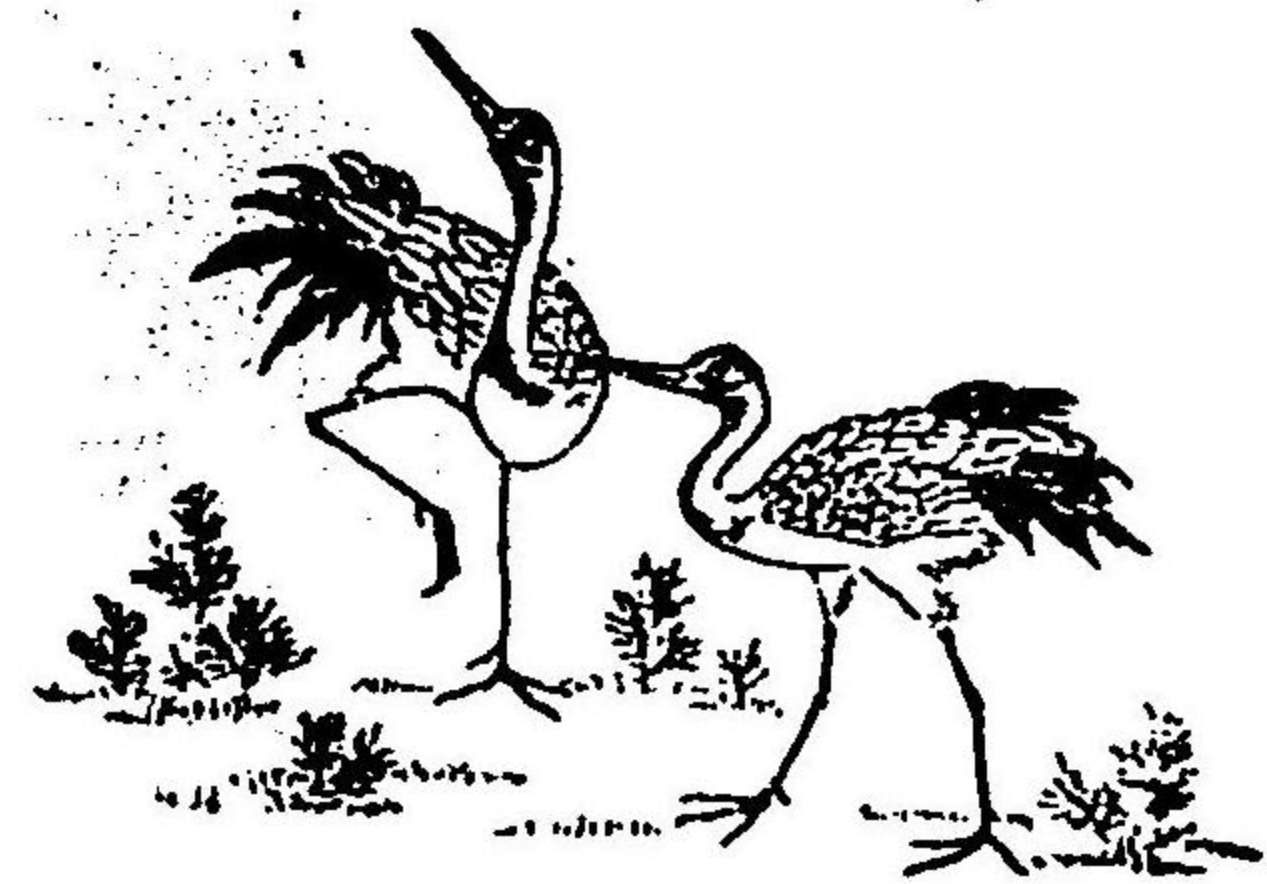
裏



表

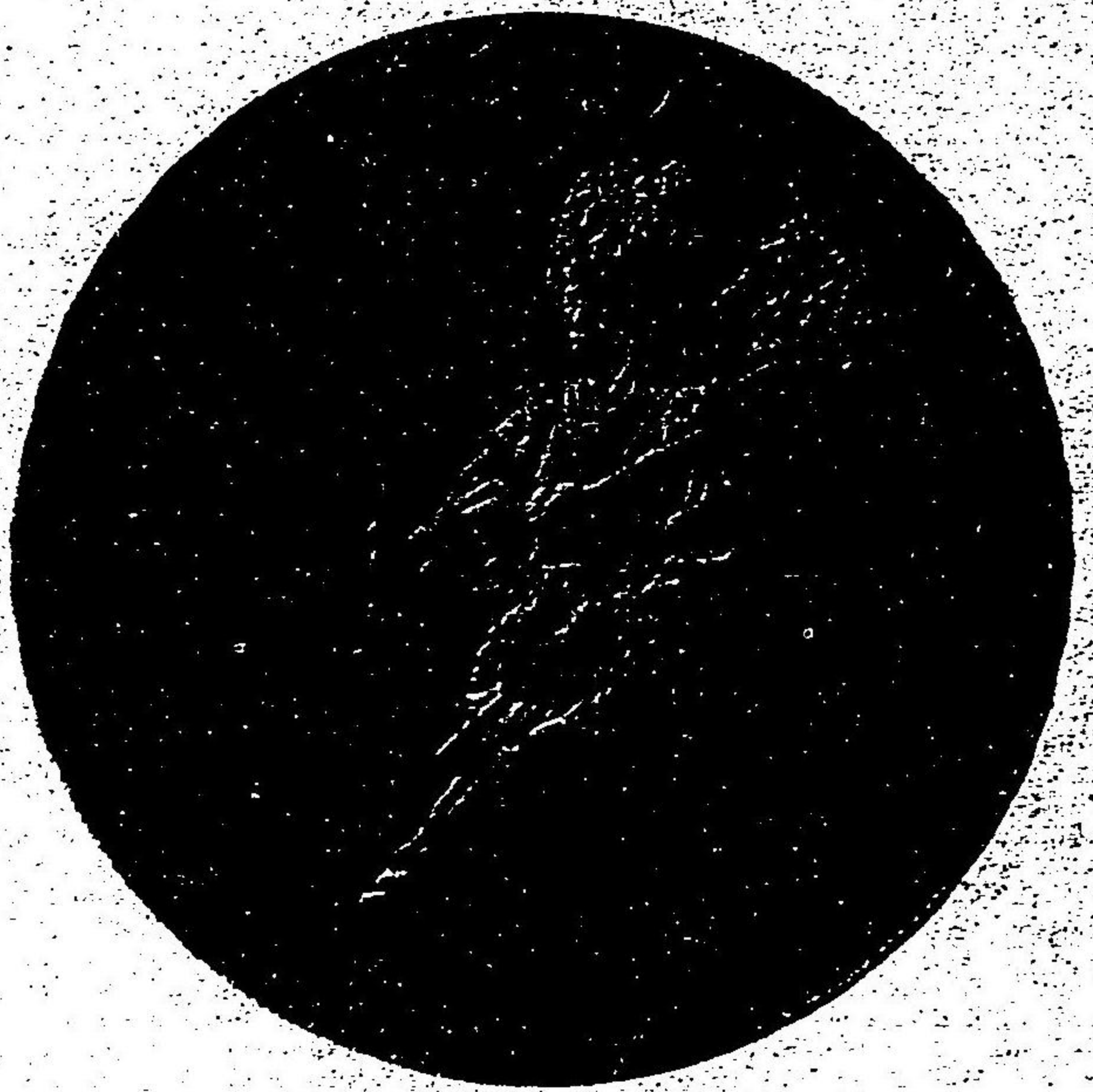


二三等及協賛紀念各賞牌ハ其等級及種別ノ文字ヲ異ニスルノミニシテ其形式ハ皆本賞牌ニ同シトス



名譽金牌

表



裏



名譽銀牌ハ其色ヲ銀色トシ形式ハ本賞牌ニ同シトス

一等賞牌

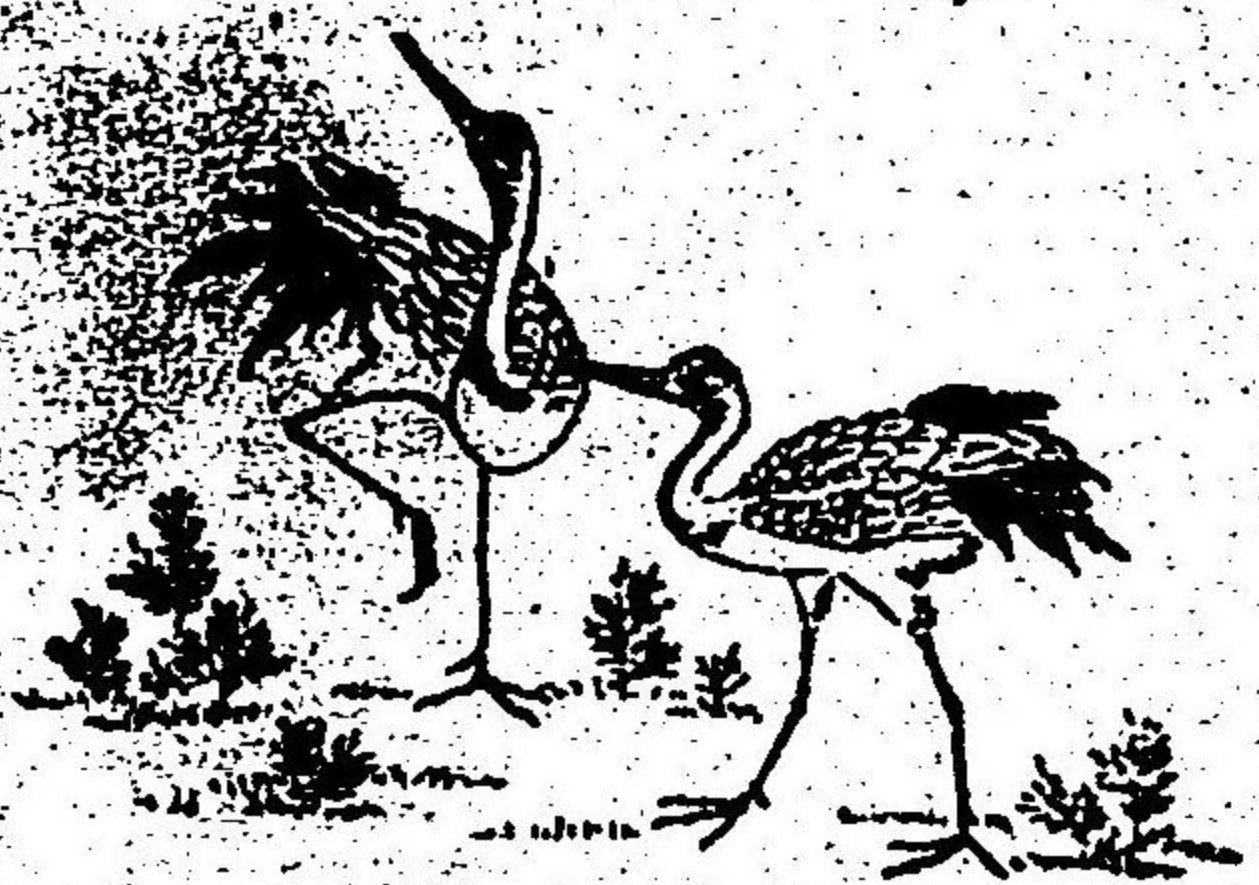
表



裏

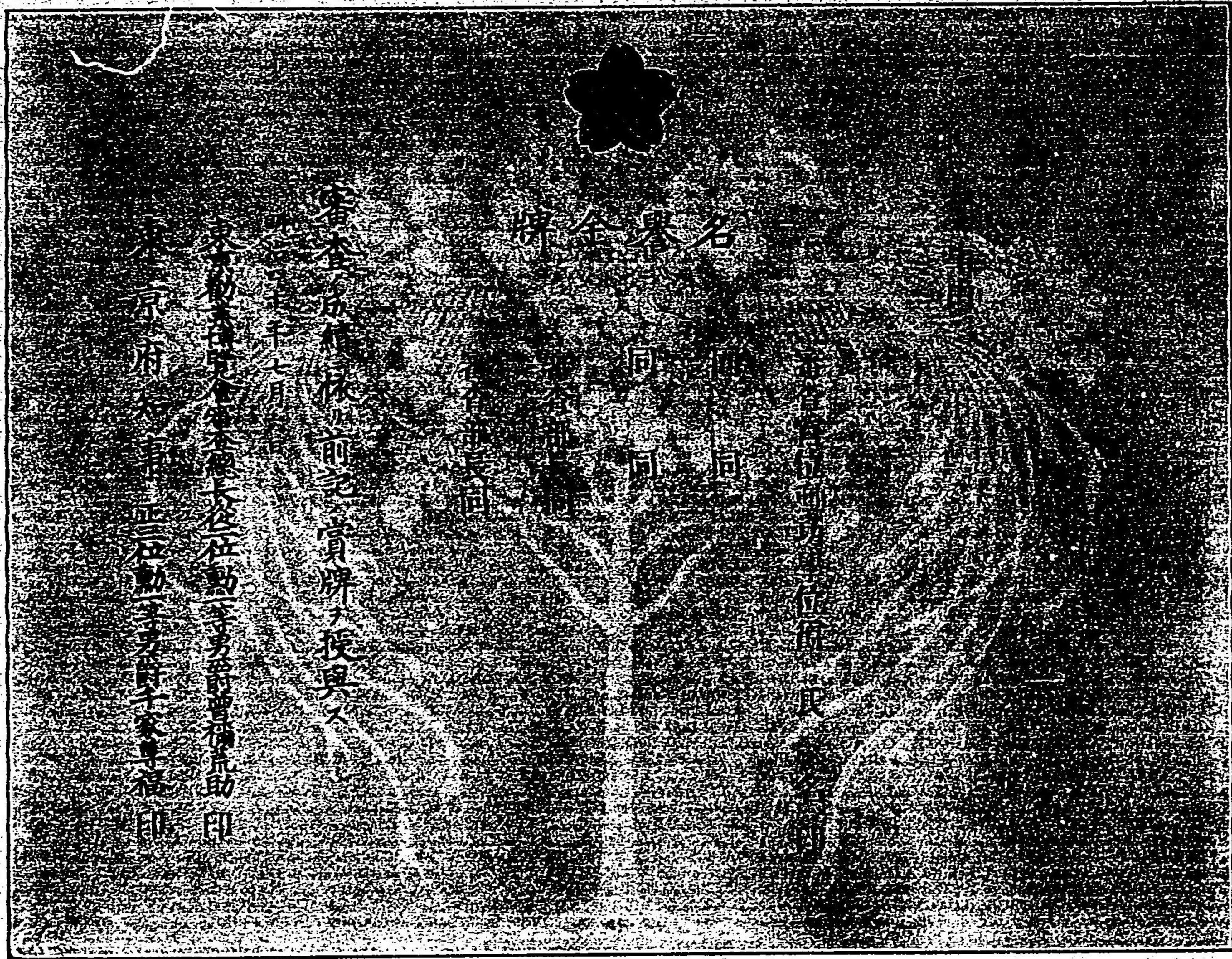


二三等及協賛紀念各賞牌ハ其等級及種別ノ文字ヲ異ニスルノミニシテ其形式ハ皆本賞牌ニ同シトス

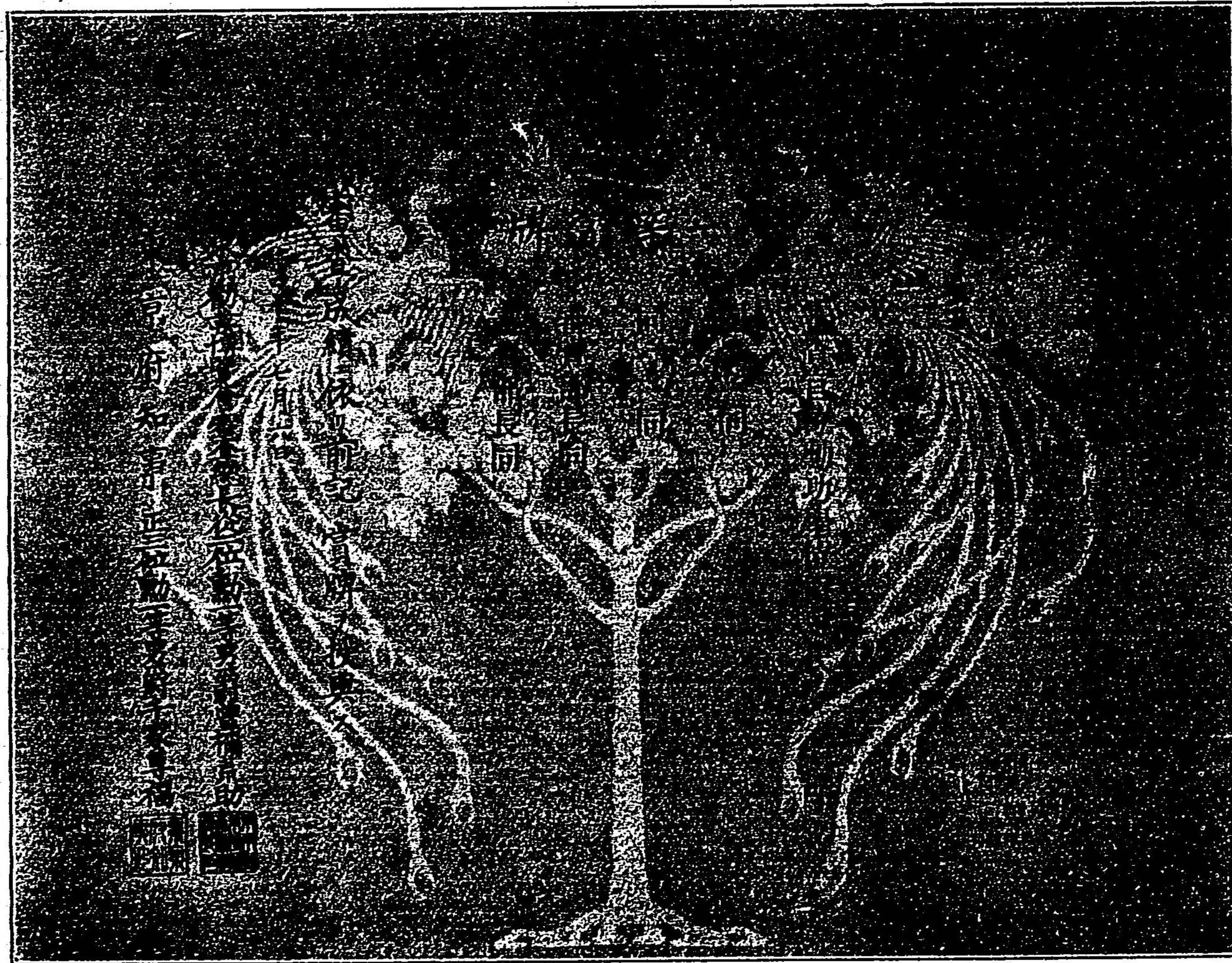


山崎 敬三 氏 贈 賞 牌 一 枚
昭和 十 年 十 月 十 日
山崎 敬三 氏 贈 賞 牌 一 枚
昭和 十 年 十 月 十 日

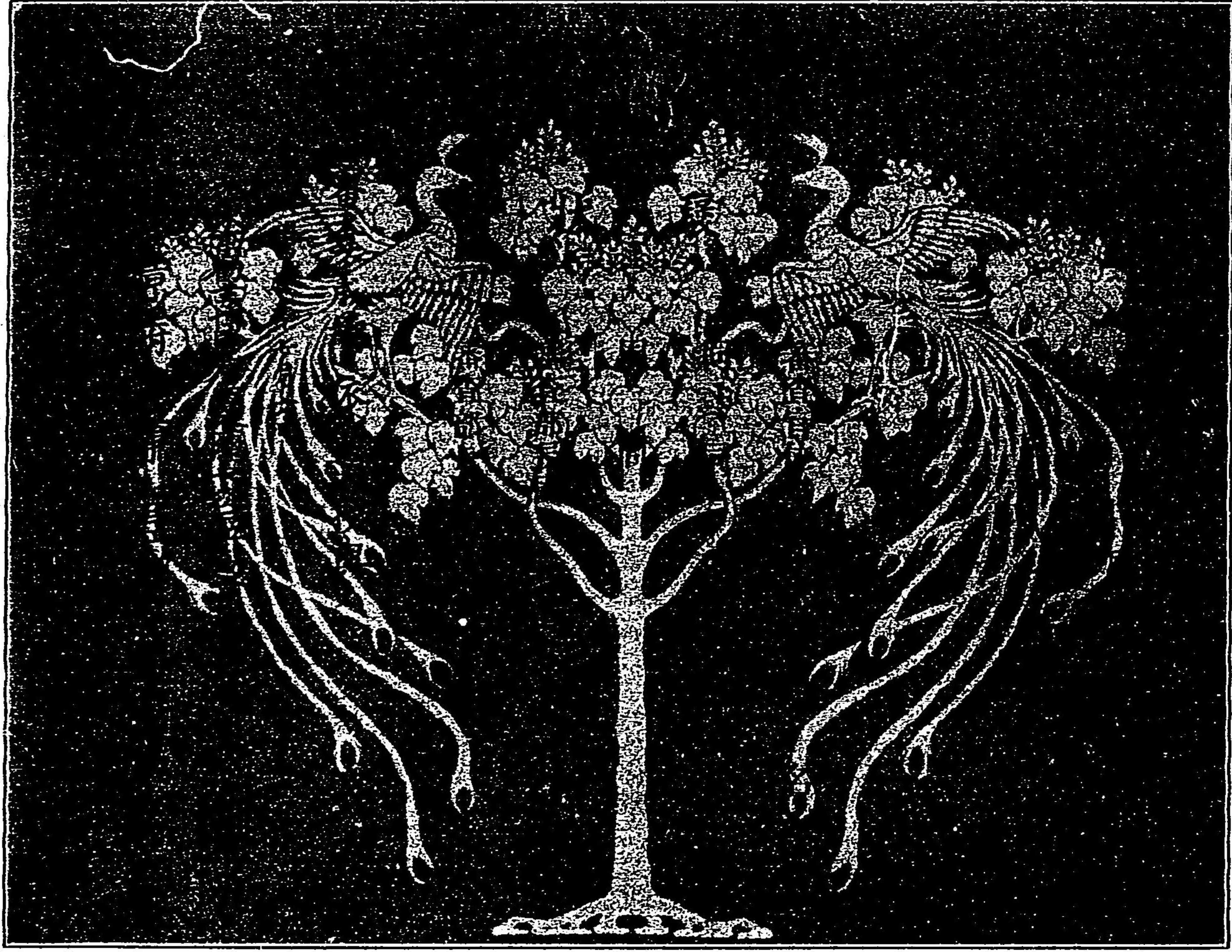
名譽銀牌証狀ノ形式亦本証狀ニ同シ但地色金牌淡桃色銀牌淡肉色トス
 上部ノ徽章ハ各狀トモニ金色浮山トス又各狀ノ中央ニ横ニ東京勸業博覽會ノ七
 字ハ小篆ニテ施込メリ



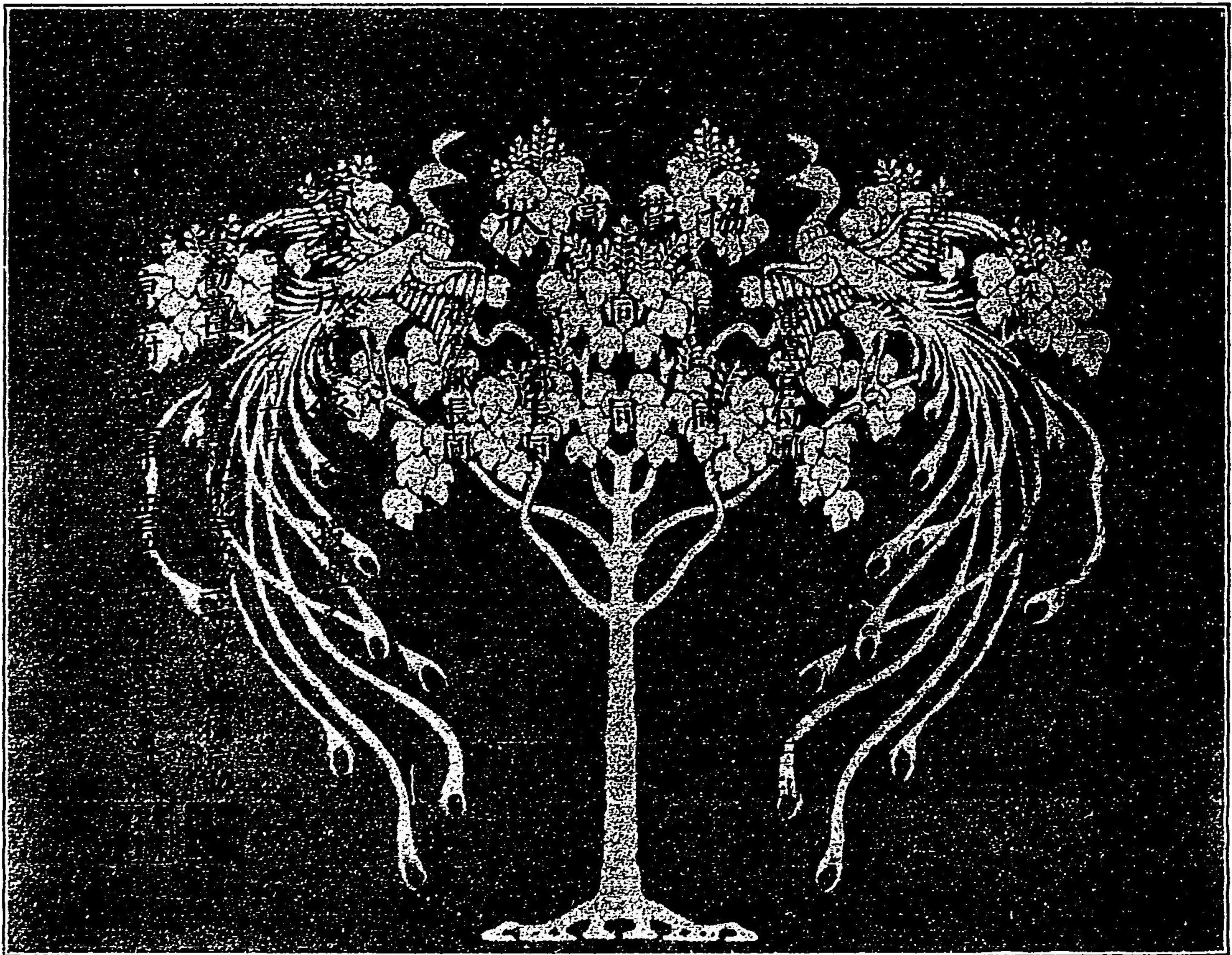
二等三等ノ形式亦本狀ニ同シ但地色一等淡藍色二等深黃色三等淡藍色トス



地色渡玉子色トス



地色淡鼠色トス



地色淡玉子色トス

紀念狀

審査官位勳功學位爵 氏 名 印

同 同

同 同

審査部長同

審査部長同

審査成績依之、贈與ス

明治四十年七月六日

東京勸業博覽會審査部長位勳功學位爵曾福助

東京府知事 正位勳功學位爵曾福

住所
屋號及通稱

出品人 氏 名
雅號

地色淡黑色トス

紀念狀

審査官位勳功學位爵 氏 名 印

同 同

同 同

審査部長同

審査部長同

審査成績依前記賞牌、贈與ス

明治四十年七月六日

東京勸業博覽會審査部長位勳功學位爵曾福助

東京府知事 正位勳功學位爵曾福

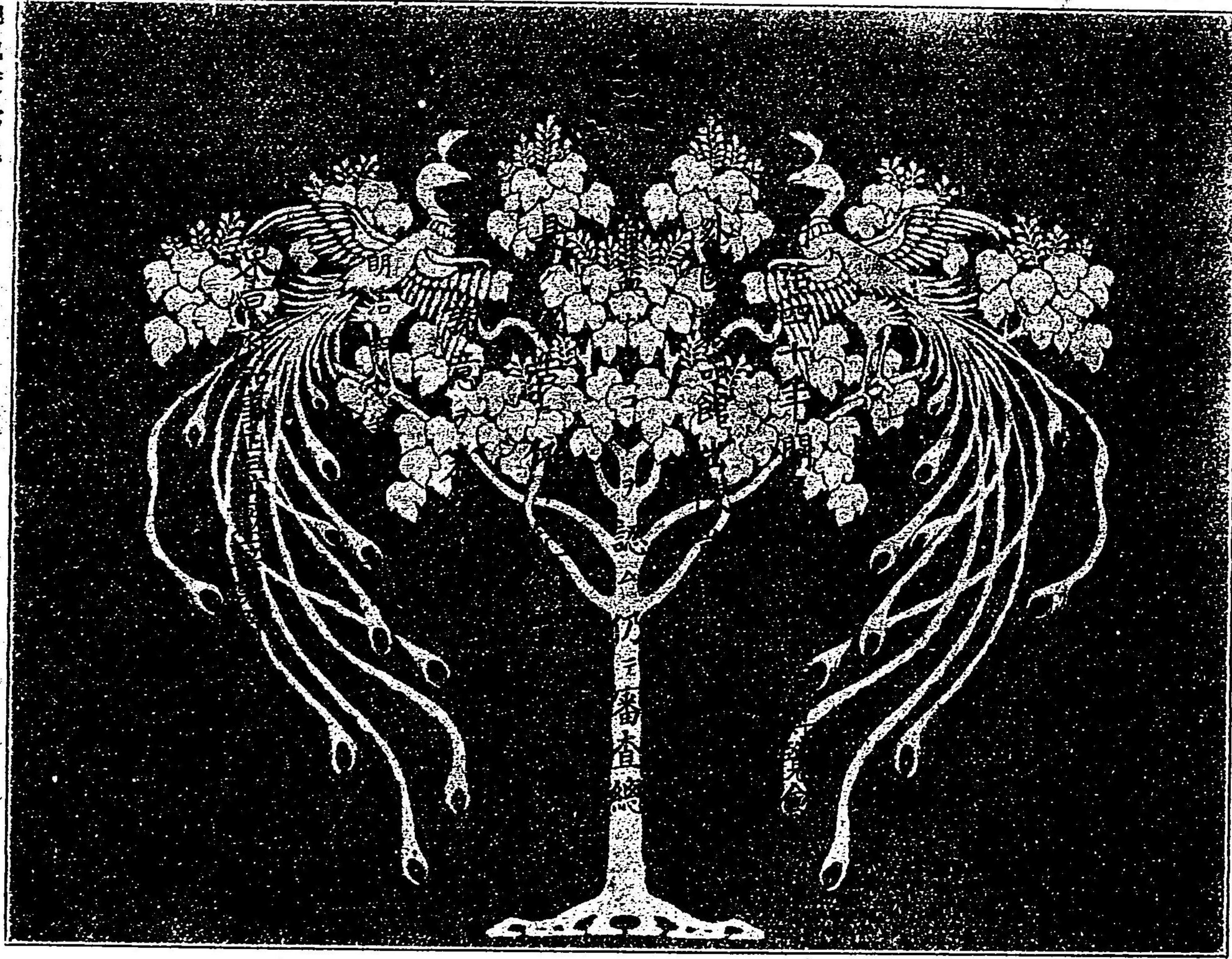
住所
屋號及通稱

出品人 氏 名
雅號

授賞ノ事由

何某出品何賞何々「採取」「産出」「製造」協賛人

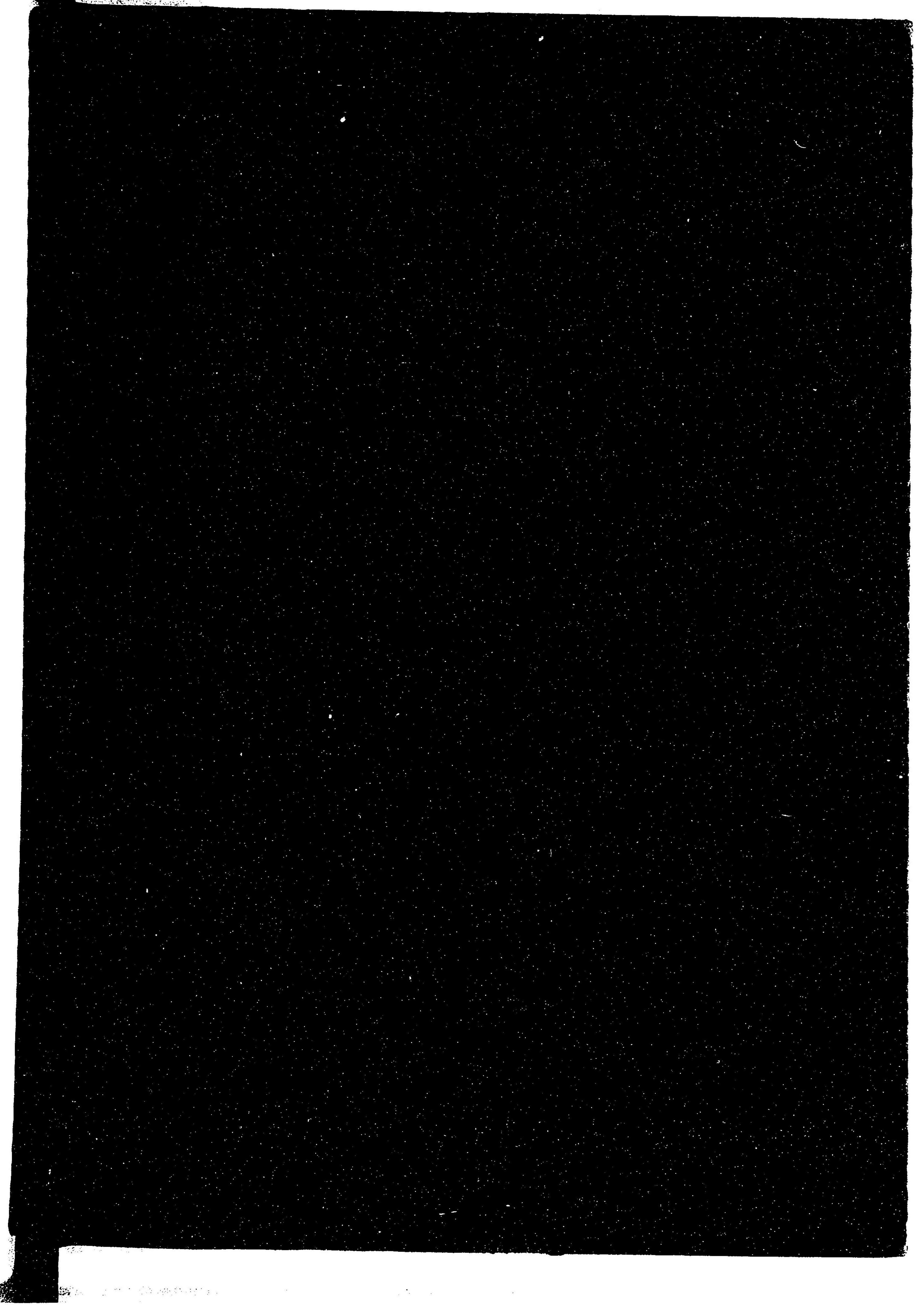
地色黄鶯色トス



AK 1145

5 U

101
78



042177-001-7

321-76

東京勸業博覧会事務報告

東京府庁

M42

BDI-1264



96. 1. 31